

科目名	一般教養Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	酒井 英津子（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>社会人になる為に必要な一般常識を身に付け、就職試験に受かることを目的とします。講義は以下の4つを柱として進めていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙力と文章力のスキルアップ 2. 政治・経済の基本知識を学ぶ 3. 企業採用試験に出される言語能力と非言語能力分野の反復練習 4. 日本企業の現状を知る <p>講義の後はチェックテストを行い、クラスの理解度を把握します。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と自己紹介 2. 一般常識のテスト（学生の基礎学力を測る） 3. 同義語と対義語 4. 慣用句と外来語 5. 小テスト① 6. 国文法 1 7. 国文法 2 8. 小テスト② 9. 文章整理と短文穴埋め 1 10. 文章整理と短文穴埋め 2 11. 作文（テーマ：未定） 12. 作文発表 13. 割合と確率（非言語能力問題） 14. 速さ・時間・距離の計算（非言語能力問題） 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト①15点、小テスト②15点、作文 15点、期末テスト 55点、計 100点満点で採点し、60点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	チェックテストで間違えた問題は必ず復習してください。
履修に 当たっての 留意点	日頃から、新聞や本を読むことを心掛けてください。

科目名	一般教養Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	酒井 英津子（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>前期に引き続き、基本的な一般常識を学びます。更に日本社会の仕組みや現状を解説し、半年後には社会人になるという、学生の意識を高めることを目的とします。</p> <p>国内外のニュースや話題を取り上げ、それについてのスピーチやディスカッションを実施し、表現力を養います。</p> <p>また新聞を読まない学生が多いので、記事の切り抜きを読みながら時事問題を解き、一般教養を身に付けます。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地方自治と産業 2. 日本の企業と中部地方の企業 3. 外資系企業と国際機関 4. 外来語と英略語（ビジネス用語） 5. 小テスト① 6. 憲法・法律・裁判 7. 国会・内閣・政党 8. 小テスト② 9. ロシアとEU 10. アジアの中の日本 11. 世界の中の日本 12. SDG's と企業 13. 情報社会の行方 14. ディスカッション（テーマ：未定） 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト①15点、小テスト②15点、ディスカッション15点、期末テスト55点、計100点満点で採点し、60点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	各小テストで10点以下の学生には、課題を出します。
履修に 当たっての 留意点	テレビやネット上で流れているニュースを、日頃からチェックしてください。

科目名	コンピュータリテラシーⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	石田 詩織（実務経験：なし）	
学科・学年	英語科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>就職活動や仕事をしていく上で PC スキルは必須である。 学生が困らないよう最低限の PC スキルを教える。</p> <p>Word や Excel、PowerPoint の活用方法、動画作成を通して学生の PC スキルを向上させます。 また英語を使用した動画作成を行う。</p> <p>後半の授業では、学生の作成した動画を全員で視聴し、他の学生の工夫をクラス内で共有します。</p>	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Word、動画作成 2. Word、動画作成 3. Word、動画作成 4. Word、動画作成 5. Word、動画作成 6. Word、動画作成 7. Word、動画作成 8. Word、動画作成 9. Excel、動画作成 10. Excel、動画作成 11. Excel、動画作成 12. Excel、動画作成 13. Excel、動画作成 14. 動画視聴・課題テスト提出 15. 動画視聴・課題テスト提出 	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	課題テスト（60 点）平常点（40 点）の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	PC スキルを学ぶので、特に PC に対して苦手意識のある学生は復習を怠らない。	
履修に 当たっての 留意点	疑問点に対して解決できるよう調べたり、聞くなどの積極的な参加。	

科目名	コンピュータリテラシーⅡ（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	石田 詩織（実務経験：なし）	
学科・学年	英語科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>就職活動や仕事をしていく上で PC スキルは必須である。 学生が困らないよう最低限の PC スキルを教える。</p> <p>Word や Excel、PowerPoint の活用方法、動画作成を通して学生の PC スキルを向上させます。 また英語を使用した動画作成を行う。</p> <p>後半の授業では、学生の作成した動画を全員で視聴し、他の学生の工夫をクラス内で共有します。</p>	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Excel、動画作成 2. Excel、動画作成 3. Excel、動画作成 4. Excel、動画作成 5. Excel、動画作成 6. Excel、動画作成 7. PowerPoint、動画作成 8. PowerPoint、動画作成 9. PowerPoint、動画作成 10. PowerPoint、動画作成 11. PowerPoint、動画作成 12. PowerPoint、動画作成 13. PowerPoint、動画作成 14. 動画視聴・課題テスト提出 15. 動画視聴・課題テスト提出 	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	課題テスト（60 点）平常点（40 点）の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	PC スキルを学ぶので、特に PC に対して苦手意識のある学生は復習を怠らない。	
履修に 当たっての 留意点	疑問点に対して解決できるよう調べたり、聞くなどの積極的な参加。	

科目名	Career Studies II（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊藤 洋子（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	学科の学びを活かした職種、業界について考えるとともに、社会の仕組み、働くことの意味、キャリアプランを考える。また、採用試験について学び、自己分析と受験のための知識領域を広げる。授業の方法としては、ワークシートを使用しながら、解説→ワークシート記入→発表を基本とし、必要に応じてグループワークを取り入れる。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の表情、声は相手のためにある ～見られている自分を意識する～ 2. 人はなぜ働くのか ～三人のレンガ職人～ 3. 自分の活動履歴を書き出す 4. 自己PRビンゴ 5. リフレーミングトレーニング① ～プラスの言葉で語る～ 6. リフレーミングトレーニング② ～夢を楽しく（面白く）語る～ 7. 成功の目標てんびん ～目標を達成するために～ 8. 学習領域とパフォーマンス領域 ～大切なことがもっと上達する方法～ 9. 自分の好きなことを振り返る ～強みは必ず好きなことの中にある～ 10. 「チーズはどこへ消えた」～変化を恐れない。現状維持を恐れよ～ 11. JAL フィロソフィから学ぶ人生の方程式 「考え方×能力×情熱」 12. 「7つの習慣」から学ぶ ～人生のミッションゴールとは～① 13. 「7つの習慣」から学ぶ ～人生のミッションゴールとは～② 14. センスは脳で磨かれる 15. 劣等感との和解 ～劣等感をなくさずに克服する～
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験（筆記またはレポート提出）で評価し採点。 60 点以上を合格とする。
授業時間外に 必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。

科目名	Career Studies II（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊藤 洋子（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	学科の学びを活かした職種、業界について考えるとともに、社会の仕組み、働くことの意味、キャリアプランを考える。また、入社後にビジョンを持って長く働けるよう、働き方を具体的に想像できる学修内容を設定。授業の方法としては解説→グループワーク→発表を基本とし、学期末に三分間スピーチを取り入れる。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジェームズ・ダイソンから学ぶ仕事の美学 2. 給与明細の内容を知る 3. 休日、休暇の取得のマナー 4. 社会人の休日の過ごし方 5. 年齢や社歴によって変わる働き方 6. SDGsについて考える 私ができる社会貢献① 7. SDGsについて考える 私ができる社会貢献② 8. 経営者の名言の共通点 9. 会社の行動指針 ～クレド～ 10. マイセブンルール プレゼンテーション① 11. マイセブンルール プレゼンテーション② 12. マイセブンルール プレゼンテーション③ 13. マイセブンルール プレゼンテーション④ 14. マイセブンルール プレゼンテーション⑤ 15. スティーブ・ジョブズ「スタンフォード大学卒業式スピーチ」
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験（筆記またはレポート提出）で評価し採点。 60 点以上を合格とする。
授業時間外に 必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。

科目名	Communication Practice II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活での英語表現を習得し、とくにスピーキング力の向上をめざす。 授業ではシャドーイングをはじめペアワーク、ディスカッションを多く取り入れ、 アウトプットの機会を増やし、自らを確実に表現できる英語力を獲得する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. In the Middle of Nowhere① 2. In the Middle of Nowhere② 3. Blackmail① 4. Blackmail② 5. Review① 6. Home Sweet Home① 7. Home Sweet Home② 8. Negotiations① 9. Negotiations② 10. Review② 11. Visiting Cloutier① 12. Visiting Cloutier② 13. At Alfie's Place① 14. At Alfie's Place② 15. Review③
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語(CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	目標とする英検および TOEIC の出題問題を意識し、可能な限り生の英語に触れる 時間をもつ
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなすこと

科目名	Communication Practice II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活での英語表現を習得し、とくにスピーキング力の向上をめざす。 授業ではシャドーイングをはじめペアワーク、ディスカッションを多く取り入れ、 アウトプットの機会を増やし、自らを確実に表現できる英語力を獲得する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. David in a Trip① 2. David in a Trip② 3. Confrontation① 4. Confrontation② 5. Review① 6. Digging a Grave① 7. Digging a Grave② 8. Another Confrontation① 9. Another Confrontation② 10. Review② 11. Great, Now We're Trapped① 12. Great, Now We're Trapped② 13. It's Up to You, David① 14. It's Up to You, David② 15. Review③
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語(CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	目標とする英検および TOEIC の出題問題を意識し、可能な限り生の英語に触れる 時間をもつ
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなうこと

科目名	Communication Practice II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play 4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play 6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play 8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play 10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play 12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus 2. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 speaking activity and role play 4. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 speaking activity and role play 6. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 speaking activity and role play 8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play 10. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 speaking activity and role play 12. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play 4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play 6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play 8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play 10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play 12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus 2. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 speaking activity and role play 4. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 speaking activity and role play 6. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 speaking activity and role play 8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play 10. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 speaking activity and role play 12. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and possibly a written examination in class.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication PracticeⅡ④（前期 30 時間(90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication PracticeⅡの前期の講義では、書かれている内容を正確に理解する力をつけること、読み取った内容をまとめ、自分の言葉で発信できるようになることを目標とします。ミステリーを題材とした物語を読み、それに関連した問題を解きながら物語への理解を深めます。またその中から役立つ表現を見つけ、学ぶことで使える語彙やセンテンスを増やします。毎回異なる文法事項をピックアップし、重点的に解説します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Unit1 動名詞や to 不定詞：好みを表す表現 3. Unit1 提案を表す文 4. Unit2 be going to や will、現在進行形：未来の表現 5. Unit2 所有代名詞 6. Unit3 現在形を含む文：スケジュール 7. Unit3 現在形を含む文：習慣的行動 8. まとめ 9. Unit4 may/could：許可と可能性 10. Unit4 shall：丁寧な申し出と提案 11. Unit5 肯定文の have to と must 12. Unit5 不定代名詞 13. Unit6 現在完了形と過去形の対比 14. Unit6 can と could の対比 15. まとめ
使用テキスト 教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication PracticeⅡ④（後期 30 時間(90 分/コマ)） 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication PracticeⅡの後期は、前期に引き続き、ミステリーを題材とした物語を読み、問題を解くことで理解を深めます。毎回異なる文法事項をピックアップし、重点的に解説します。また、前期の講義を通して身につけた英語の基礎力を活用し、書いてある内容を理解できること、さらに、学んだ文法などを用いて自身の考えを表現できるようになることを目標とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Unit7 現在進行形の状態動詞、可算名詞と不可算名詞 3. Unit7 How many…?や How much…? を含む文 4. Unit8 過去進行形を含む文 5. Unit8 過去進行形と過去形が共に使われる文 6. Unit9 受動態を含む文① 7. Unit9 受動態を含む文② 8. まとめ 9. Unit10 副詞 10. Unit10 比較を含む文 11. Unit11 付加疑問文 12. Unit11 wh 疑問文 13. Unit12 関係節を含む文 14. Unit12 when を含む文 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication Practice II ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play 4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play 6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play 8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play 10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play 12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and / or a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 7 David in a Trap - Scene 7 -1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 7 David in a Trap - Scene 7 -1 speaking activity and role play 4. Unit 8 Confrontation - Scene 8 -1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 8 Confrontation - Scene 8 -1 speaking activity and role play 6. Unit 9 Digging a Grave - Scene 9 -1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 9 Digging a Grave - Scene 9 -1 speaking activity and role play 8. Unit 10 Another Confrontation - Scene 10 -1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 10 Another Confrontation - Scene 10 -1 speaking activity and role play 10. Unit 11 Great, Now We're Trapped - Scene 11 -1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 11 Great, Now We're Trapped - Scene 11 -1 speaking activity and role play 12. Unit 12 It's Up to You, David - Scene 12 -1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 12 It's Up to You, David - Scene 12 -1 speaking activity and role play 14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and / or a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play 4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play 6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play 8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play 10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play 12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 7 David in a Trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 7 David in a Trap Scene 7-1 speaking activity and role play 4. Unit 8 Confrontation 8-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 8 Confrontation 8-1 speaking activity and role play 6. Unit 9 Digging a Grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 9 Digging a Grave Scene 9-1 speaking activity and role play 8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play 10. Unit 11 Great, Now We're Trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 11 Great, Now We're Trapped 11-1 speaking activity and role play 12. Unit 12 It's Up to You, David 12-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 12 It's Up to You, David 12-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice II ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	身近な状況、場面における英語表現を学びます。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語で話すことだけではなく、英語4技能(読む・聞く・話す・書く)の向上を意識し、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するためのテストを定期的に行います。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Verbs of preference (In the Middle of Nowhere) 2. How about, Why don't, should: suggestions (In the Middle of Nowhere) 3. Be going to: future (Blackmail) 4. Will: future (Blackmail) 5. Present continuous: future (Blackmail) 6. Possessive pronouns (Blackmail) 7. Present simple: schedules and habitual activities (Home Sweet Home) 8. May/ Could: permission and possibility (Negotiations) 9. Shall I/ Shall we: polite offer and suggestions (Negotiations) 10. Have/ Has to and must in positive sentences (Visiting Cloutier) 11. Don't have to vs. must not/ mustn't (Visiting Cloutier) 12. Someone/ Something, etc. (Visiting Cloutier) 13. Present perfect vs. past simple (At Alfie's Place) 14. Can vs. could (At Alfie's Place) 15. Review
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語 (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及びTOEICスコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Communication Practice II ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	身近な状況、場面における英語表現を学びます。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語で話すことだけではなく、英語4技能(読む・聞く・話す・書く)の向上を意識し、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するためのテストを定期的に行います。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. State verbs with present continuous forms (David in a Trap) 2. Countable and uncountable nouns (David in a Trap) 3. How many or How much (David in a Trap) 4. Past continuous (Confrontation) 5. Using past continuous and past simple together (Confrontation) 6. Passive voice (Digging a Grave) 7. Adverbs (Another Confrontation) 8. Comparatives (Another Confrontation) 9. Superlatives (Another Confrontation) 10. Questions tags (Great, Now We're Trapped) 11. Wh-question words (Great, Now We're Trapped) 12. Relative clauses (It's Up to You, David) 13. When + present simple, present continuous (It's Up to You, David) 14. Review 15. Discussion practice
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語 (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及びTOEICスコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Hospitality Service EnglishⅡ①（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）	
学科・学年	英語科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>基本的な「動詞の変化形」が発話においてどのようなニュアンスの相違をもたらすのかを習得し、表現の幅を広げる vocabularies を付け加えることによって、事実のみならず感情の細部に至るまでよりの確な英語表現を可能にするスキルを身につける。</p> <p>（写真、ビデオを活用し、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを組み合わせ多角的なアプローチを試みる。）</p>	
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Warm-Up（自己紹介、授業概要と評価方法の説明） 2. Unit 1 Making connections：Grammar, Vocabulary 3. Unit 1 Making connections：Work skills 4. Unit 1 Making connections：Functions 5. Unit 2 International design：Grammar, Vocabulary 6. Unit 2 International design：Work skills 7. Unit 2 International design：Functions 8. Unit 3 Future lifestyles：Grammar, Vocabulary 9. Unit 3 Future lifestyles：Work skills 10. Unit 3 Future lifestyles：Functions 11. Unit 4 Heritage：Grammar, Vocabulary 12. Unit 4 Heritage：Work skills 13. Unit 4 Heritage：Functions 14. Unit 5 Fashion and Function：Grammar, Vocabulary 15. Unit 5 Fashion and Function：Work skills 	
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS THE 3 RD EDITION INTERMEDIATE Student's Book	
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。	
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。	

科目名	Hospitality Service EnglishⅡ①（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）	
学科・学年	英語科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>基本的な「動詞の変化形」が発話においてどのようなニュアンスの相違をもたらすのかを習得し、表現の幅を広げる vocabularies を付け加えることによって、事実のみならず感情の細部に至るまでよりの確な英語表現を可能にするスキルを身につける。</p> <p>（写真、ビデオを活用し、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを組み合わせ多角的なアプローチを試みる。）</p>	
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 5 Fashion and Function : Functions 2. Unit 6 Using innovation : Grammar, Vocabulary 3. Unit 6 Using innovation : Work skills 4. Unit 6 Using innovation : Functions 5. Unit 7 Work styles and careers : Grammar, Vocabulary 6. Unit 7 Work styles and careers : Work skills 7. Unit 7 Work styles and careers : Functions 8. Unit 8 Processes : Grammar, Vocabulary 9. Unit 8 Processes : Work skills 10. Unit 8 Processes : Functions 11. Unit 9 The business of sport : Grammar, Vocabulary 12. Unit 9 The business of sport : Work skills 13. Unit 9 The business of sport : Functions 14. Unit10 Great partnership : Grammar, Vocabulary 15. Unit10 Great partnership : Work skills, Functions 	
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS THE 3 RD EDITION INTERMEDIATE Student' s Book	
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。	
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。	

科目名	Hospitality Service English II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 Making connections part 1 (pocket book guide) 3. Unit 1 Making connections part 2 (quiz and review) 4. Unit 2 International design part 1 (pocket book guide) 5. Unit 2 International design part 2 (quiz and review) 6. Presentation skills assignment 1 7. Unit 3 Future lifestyles part 1 (pocket book guide) 8. Unit 3 Future lifestyles part 2 (quiz and review) 9. Presentation skills assignment 2 10. Unit 4 Heritage part 1 (pocket book guide) 11. Unit 4 Heritage part 2 (quiz and review) 12. Presentation skills assignment 3 13. Unit 5 Fashion and function part 1 (pocket book guide) 14. Unit 5 Fashion and function part 2 (quiz and review) 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Hospitality Service English II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)	
学科・学年	英語科 2年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back and syllabus review. 2. Unit 6 Using innovation part 1 (pocket book guide) 3. Unit 6 Using innovation part 2 (quiz and review) 4. Unit 7 Work styles and careers part 1 (pocket book guide) 5. Unit 7 Work styles and careers part 2 (quiz and review) 6. Presentation skills assignment 4 7. Unit 8 Processes part 1 (pocket book guide) 8. Unit 8 Processes part 2 (quiz and review) 9. Presentation skills assignment 5 10. Unit 9 The business of sport part 1 (pocket book guide) 11. Unit 9 The business of sport part 2 (quiz and review) 12. Presentation skills assignment 6 13. Unit 10 Great partnerships part 1 (pocket book guide) 14. Unit 10 Great partnerships part 2 (quiz and review) 15. Second semester review and preparation for examination 	
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book	
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	Hospitality Service English II ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験 : 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの翻訳、通訳)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	このテキストは一つのユニットに4つのセクションに分かれています。 GRAMMAR, VOCABULARY, WORKSKILL, FUNCTION 特に文法、語彙に注意してセンテンスを音に出してトレーニングします。 内容を理解してテキストの質問に答える練習をします。 コミュニケーション能力を高めるために語彙、文法、読解の力をつけ、発音に注意してリズムある英語を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 テキストの説明、趣旨 2. Unit1 Making connections Grammar 3. Unit1 Making connections Vocabulary 4. Unit1 Making connections Work skills, Functions 5. Unit2 International design Grammar 6. Unit2 International design Vocabulary 7. Unit2 International design Work skills, Functions 8. Unit3 Future lifestyle Grammar 9. Unit3 Future lifestyle Vocabulary 10. Unit3 Future lifestyle Work skills, Functions 11. Unit4 Heritage Grammar 12. Unit4 Heritage Vocabulary 13. Unit4 Heritage Work skills, Functions 14. Unit5 Fashion and function Grammar 15. Unit5 Fashion and function Vocabulary
使用テキスト ・教材等	International Express 3 rd Edition
成績評価方法 及び 基準	対話、聞き取り、筆記試験で 80 点、平常点 20 点で合計 100 点とし、 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の映画を見たり、英語の歌を聞いたり、NHK English program などを聞いて 常に英語に触れていてください。 テキストに出てくる単語を事前にチェックしておいてください。
履修に 当たっての 留意点	クラスの中で積極的に対話ができるように努力し、スクリプトを見て音と意味の繋がりを明確にしてください。

科目名	Hospitality Service English II ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験 : 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの翻訳、通訳)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	このテキストは一つのユニットに4つのセクションに分かれています。 GRAMMAR, VOCABULARY, WORKSKILL, FUNCTION 特に文法、語彙に注意してセンテンスを音に出してトレーニングします。 内容を理解してテキストの質問に答える練習をします。 コミュニケーション能力を高めるために語彙、文法、読解の力をつけ、発音に注意してリズムある英語を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit5 Fashion and function Work skills, Function 2. Unit6 Using innovation Grammar 3. Unit6 Using innovation Vocabulary 4. Unit6 Using innovation Work skills, Functions 5. Unit7 Work styles and careers Grammar 6. Unit7 Work styles and careers Vocabulary 7. Unit7 Work styles and careers Work skills, Functions 8. Unit8 Processes Grammar 9. Unit8 Processes Vocabulary 10. Unit8 Processes Work skills, Functions 11. Unit9 The business of sport Grammar 12. Unit9 The business of sport Vocabulary 13. Unit9 The business of sport Work skills, Functions 14. Unit10 Great partnerships Gramma, Vocabulary 15. Unit10 Great partnerships Work skills, Functions
使用テキスト ・教材等	International Express 3 rd Edition
成績評価方法 及び 基準	対話、聞き取り、筆記試験で 80 点、平常点 20 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の映画を見たり、英語の歌を聞いたり、NHK English program などを聞いて常に英語に触れていてください。 テキストに出てくる単語を事前にチェックしておいてください。
履修に 当たっての 留意点	クラスの中で積極的に対話ができるように努力し、スクリプトを見て音と意味の繋がりを明確にしてください。

科目名	Hospitality Service English II④（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と仕事上での両方で使う英語をバランスよく学びます。 ・リスニング力、スピーキング力の双方を同時に向上させます。 <p>社会人の実生活に合った題材、国際的な場面における実際のコンテンツを用い、より信憑性のある実用的な内容を学習します。（講義・演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（授業の進め方、テキストについて） 2. Unit 1 Making connections（現在形） 3. Networking 4. Unit 2 International design（過去形） 5. Team meeting 6. Unit 3 Future lifestyle（will/may/might/be likely/possible） 7. Email 8. Unit 4 Heritage（比較級） 9. Presentation 10. Unit 5 Fashion and function（have to /must/need to/can） 11. Giving advice and suggestions 12. Unit 6 Using innovation（過去完了形） 13. Describing Problems 14. Unit 7 Work Styles and careers 15. 前期末試験
使用テキスト ・教材等	International Express 3rd Edition Intermediate Student book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言する。

科目名	Hospitality Service English II ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と仕事上での両方で使う英語をバランスよく学びます。 ・リスニング力、スピーキング力の双方を同時に向上させます。 <p>社会人の実生活に合った題材、国際的な場面における実際のコンテンツを用い、より信憑性のある実用的な内容を学習します。（講義・演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Email（job applications） 2. Unit 8 Processes（現在完了形） 3. Time management 4. Discussing and reaching agreement 5. Presentation（トークを組み立てる） 6. Telephoning（電話での会話） 7. Unit 9 The Business of sports（関係詞） 8. Describing personal qualities at work 9. Job interviews 10. Changing Plans 11. Unit 10 Great partnerships (should/ shouldn't have) 12. Changing Career 13. Teleconferencing and videoconferencing 14. まとめ 15. 後期末試験
使用テキスト ・教材等	International Express 3rd Edition Intermediate Student book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言する。

科目名	Hospitality Service English II ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語で話すことだけではなく、英語 4 技能 (読む・聞く・話す・書く) の向上を意識し、シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。会話表現に重点を置き、英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Making connections① 2. Making connections② 3. International design① 4. International design② 5. Review① 6. Discussion practice 7. Future lifestyles① 8. Future lifestyles② 9. Heritage① 10. Heritage② 11. Review② 12. Fashion and function① 13. Fashion and function② 14. Review③ 15. Discussion practice
使用テキスト ・教材等	International Express: 3 rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	Hospitality Service English II ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語で話すことだけではなく、英語 4 技能 (読む・聞く・話す・書く) の向上を意識し、シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。会話表現に重点を置き、英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Using innovation① 2. Using innovation② 3. Work styles and careers① 4. Work styles and careers② 5. Review① 6. Discussion practice 7. Processes① 8. Processes② 9. The business of sport① 10. The business of sport② 11. Review② 12. Great partnerships① 13. Great partnerships② 14. Review③ 15. Discussion practice
使用テキスト ・教材等	International Express: 3 rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Hospitality Service English II ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	事実や習慣的な行動について話したり、進行中の活動や進捗状況、動向などについて話す問題を説明し、解決方法を考える。 理解を確認したり、明瞭に説明し、理解を促したりする。 採用面接でよく聞かれる質問に答える。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Making Connections-Social Networks and the Internet 2. Making Connections-Writing a Professional Profile 3. Making Connections-Networking 4. International Design-Starting a New Business 5. International Design-Team Meetings 6. International Design-Checking Progress 7. Future Lifestyles-The Speed of Change 8. Future Lifestyles-Emails 9. Future Lifestyles-Making Arrangements 10. Heritage-City Descriptions 11. Heritage-Presentations 12. Heritage-Giving Opinions 13. Fashion and Function-Colours and Colour Idioms 14. Fashion and Function-Telephoning 15. Fashion and Function-Giving Advice and Suggestions
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS INTERMEDIATE
成績評価方法 及び 基準	グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価
授業時間外 に必要な 学修内容	教材付属 DVD で家庭復習を欠かさないこと
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと

科目名	Hospitality Service English II ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	事実や習慣的な行動について話したり、進行中の活動や進捗状況、動向などについて話す問題を説明し、解決方法を考える。 理解を確認したり、明瞭に説明し、理解を促したりする。 採用面接でよく聞かれる質問に答える。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Using Innovation-Water Footprint 2. Using Innovation-Presentation 3. Using Innovation-Describing Problems 4. Work Styles and Careers- Money and Finance Vocabulary 5. Work Styles and Careers-Emails 6. Work Styles and Careers-Discussing and Reaching Agreement 7. Processes-Product Journey 8. Processes-Time Management 9. Processes-Checking Understanding and Clarifying 10. The Business of Sport-Describing Personal Qualities at Work 11. The Business of Sport-Job Interviews 12. The Business of Sport-Changing Plans 13. Great Partnerships-Changing Careers 14. Great Partnerships-Teleconferencing and Videoconferencing 15. Great Partnerships-Catching Up
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS INTERMEDIATE
成績評価方法 及び 基準	グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価
授業時間外 に必要な 学修内容	教材付属 DVD で家庭復習を欠かさないこと
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと

科目名	Hospitality Service English II ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)	
学科・学年	英語科 2年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 Making connections part 1 (pocket book guide) 3. Unit 1 Making connections part 2 (quiz and review) 4. Unit 2 International design part 1 (pocket book guide) 5. Unit 2 International design part 2 (quiz and review) 6. Presentation skills assignment 1 7. Unit 3 Future lifestyles part 1 (pocket book guide) 8. Unit 3 Future lifestyles part 2 (quiz and review) 9. Presentation skills assignment 2 10. Unit 4 Heritage part 1 (pocket book guide) 11. Unit 4 Heritage part 2 (quiz and review) 12. Presentation skills assignment 3 13. Unit 5 Fashion and function part 1 (pocket book guide) 14. Unit 5 Fashion and function part 2 (quiz and review) 15. First semester review and preparation for examination 	
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book	
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	Hospitality Service English II ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back and syllabus review. 2. Unit 6 Using innovation part 1 (pocket book guide) 3. Unit 6 Using innovation part 2 (quiz and review) 4. Unit 7 Work styles and careers part 1 (pocket book guide) 5. Unit 7 Work styles and careers part 2 (quiz and review) 6. Presentation skills assignment 4 7. Unit 8 Processes part 1 (pocket book guide) 8. Unit 8 Processes part 2 (quiz and review) 9. Presentation skills assignment 5 10. Unit 9 The business of sport part 1 (pocket book guide) 11. Unit 9 The business of sport part 2 (quiz and review) 12. Presentation skills assignment 6 13. Unit 10 Great partnerships part 1 (pocket book guide) 14. Unit 10 Great partnerships part 2 (quiz and review) 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Vocabulary Building II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>様々な場面、状況別に必要な語彙を増やすことを目的とします。</p> <p>英検、TOEIC、留学などで必要となる単語を黙々と暗記するだけでなく、リスニングやスピーキング練習を通して語彙習得を行います。</p> <p>単語テストを通して語彙が、身につけているかの確認を行い、各種試験等に活かせる力を身につけます。</p>
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Section A Unit1-3 単語テスト 2. Section A Unit4-6 単語テスト 3. Section A Unit7-9 単語テスト 4. Section A Unit10-12 単語テスト 5. Section A Unit13-15 単語テスト 6. Section A Unit16-18 単語テスト 7. Section A Unit19-21 単語テスト 8. Section A Unit22-24 単語テスト 9. Section A Unit25-27 単語テスト 10. Section A Unit28-30 単語テスト 11. Section B Unit1-3 単語テスト 12. Section B Unit4-6 単語テスト 13. Section B Unit7-9 単語テスト 14. Section B Unit10-12 単語テスト 15. 筆記と発音のテスト
使用テキスト ・教材等	Expanding Your Vocabulary Skills
成績評価方法 及び 基準	筆記と発音のテスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	<p>新しく学んだ文法・単語をしっかりと授業時間内に暗記すること。</p> <p>一回一回の授業で覚えた単語は忘れないよう、復習を欠かさない事。</p>

科目名	Vocabulary Building II ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>様々な場面、状況別に必要な語彙を増やすことを目的とします。</p> <p>英検、TOEIC、留学などで必要となる単語を黙々と暗記するだけでなく、リスニングやスピーキング練習を通して語彙習得を行います。</p> <p>単語テストを通して語彙が、身につけているかの確認を行い、各種試験等に活かせる力を身につけます。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Section B Unit13-15 単語テスト 2. Section B Unit16-18 単語テスト 3. Section B Unit19-21 単語テスト 4. Section B Unit22-24 単語テスト 5. Section B Unit25-27 単語テスト 6. Section B Unit28-30 単語テスト 7. Section B Unit31-33 単語テスト 8. Section B Unit34-36 単語テスト 9. Section B Unit37-40 単語テスト 10. Section C Unit1-3 単語テスト 11. Section C Unit4-6 単語テスト 12. Section C Unit7-9 単語テスト 13. Section C Unit10-12 単語テスト 14. Section C Unit13-15 単語テスト 15. 筆記と発音のテスト
使用テキスト ・教材等	Expanding Your Vocabulary Skills
成績評価方法 及び 基準	筆記と発音のテスト（60点）平常点（40点）の合計100点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	<p>新しく学んだ文法・単語をしっかり授業時間内に暗記すること。</p> <p>一回一回の授業で覚えた単語は忘れないよう、復習を欠かさない事。</p>

科目名	Vocabulary Building II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験: 外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導に携わる)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語力を伸ばすための文法知識と語彙力の強化に取り組みます。 頻出単語においては記憶に残るよう効率的に学習し練習問題などで確認します。 航空業界で学んだ経験を活かし、生徒の学習意欲を高められるよう工夫しながら授業を進めます。(講義) 長文を何度も読み返すことにより読解する自信をつけ、語彙力を向上させます。 読む、書く、聞く、話すことにおいて成果を発揮できるよう練習します。(演習) 就職活動に必要な英語力もつけていきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の概要と評価方法の説明、Greetings and Introduction 2. Section A 3. 復習・練習 4. Section A 5. 復習・練習 6. Section A 7. 復習・練習 8. Section A 9. 復習・練習 10. Section B 11. 復習・練習 12. Section B 13. 復習・練習 14. Section B 15. 復習・練習
使用テキスト ・教材等	Expanding Your Vocabulary Skills (朝日出版社) 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	語彙数を増やすために知らない単語はすぐに調べ覚える。 覚えた単語を使って文章を作るなど活用する。
履修に 当たっての 留意点	意識を高く持って授業に参加することは勿論、苦手を克服し前向きに学習すること。

科目名	Vocabulary Building II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験: 外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導に携わる)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に引き続き英語力を伸ばすための語彙力の強化に取り組みます。 苦手分野に積極的に取り組み克服します。 復習と確認をしっかりとすることで確実な力をつけていきます。(講義)</p> <p>多くの練習問題を解くことで、TOEIC のスコアアップを目指します。 就職活動、就職後に必要な英語力も増やします。(演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. Section B 3. 復習・練習 4. Section B 5. 復習・練習 6. Section C 7. 復習・練習 8. Section C 9. 復習・練習 10. Section C 11. 復習・練習 12. Section C 13. 復習・練習 14. 後期のまとめ 15. 1 年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	Expanding Your Vocabulary Skills (朝日出版社) 練習プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>語彙数を増やすために知らない単語はすぐに調べ覚える。 多様な英語の発音に対応するために何度も聞き、音に慣れる。 英検合格、TOEIC のスコアを上げることに高い目標を持つ。</p>
履修に 当たっての 留意点	意識を高く持って授業に参加することは勿論、苦手を克服し前向きに学習すること。

科目名	Grammar Clinic II ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	既習の英文法・英語構文の重要事項を集中的・効率的に総復習する。英文解釈や英作文はもちろんのこと、英会話にも必要不可欠な道具である英文法理解の完成を目指す。「語彙」や「文法」を理解し、自信をもって運用できるレベルまで押し上げることを目標とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英文法用語とことばの役割 2. 平叙文、否定文、疑問文、命令文 3. 主語、目的語、第 1 文型、第 3 文型、第 4 文型 4. 第 2 文型、第 5 文型、補語 5. 前置詞 6. 現在形、過去形、未来形、進行形 7. 現在完了形 8. 過去完了形、未来完了形 9. 文接続詞、従属節 10. 比較級、最上級 11. 能動態、受動態 12. 名詞修飾、関係代名詞（人） 13. 名詞修飾、関係代名詞（モノ） 14. 名詞修飾、関係代名詞外（人、モノ） 15. 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	Step-by-Step Basic English Grammar 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	語彙の増強。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Grammar Clinic II ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	既習の英文法・英語構文の重要事項を集中的・効率的に総復習する。英文解釈や英作文はもちろんのこと、英会話にも必要不可欠な道具である英文法理解の完成を目指す。「語彙」や「文法」を理解し、自信をもって運用できるレベルまで押し上げることを目標とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在分詞、過去分詞、受動態 2. 関係副詞 3. 分詞構文（基本） 4. 分詞構文（発展） 5. 知覚動詞を含む表現 6. 使役動詞を含む表現 7. 第 5 文型（知覚動詞、使役動詞） 8. 接続詞 名詞節を導く接続詞 副詞節を導く接続詞 9. 法助動詞 10. 法助動詞、仮定法過去、仮定法過去完了 11. 不定詞と動名詞（基本） 12. 不定詞と動名詞（発展） 13. ネイティブのモノの見かた（冠詞等） 14. 条件文と仮定法 仮定法（if 節を取らない仮定法を含む） 15. 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	Step-by-Step Basic English Grammar 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	語彙の増強。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Grammar ClinicⅡ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	あいまいになっている英文法の知識を文法項目毎に確実に理解する。問題を解く際、根拠を持って確実に正解できるように反復練習をしていくことで理解を深め、総合的な英語力アップにつなげていく。小テストを実施し復習を適宜入れて理解を確実にしていく。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの確認及び文法問題を解いていく 2. 英語の構造と語順の理解 3. Be 動詞と一般動詞 4. 一般動詞の使い方 5. 「～される」を表す表現（態） 6. 現在、現在進行形、過去形、未来表現（英語の時間感覚①） 7. 現在完了形（英語の時間感覚②） 8. 様々な否定形 9. 前置詞① 10. 前置詞② 11. 動詞の意味を補助する一助動詞① 12. 動詞の意味を補助する一助動詞② 13. 名詞と冠詞 14. 復習問題 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Step-by-Step Basic English Grammar
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	Grammar ClinicⅡ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	あいまいになっている英文法の知識を文法項目毎に確実に理解する。問題を解く際、根拠を持って確実に正解できるように反復練習をしていくことで理解を深め、総合的な英語力アップにつなげていく。小テストを実施し復習を適宜入れて理解を確実にしていく。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの再確認及び後期目標の設定 2. 名詞と冠詞 3. 名詞の働きをする語句①（動名詞） 4. 名詞の働きをする語句②（不定詞の名詞的用法） 5. 使役動詞と知覚動詞 6. 形容詞の働きをする語句と節①不定詞の形容詞的用法 7. 形容詞の働きをする語句と節②現在分詞と過去分詞 8. 形容詞の働きをする語句と節③関係代名詞 9. 形容詞の働きをする語句と節④関係副詞 10. 副詞の働きをする語句 11. 比較① 12. 比較② 13. 仮定法 14. 復習問題 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Step-by-Step Basic English Grammar
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	Reading II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their reading skills. To achieve this students will read and discuss various texts and be able to give their opinion. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Readiness Unit (words)(parts of speech) (phrases, sentences and paragraphs) 3. Unit 1 Learning and behavior 4. Chapter 1 What is learning? Reading 1 How do we learn? 5. Chapter 1 What is learning? Reading 2 Does testing help us learn? 6. Chapter 2 How is technology affecting learning? Reading 1 Can robots learn? 7. Chapter 2 How is technology affecting learning? Reading 2 Do video games teach? 8. Chapter 3 Why do we do the things we do? Reading 1 Why do we sleep? 9. Chapter 3 Why do we do the things we do? Reading 2 Why do we laugh? 10. Unit 1 Wrap up 11. Unit 2 Individuals and society 12. Chapter 4 A business of one? Reading 1 Who is self-employed? 13. Chapter 4 A business of one? Reading 2 What is crowdfunding? 14. Chapter 5 How do we fit in? Reading 1 Why is fashion important? 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 3 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Reading II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their reading skills. To achieve this students will read and discuss various texts and be able to give their opinion. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours and participate in the books online practice.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus. 2. Chapter 5 How do we fit in? Reading 2 What is culture shock? 3. Chapter 6 Making a difference with technology Reading 1 A new device gives hope 4. Chapter 6 Making a difference with technology Reading 2 Helping the deaf to feel and see sound 5. Unit 2 Wrap up 6. Unit 3 Problems and Solutions 7. Chapter 7 Problem solved? Reading 1 Do animals solve problems? 8. Chapter 7 Problem solved? Reading 2 How do I search work? 9. Chapter 8 How do I decide? Reading 1 Are more choices better? 10. Chapter 8 How do I decide? Reading 2 Do your decisions make you happy? 11. Chapter 9 How does nature affect us? Reading 1 How to survive an avalanche? 12. Chapter 9 How does nature affect us? Reading 2 Do we need nature? 13. Unit 3 Wrap up 14. Unit 1, 2, 3 review 15. Second semester and yearly review. Preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 3 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class and online. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Reading II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their reading skills. To achieve this, students will read and discuss various texts and be able to give their opinion. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Readiness Unit (words)(parts of speech) (phrases, sentences and paragraphs) 3. Unit 1 Learning and behavior 4. Chapter 1 What is learning? Reading 1 How do we learn? 5. Chapter 1 What is learning? Reading 2 Does testing help us learn? 6. Chapter 2 How is technology affecting learning? Reading 1 Can robots learn? 7. Chapter 2 How is technology affecting learning? Reading 2 Do video games teach? 8. Chapter 3 Why do we do the things we do? Reading 1 Why do we sleep? 9. Chapter 3 Why do we do the things we do? Reading 2 Why do we laugh? 10. Unit 1 Wrap up 11. Unit 2 Individuals and society 12. Chapter 4 A business of one? Reading 1 Who is self-employed? 13. Chapter 4 A business of one? Reading 2 What is crowdfunding? 14. Chapter 5 How do we fit in? Reading 1 Why is fashion important? 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 3 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Reading II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their reading skills. To achieve this, students will read and discuss various texts and be able to give their opinion. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours and participate in the books online practice.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus. 2. Chapter 5 How do we fit in? Reading 2 What is culture shock? 3. Chapter 6 Making a difference with technology Reading 1 A new device gives hope 4. Chapter 6 Making a difference with technology Reading 2 Helping the deaf to feel and see sound 5. Unit 2 Wrap up 6. Unit 3 Problems and Solutions 7. Chapter 7 Problem solved? Reading 1 Do animals solve problems? 8. Chapter 7 Problem solved? Reading 2 How do I search work? 9. Chapter 8 How do I decide? Reading 1 Are more choices better? 10. Chapter 8 How do I decide? Reading 2 Do your decisions make you happy? 11. Chapter 9 How does nature affect us? Reading 1 How to survive an avalanche? 12. Chapter 9 How does nature affect us? Reading 2 Do we need nature? 13. Unit 3 Wrap up 14. Unit 1, 2, 3 review 15. Second semester and yearly review. Preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 3 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class and online. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	TOEIC/英検Ⅱ①（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ①（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10点、ミニテスト②10点、本試験 80点、計 100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ②（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ（実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ②（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ（実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ③（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs（実務経験：英会話教師 12 年間）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ③（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs（実務経験：英会話教師 12 年間）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー）をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ④（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	就職活動のために資格試験は必須である。2級の取得を目指す。授業は基本的に教科書を使用し、問題演習を行っていく。またそこで出てきた英単語は覚える。また単語テストも行い単語の定着を促す。2級は単語力、リーディング力、リスニング力、ライティング力が平等に求められる。また英検2級の一次試験に合格した者については積極的に2次試験対策として面接練習を行っていく。 平常点＋定期試験で評価を行う。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 20日間完成英検2級集中ゼミ 1、2日目 2. 20日間完成英検2級集中ゼミ 3、4日目 単語テスト2級① 3. 20日間完成英検2級集中ゼミ 5、6日目 単語テスト2級② 4. 20日間完成英検2級集中ゼミ 7、8日目 単語テスト2級③ 5. 20日間完成英検2級集中ゼミ 9、10日目 単語テスト2級④ 6. 20日間完成英検2級集中ゼミ 11、12日目 単語テスト2級⑤ 7. 20日間完成英検2級集中ゼミ 13、14日目 単語テスト2級⑥ 8. 20日間完成英検2級集中ゼミ 15、16日目 単語テスト2級⑦ 9. 20日間完成英検2級集中ゼミ 17、18日目 単語テスト2級⑧ 10. 20日間完成英検2級集中ゼミ 19、20日目 単語テスト2級⑨ 11. 2級問題演習 ① 単語テスト2級⑩ 12. 2級問題演習 ② 単語テスト2級⑪ 13. 2級問題演習 ③ 単語テスト2級⑫ 14. 2級問題演習 ④ 単語テスト2級⑬ 15. 定期試験
使用テキスト ・教材等	Daily20日間完成英検2級集中ゼミ 新形式対応版 Welcome to the TOEIC L & R TEST
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、定期試験 80 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	時事ニュースに目を向け、関心を持ち、自分の意見を英語で話せるようにトレーニングする
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	TOEIC/英検Ⅱ④（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	就職活動のために資格試験は必須である。TOEIC600 点取得を目指す。授業は基本的に教科書を使用し、問題演習を行っていく。またそこで出てきた英単語は覚える。また単語テストも行い単語の定着を促す。またスピーキングも行い、点数取得のための英語ではなく、実際に使える英語を学ばせる。 平常点＋定期試験で評価を行う。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit1 2. Unit2 3. Unit3 4. Unit4 5. Unit5 6. Unit6 7. Unit7 8. Unit8 9. Unit9 10. Unit10 11. Unit11 12. Unit12 13. TOEIC 演習 14. TOEIC 演習 15. TOEIC 演習
使用テキスト ・教材等	Daily20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 新形式対応版 Welcome to the TOEIC L & R TEST
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、定期試験 80 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	時事ニュースに目を向け、関心を持ち、自分の意見を英語で話せるようにトレーニングする
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑤（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検 2 級（1 次試験）の合格を目標に、授業内容を「基礎編」および「応用編」の二段階に分け、それぞれ「単語」、「熟語」、「文法」、「語法」、「長文読解」、「リスニング」の 6 部門別に過去問題の演習を通じて徹底的に鍛え上げる。その後 2 次試験について実戦練習する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1. Warm-Up（自己紹介、授業概要と評価方法の説明） 2, 3. 基礎編：単語・熟語 4, 5. 基礎編：文法・語法 6, 7. 基礎編：長文読解① 8, 9. 基礎編：長文読解② 10, 11. 基礎編：長文読解③ 12, 13. 基礎編：長文読解④ 14, 15. 基礎編：長文読解⑤ 16, 17. 基礎編：英作文 18, 19. 基礎編：リスニング① 20, 21. 基礎編：リスニング② 22, 23. 応用編：単語・熟語① 24, 25. 応用編：単語・熟語② 26, 27. 2 次試験対策① 28, 29, 30. 2 次試験対策②
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級 集中ゼミ[新試験対応版]
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑤（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検 2 級（1 次試験）の合格を目標に、授業内容を「基礎編」および「応用編」の二段階に分け、それぞれ「単語」、「熟語」、「文法」、「語法」、「長文読解」、「リスニング」の 6 部門別に過去問題の演習を通じて徹底的に鍛え上げる。その後 2 次試験について実戦練習する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1, 2. 応用編：文法・語法① 3, 4. 応用編：文法・語法② 5, 6. 応用編：短文の語句空所補充① 7, 8. 応用編：短文の語句空所補充② 9, 10. 応用編：長文の語句空所補充① 11, 12. 応用編：長文の語句空所補充② 13, 14. 応用編：長文の内容一致選択① 15, 16. 応用編：長文の内容一致選択② 17, 18. 応用編：英作文① 19, 20. 応用編：英作文② 21, 22. 応用編：英作文③ 23, 24. 応用編：リスニング① 25, 26. 応用編：リスニング② 27, 28. 2 次試験対策③ 29, 30. 2 次試験対策④
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級 集中ゼミ[新試験対応版]
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑥月（前期30時間（90分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検2級の一次試験突破を目指すクラスです。 短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。 英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。 リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英検についての説明 実力単語テスト 2. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語 3. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語 4. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語 5. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語 6. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 文法 7. 筆記1 短文の語句空所補充問題を攻略 語法 8. 筆記1の単語、熟語の復習 9. 筆記2 長文の語句空所補充問題を攻略 10. 筆記2 長文の語句空所補充問題を攻略 11. 筆記2 長文の語句空所補充問題を攻略 12. 筆記2の単語、熟語の復習 13. 英作文問題を攻略 14. 2級模擬試験 15. 2級模擬試験
使用テキスト ・教材等	英検2級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト20点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験80点で合計100点とし、60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑥月（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎編の復習 テスト 2. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語 3. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語 4. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語 5. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語 6. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 文法 7. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 語法 8. 筆記 1 の単語、熟語の復習 9. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略 10. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略 11. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略 12. 筆記 2 の単語、熟語の復習 13. 英作文問題を攻略 14. 2 級模擬試験 15. 2 級模擬試験
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑥ 木（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスニング 会話の内容、単語 2. リスニング 会話の内容、単語 3. リスニング第 1 部 ① 4. リスニング第 1 部のスクリプトチェック 5. リスニング第 2 部 ① 6. リスニング第 2 部のスクリプトチェック 7. 英作文問題 8. 英作文問題 9. 英作文問題 10. 英作文問題 11. 英作文問題 12. リスニングテスト 13. 英作文テスト 14. 2 級模擬試験 15. 2 級模擬試験
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑥ 木（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスニング 会話の内容、単語 2. リスニング 会話の内容、単語 3. 応用編 リスニング第 1 部 ① 4. 応用編 リスニング第 1 部のスクリプトチェック 5. 応用編 リスニング第 2 部 ① 6. 応用編 リスニング第 2 部のスクリプトチェック 7. 2 級リスニング模擬試験 8. 2 級リスニング模擬試験 9. 英作文問題 10. 英作文問題 11. 英作文問題 12. 英作文問題を攻略 13. 英作文テスト 14. 2 級模擬試験（リーディングとリスニング） 15. 2 級模擬試験（リーディングとリスニング）
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑦（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。 ・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。 ・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1,2. 1.2 日目 短文の語句空所補充問題（単語・熟語） 3,4. 3 日目 短文の語句空所補充問題（文法） 5,6. 4 日目 会話文の語句空所補充問題 7,8. 5 日目 長文の語句空所補充問題 9,10. 6 日目 長文の内容一致選択問題 11,12. 7 日目 英作文 13,14. 8.9.10 日目 リスニング 15,16. 11.12 日目 短文の語句空所補充問題（単語・熟語） 17,18. 13 日目 短文の語句空所補充問題（文法） 19,20. 14 日目 会話文の語句空所補充問題 21,22. 15 日目 長文の語句空所補充問題 23,24. 16 日目 長文の内容一致選択問題 25,26. 17 日目 英作文 27,28. 18 日目 リスニング 29,30. 19.20 日目 実力完成模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験（筆記）：80 点、授業参加内容・課題、小テスト等：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い不合格者は再試とする。

科目名	TOEIC/英検Ⅱ⑦（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・英検 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。 ・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。 ・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1,2. 1.2 日目 短文の語句空所補充問題（単語・熟語） 3,4. 3 日目 短文の語句空所補充問題（文法） 5,6. 4 日目 短文の語句空所補充問題（語法） 7,8. 5 日目 長文の語句空所補充問題 9,10. 6 日目 長文の内容一致問題 11,12. 7 日目 長文の内容一致選択問題 13,14. 8 日目 英作文 15,16. 9.10 日目 リスニング 17,18. 11.12 日目 短文の語句空所補充問題（単語・熟語） 19,20. 13.14 日目 短文の語句空所補充問題（文法） 21,22. 15 日目 長文の語句空所補充問題 23,24. 16 日目 長文の内容一致選択問題 25,26. 17 日目 英作文 27,28. 18.19 日目 リスニング 29,30. 20 日目 実力完成模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験（筆記）：80 点、授業参加内容・課題、小テスト等：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い不合格者は再試とする。

科目名	Composition II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome to the Party! (友人へのメール) 2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール) 3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方) 4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方) 5. This Is My Dream. (自分の夢について) 6. My Hobby Is ... (自分の趣味について) 7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について) 8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明) 9. What I Experienced (印象的な思い出の説明) 10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明) 11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方) 12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える) 13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明) 14. 英文ライティングプラクティステスト 15. 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラフ・表問題の攻略① 2. グラフ・表問題の攻略② 3. グラフ・表問題表現ドリル 4. グラフ・表問題演習 5. 本論の形式① 6. 本論の形式② 7. 結論のまとめかた① 8. 結論のまとめかた② 9. パラフレージング① 10. パラフレージング② 11. 地図・読解問題の攻略 12. 地図・読解問題演習 13. 「賛成・反対」タイプの攻略 14. 表現ドリル 15. 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ボキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome to the Party! (友人へのメール) 2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール) 3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方) 4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方) 5. This Is My Dream. (自分の夢について) 6. My Hobby Is ... (自分の趣味について) 7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について) 8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明) 9. What I Experienced (印象的な思い出の説明) 10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明) 11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方) 12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える) 13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明) 14. 英文ライティングプラクティステスト 15. 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラフ・表問題の攻略① 2. グラフ・表問題の攻略② 3. グラフ・表問題表現ドリル 4. グラフ・表問題演習 5. 本論の形式① 6. 本論の形式② 7. 結論のまとめかた① 8. 結論のまとめかた② 9. パラフレージング① 10. パラフレージング② 11. 地図・読解問題の攻略 12. 地図・読解問題演習 13. 「賛成・反対」タイプの攻略 14. 表現ドリル 15. 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome to the Party! (友人へのメール) 2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール) 3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方) 4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方) 5. This Is My Dream. (自分の夢について) 6. My Hobby Is ... (自分の趣味について) 7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について) 8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明) 9. What I Experienced (印象的な思い出の説明) 10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明) 11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方) 12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える) 13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明) 14. 英文ライティングプラクティステスト 15. 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラフ・表問題の攻略① 2. グラフ・表問題の攻略② 3. グラフ・表問題表現ドリル 4. グラフ・表問題演習 5. 本論の形式① 6. 本論の形式② 7. 結論のまとめかた① 8. 結論のまとめかた② 9. パラフレージング① 10. パラフレージング② 11. 地図・読解問題の攻略 12. 地図・読解問題演習 13. 「賛成・反対」タイプの攻略 14. 表現ドリル 15. 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ボキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition II ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級合格に必要な文法、2 次試験対策、語彙力を補っていく。 特にスピーキングや文法に力を入れ、学生が理解しているのかを確認するため、 テストを行う。 学生同士ペアになっての対話や、クラスの前での発表を通して、英語を話す自信を付けさせる。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 2. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 3. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 4. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 5. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 6. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 7. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 8. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 9. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 10. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 11. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 12. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 13. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 14. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 15. 筆記・スピーキングテスト
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記と発音のテスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	新しく学んだ文法・単語をしっかりと授業時間内に暗記すること。 積極的な発言。

科目名	Composition II ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に引き続きスピーキングや文法に力を入れ、学生が理解しているのかを確認するため、テストを行う。</p> <p>学生同士ペアになったの対話や、クラスの前での発表を通して、英語を話す自信を付けさせる。</p> <p>また TOEIC のリスニングは速度が速いため、耳を慣れさせるため、こちらで用意した教材を通して、リスニング力向上を目指す</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC リスニング・スピーキング 2. TOEIC リスニング・スピーキング 3. TOEIC リスニング・スピーキング 4. TOEIC リスニング・スピーキング 5. TOEIC リスニング・スピーキング 6. TOEIC リスニング・スピーキング 7. TOEIC リスニング・スピーキング 8. TOEIC リスニング・スピーキング 9. TOEIC リスニング・スピーキング 10. TOEIC リスニング・スピーキング 11. TOEIC リスニング・スピーキング 12. TOEIC リスニング・スピーキング 13. TOEIC リスニング・スピーキング 14. TOEIC リスニング・スピーキング 15. リスニング・スピーキングテスト
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	リスニングとスピーキングのテスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	新しく学んだ表現・単語をしっかりと授業時間内に暗記すること。 積極的な発言。

科目名	Composition II ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC L&R Test での高得点取得を目標に、Listening および Reading の両面から、2 回の授業をワンセットとし全 Part の実戦問題を解き、それぞれ解答のポイントとなる文法事項を確認する。また、Part ごとの目標とすべき解答時間を設定し、短時間で正解を見つけ出すポイントを身につけ、得点能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Warm-Up (自己紹介、授業概要と評価方法の説明) 2. Unit 1 ① 3. Unit 1 ② 4. Unit 2 ① 5. Unit 2 ② 6. Unit 3 ① 7. Unit 3 ② 8. Drills ① 9. Unit 4 ① 10. Unit 4 ② 11. Unit 5 ① 12. Unit 5 ② 13. Unit 6 ① 14. Unit 6 ② 15. Drills ②
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Composition II ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC L&R Test での高得点取得を目標に、Listening および Reading の両面から、2 回の授業をワンセットとし全 Part の実戦問題を解き、それぞれ解答のポイントとなる文法事項を確認する。また、Part ごとの目標とすべき解答時間を設定し、短時間で正解を見つけ出すポイントを身につけ、得点能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 7 ① 2. Unit 7 ② 3. Unit 8 ① 4. Unit 8 ② 5. Drills ③ 6. Unit 9 ① 7. Unit 9 ② 8. Unit 10 ① 9. Unit 10 ② 10. Drills ④ 11. Unit 11 ① 12. Unit 11 ② 13. Unit 12 ① 14. Unit 12 ② 15. Drills ⑤
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Composition II ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級の学習と同時に TOEIC の基本を学びます。 TOEIC に出る必須単語、フレーズ、センテンスを習得します。 リスニングに慣れるように簡単な会話から聞いていきます。 リーディングは基本的な文法、特に品詞、動詞などから勉強していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC についての説明 2. Unit1 part1-part4 リスニング 3. Unit1 part5-part7 リーディング 4. Unit2 part1-part4 リスニング 5. Unit2 part5-part7 リーディング 6. Unit3 part1-part4 リスニング 7. Unit3 part5-part7 リーディング 8. Unit1ーUnit3 までの単語、熟語の復習 9. Unit4 part1-part4 リスニング 10. Unit4 part5-part7 リーディング 11. Unit5 part1-part7 リスニング 12. Unit5 part5-part7 リーディング 13. Unit4ーUnit5 までの単語、熟語の復習 14. TOEIC 模擬試験 リスニング 15. TOEIC 模擬試験 リーディング
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	必ず TOEIC 公式を受けて今の自分の実力を把握しておいてください。

科目名	Composition II ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級の学習と同時に TOEIC の基本を学びます。 TOEIC に出る必須単語、フレーズ、センテンスを習得します。 リスニングに慣れるように簡単な会話から聞いていきます。 リーディングは基本的な文法、特に品詞、動詞などから勉強していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC 模擬試験 2. Unit6 part1-part4 リスニング 3. Unit6 part5-part7 リーディング 4. Unit7 part1-part4 リスニング 5. Unit7 part5-part7 リーディング 6. Unit8 part1-part4 リスニング 7. Unit8 part5-part7 リーディング 8. Unit6ーUnit8 までの単語、熟語の復習 9. Unit9 part1-part4 リスニング 10. Unit9 part5-part7 リーディング 11. Unit10 part1-part7 リスニング 12. Unit10 part5-part7 リーディング 13. Unit9ーUnit10 までの単語、熟語の復習 14. TOEIC 模擬試験 リスニング 15. TOEIC 模擬試験 リーディング
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	必ず TOEIC 公式を受けて今の自分の実力を把握しておいてください。

科目名	Composition II ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な文法事項をコンテキストの中で理解しながら、実用的な英作文のスキルを身につけます。 ・ リスニングと音読をすることにより、楽しく効率的にライティングスキルの向上を図ります。 ・ テーマにあった英作文をかけるようにします。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Unit 1 Self Introduction (自己紹介をする) 3. be 動詞・一般動詞 4. Unit 2 My Family. My Friends (家族や友人を紹介する) 5. 名詞の単数・複数・冠詞・形容詞 6. Unit 3 My room (部屋を描写する) 7. There 構文・前置詞 8. Unit 4 Everyday Activity (スケジュールを説明する) 9. 現在形・現在進行形 10. Unit 5 Recipes (レシピを書く) 11. 他動詞・自動詞 12. Unit 6 Introducing My Town (私の町を紹介する) 13. 副詞・比較級・最上級 14. Unit 7 Asking Questions (質問をする) 15. WH 疑問文
使用テキスト ・教材等	New English Composition Workbook
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後にはダイアログを完全に覚えるまで声に出して練習する。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。積極的に声に出して練習する。

科目名	Composition II ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な文法事項をコンテキストの中で理解しながら、実用的な英作文のスキルを身につけます。 ・ リスニングと音読をすることにより、楽しく効率的にライティングスキルの向上を図ります。 ・ テーマにあった英作文をかけるようにします。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 8 Diary (日記を書く) 2. Unit 9 Making a Reservation (予約のメールを書く) 3. Unit10 Writing a Postcard (旅先からハガキを書く) 4. Unit11 Job Hunting (自分のスキルを説明する) 5. Unit12 Writing a Letter (フォーマルな手紙を書く) 6. Unit13 Giving Advice (アドバイスをする) 7. 助動詞 (can/should/must/had better/might/may/could) 8. Unit14 Invitation (招待状を書く) 9. Unit15 Notice (注意書きを作る) 10. Unit16 My History (自分史を書く) 11. Unit17 Introducing Japanese Culture (日本の文化を紹介する) 12. Unit18 If I were (仮定の話を書く) 13. Unit19 Expressing Your Opinion (考えを伝える) 14. Unit20 Directions (道案内をする) 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	New English Composition Workbook
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後にはダイアログを完全に覚えるまで声に出して練習する。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。積極的に声に出して練習する。

科目名	児童英語教育Ⅱ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約4年、その後、AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していく質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与え、卒業時に認定する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語教育について（児童英語教育の現状と今後） 2. 言語習得についての基礎知識 1（学習方法の提案） 3. 言語習得についての基礎知識 2 4. 言語習得についての基礎知識 3 5. 児童英語の指導法 1（レッスンプランの必要性和、立て方の基本） 6. 児童英語の指導法 2（アクティビティの研究） 7. 児童英語の指導法 3（子供の心理・特性の研究：子供と大人の違い） 8. 児童英語の指導法 4（発話量の確保、悲しい子供を作らないルール設定の仕方） 9. 児童英語の指導法 5（デモンストレーションレッスン課題発表） 10. 児童英語の指導法 6（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ） 11. 児童英語の指導法 7（教材作り） 12. 児童英語の指導法 8（グループデモンストレーション） 13. 児童英語の指導法 9（最終発表 *実技試験） 14. 児童英語の指導法 10（フィードバック、総評など） 15. 前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary/学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。 同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何が できるかを常に意識すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約4年、その後、AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していきける質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与えることとする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童英語の指導法 11（子供の叱り方、誉め方研究） 2. 児童英語の指導法 12（子供の興味の対象の研究） 3. 児童英語の指導法 13（少人数クラスと大人数クラス） 4. 児童英語の指導法 14（モノリンガルクラスとバイリンガルクラス） 5. 児童英語の指導法 15（具体的なアクティビティと注意点） 6. 児童英語の指導法 16（フォニックスの指導法） 7. 児童英語の指導法 17（テキスト以外のカリキュラムの組み方） 8. 児童英語の指導法 18（デモンストレーションレッスン課題発表） 9. 児童英語の指導法 19（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ） 10. 児童英語の指導法 20（グループデモンストレーション） 11. 実技試験（最終発表、レッスンプラン提出） 12. 実技試験のフィードバック、総評とインターンシップについて 13. 教材の選定方法（学習目標・対象年齢・使いやすさ・教育方針・利点欠点など） 14. 保護者対応・就職試験対策について 15. 後期のまとめ
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary/学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。 同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何が できるかを常に意識すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	長野 よしみ（実務経験：(株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	児童英語インストラクター、英語教育関係などへの就職を目指す学生たちがビジネスの現場にて、日常生活でよく使われる表現を正確に言える能力を身につけることを目的とする。 授業の方法としては、英検や TOEIC のテスト対策に備えるため、語彙力の強化も図る。また、英検の二次対策として絵を見てできるだけ多くの英語表現が言えるように練習する。楽しく覚えられるようにペアでジェスチャーなどをして確認作業をする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1 日の始まりとして朝、最初にする事 2. 朝食を作る 3. 外出の表現としてバスに乗る 4. 外出の表現としてタクシーに乗る 5. 帰宅してから夕食を作る 6. インターネットを使う 7. 家事の表現として洗濯をする 8. 家事の表現としてペットの世話 9. 買い物の支払いをする 10. 銀行に行く 11. メールの送受信 12. 携帯電話を使う 13. 映画に行く 14. コーヒーショップでコーヒーを飲む 15. 前期事前テストの実施
使用テキスト ・教材等	イラストでわかる日常生活の英語表現
成績評価方法 及び 基準	実技試験によるプレゼンテーション評価：発表の出来 80 点 平常点：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常行動を英語にして訓練すること。（必ず毎日 10 個の表現を口に出して練習すること。）
履修に 当たっての 留意点	ペアワークを多く取り入れるので積極的にクラスに参加し、質疑応答時には質問すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	長野 よしみ（実務経験：(株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語関係などへの就職を目指す学生たちが、朗読の基本技術を習得することによって、「聞き手を意識すること」への重要性に気付いてもらうことを目的とする。聞き手に声がきちんと届いているか、聞き手に内容が正確に伝わっているか、聞き手に「面白い！」と思わせることが出来ているかを常に点検する。聞き手により伝わるように工夫することは、会話、スピーチ、プレゼンテーションでも必要な基礎となり、その結果、「声のトーン」や「間」や「強調」などをコントロール出来る表現が身につく、将来子供に英語の読み聞かせができるように指導する。与えられた課題について、クラスにて発表会を実施し、評価シートに基づき評価する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 朗読トレーニングのための 10 のキーワードを理解する 2. ニュース：気候変動と戦うドローン 3. ニュース：世界の人口 4. ニュース：ロイヤル・ウェディング 5. スピーチ：核兵器のない世界を（バラク・オバマ） 6. スピーチ：核兵器のない世界を（バラク・オバマ） 7. 詩：汽車に乗って（ロバート・ルイス・ステューブン） 8. 詩：水仙（ウィリアム・ワーズワース） 9. 物語：豆の上のお姫さま（ハンス・クリスチャン・アンデルセン） 10. クリスマス特別レッスン：クリスマスキャロルとクリスマスソング 11. 物語：一杯のミルク（作者不明） 12. 物語：路（むじな）（小泉八雲） 13. 後期事前テストの実施 14. 物語：手袋を買いに（新美南吉） 15. 物語：かぼちやのなかの金色の時間（角田光代）
使用テキスト ・教材等	英語は朗読でうまくなる！
成績評価方法 及び 基準	実技試験によるプレゼンテーション評価：発表の出来 80 点 平常点：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から意識して人に伝わる英語を話すことを積極的に訓練すること。 （必ず毎日 1 つの話を声に出して自宅で読むことを実施すること。）
履修に 当たっての 留意点	積極的にクラスに参加し、質疑応答時には質問すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ③（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵（実務経験：英語塾経営 28 年間）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>教育業への就職や将来子育てをすることになった場合に役立つような児童英語教育に関する基礎知識を身につける。</p> <p>手あそび歌、絵本読み聞かせの技術を身につける。</p> <p>季節ごとのイベントについての知識、実施技術を身につける。</p> <p>既成の絵本を参考に、イラスト・本文を自分で作成する。（演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童英語教授法の概要、Q&A 2. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自己紹介の英語 3. 母の日クラフト作成 4. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、食べ物の英語 5. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、学校生活の英語 6. 父の日クラフト作成 7. 手遊び歌、ペットに関する英語 8. 手遊び歌、音楽に関する英語 9. 手遊び歌、テレビ・エンターテインメントに関する英語 10. 手遊び歌、クラブ活動の英語 11. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、スポーツに関する英語 12. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す 13. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す 14. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す 15. 実技テスト
使用テキスト ・教材等	<p>英語は朗読でうまくなる</p> <p>イラストでわかる日常生活の英語表現 -改訂版-</p>
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、実技テストを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	将来英語を教える職業についたり、自分や親せきの子どもと遊ぶときに役立つ指導力を身につけるつもりで、積極的にクラス参加すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ③（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵（実務経験：英語塾経営 28 年間）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>教育業への就職や将来子育てをすることになった場合に役立つような児童英語教育に関する基礎知識を身につける。</p> <p>手あそび歌、絵本読み聞かせの技術を身につける。</p> <p>季節ごとのイベントについての知識、実施技術を身につける。</p> <p>既成の絵本を参考に、イラスト・本文を自分で作成する。（演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期復習 2. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、仮定法を用いたスピーチ作成 3. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、スピーチ発表 4. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、旅行に関する英語 5. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、仕事場で使う英語 6. ハロウィングラフト作成 7. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、日本文化を英語で説明する① 8. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、日本文化を英語で説明する② 9. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、世界各国の紹介① 10. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、世界各国の紹介② 11. クリスマスクラフト作成 12. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、物語作り① 13. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、物語作り②、発表 14. バレンタインクラフト作成 15. 実技テスト
使用テキスト ・教材等	<p>英語は朗読でうまくなる</p> <p>イラストでわかる日常生活の英語表現 -改訂版-</p>
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、実技テストを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	将来英語を教える職業についたり、自分や親せきの子どもと遊ぶときに役立つ指導力を身につけるつもりで、積極的にクラス参加すること。

科目名	児童英語教育Ⅱ④（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	近藤 桜花（実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>子どもたちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要になります。また、楽しみながらでない子どもたちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることも必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になる事を想定して、発音の向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして、楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Hello Song（練習・発表）／子音の発音 p,b／Two Truth and a Lie 2. Seven Steps／子音の発音 c,k,g／Easter Egg 作り 3. Are You Sleeping?／子音の発音 t,d／絵しりとり 4. ABC Song・Hokey Pokey／子音の発音 f,v／20 Questions 5. BINGO／子音の発音 sh,j／BONGO 6. Eency Weency Spider／子音の発音 l,r／Bomb Game 7. Head, Shoulders, Knees and Toes／子音の発音 s,z,x／Anything Goes Basket 8. Here We Go Round the Mulberry Bush／子音の発音 th／Up Down 9. London Bridge／子音の発音 h,m,n／Who, What, Where, When 10. Pat-a-Cake, Pat-a-Cake／子音の発音 tr／動物の鳴き声 11. Hickory, Dickory, Dock／子音の発音 dr／Explain Game 12. The Muffin Man／子音の発音 w,y／しりとり Bomb Game 13. The Farmer in the Dell／母音の発音 a,e／What time is it Mr. Wolf? 14. Twinkle, Twinkle, Little Star／母音の発音 i,o,u／Get the Cards 15. 発表
使用テキスト ・教材等	<p>はじめての英語の歌</p> <p>歌でおぼえるらくらくイングリッシュ</p>
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 60 点、平常点 20 点、発表や提出物 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌うときは生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームのパートは楽しんで参加してください。</p>

科目名	児童英語教育Ⅱ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	近藤 桜花（実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>子どもたちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとて重要になります。また、楽しみながらでない子どもたちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることも必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になる事を想定して、発音の向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして、楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Old Macdonald Had a Farm/Shopping List（クラフト） 2. If You're Happy and You Know It/Darts 3. Under the Spreading Chestnut Tree/What's Missing? 4. Sunday, Monday, Tuesday/Hanged Man 5. Mary Had a Little Lamb/Vocab Game 6. Humpty Dumpty/Who am I? 7. Deck the Halls/Snake Game 8. Jingle Bells/Don't say 21 9. Joy to the World/Bamboo Shoot Game 10. Silent night/Quiz 11. We Wish You a Merry Christmas/Shouting Game 12. Christmas Lesson 13. 発表 14. グループで発表（先生バージョン） 15. グループで発表（先生バージョン）
使用テキスト ・教材等	<p>はじめての英語の歌</p> <p>歌でおぼえるらくらくイングリッシュ</p>
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 60 点、平常点 20 点、発表や提出物 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌うときは生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームのパートは楽しんで参加してください。</p>

科目名	児童英語教育Ⅱ⑤（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保（実務経験：学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	児童英語の分野について知り、言語の知識を学習しながら基礎文法を確認する。 小学校での英語必修教科化に伴い、英語を教えるために必要な力や方法について学び、模擬体験をしながら習得する。 児童英語活動を通して異文化を知り、国際コミュニケーション力を育む。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもに英語を教えるための 3 つの力とは／品詞と文型 2. 名詞・冠詞・代名詞／語彙力養成 3. 動詞・時制／パラフレーズ力養成 4. 形容詞／副詞／身のまわりの単語と表現 5. 前置詞／接続詞／ローマ字について 6. 品詞と文型まとめ 7. 季節の文化学習(春)／語彙力・パラフレーズ力演習 8. 子どもが受験する英語の試験への挑戦／フォニックスについて 9. 英検スピーキング試験指導について／フォニックス演習 10. 季節の文化学習(夏)／前期試験前リスニング演習 11. リスニング(フォニックスルール)テスト／前期試験前演習 12. 前期試験フィードバック 13. 前期に学習した基礎文法の演習 14. 英検ライティング試験指導について 15. 前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	大岩のいちばんはじめの英文法 超基礎文法編／mpi フォニックス認定試験知識編(参考) 児童英語教師のためのワークブック(参考)／子どもに聞かれて困らない英文法のキソ(参考)
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、模擬演習に備えること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	児童英語教育Ⅱ⑤（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保（実務経験：学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	児童英語の分野について知り、言語の知識を学習しながら基礎文法を確認する。 小学校での英語必修教科化に伴い、英語を教えるために必要な力や方法について学び、模擬体験をしながら習得する。 児童英語活動を通して異文化を知り、国際コミュニケーション力を育む。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不定詞／状況設定力養成 2. 季節の文化体験学習(秋)／状況設定力演習 3. 動名詞／身のまわりの単語と表現 4. 分詞・関係詞／英検ライティング指導演習 5. 助動詞・仮定法／フォニックス演習 6. 子どもが受験する英語の試験への挑戦／フォニックス演習 7. 語彙力・パラフレーズ力演習／後期試験前リスニング演習 8. リスニング(フォニックスルール)テスト／後期試験前演習 9. 後期試験フィードバック 10. 季節の文化体験学習(冬)／状況設定力演習 11. 子どもに英語を教えるための3つの力復習／英検スピーキング試験指導演習 12. 後期に学習した基礎文法演習 13. 子どもが受験する英語の試験への挑戦 14. スピーチ／模擬授業演習 15. 一年間の総合演習
使用テキスト ・教材等	大岩のいちばんはじめの英文法 超基礎文法編／mpi フォニックス認定試験知識編(参考) 児童英語教師のためのワークブック(参考)／子どもに聞かれて困らない英文法のキソ(参考)
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、模擬演習に備えること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	児童英語教育Ⅱ⑥（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ（実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>子供たちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要です。また、楽しみながらでない子供たちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることが必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になることを想定して、発音やイントネーションの向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 1 Greetings / Hello Song / <u>Feelings</u> / Two Truths and a Lie 2. Unit 1 Greetings / Seven Steps / <u>Numbers</u> / Easter Eggs 3. Unit 2 Basics / Under the Spreading Chestnut Tree / <u>Colors</u> / Touch It 4. Unit 2 Basics / Row, Row, Row Your Boat / <u>Weather</u> / Bomb Game 5. Unit 3 Q&A サークルタイム / BINGO / <u>Wild Animals</u> / BINGO 6. Unit 3 Q&A サークルタイム / The ABC Song / <u>The Alphabet</u> / Spelling Game 7. Unit 3 Q&A サークルタイム / London Bridge / <u>Fruits</u> / Anything Goes Basket 8. Unit 4 Main Topics / Head, Shoulders, Knees and Toes / <u>Body Parts</u> 9. Unit 4 Main Topics / <u>Days of the Week</u> / Months of the Year / Seasons 10. Review 11. Presentation / Role-Playing 12. Unit 5 Extra Activities / Twinkle, Twinkle, Little Star / <u>Outdoors</u> / Bomb Game 13. Unit 5 Extra Activities / If you're Happy... / <u>Shapes</u> / Charades 14. Unit 6 Fillers / Marry Has a Little Lamb / <u>Clothes</u> / Get the Card 15. Unit 6 Fillers / Old Macdonald / <u>Farm Animals</u> / Put the Ball in the Cup
使用テキスト ・教材等	Small Talk More Jazz Chants / 頭のいい子が育つ英語の歌 45 選 / Flashcards
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌う時は生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームなどを楽しんで参加してください。</p> <p>Try to come up with original games and activities.</p>

科目名	児童英語教育Ⅱ⑥（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ（実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める）
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>子供たちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要です。また、楽しみながらでない子供たちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることが必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になることを想定して、発音やイントネーションの向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 6 Likes and Dislikes 好き嫌い / Do Re Mi / Darts 2. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Hokey Pokey / Explain Game 3. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Ten Little Indians / Shopping Game 4. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Humpty Dumpty / What's Missing? 5. Unit 8 Apologizing 謝罪 / Halloween Vocabularies / Hangman 6. Unit 8 Apologizing 謝罪 / The Wheels on the Bus / Vocabulary Game 7. Unit 9 Talking about Food 食べ物 / The Finger Family / Who am I? 8. Unit 10 Talking about Food 食べ物 / Little Peter Rabbit / Snake Game 9. Unit 11 Talking about Money お金 / A whole New World / Don't Say 21 10. Unit 10 Talking about Money お金 / A Whole New World / Bamboo Shoot Game 11. Christmas Vocabulary / Song / Quiz 12. Review 13. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World / Shouting Game 14. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World 15. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World
使用テキスト ・教材等	Small Talk More Jazz Chants / 頭のいい子が育つ英語の歌 45 選
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	歌やチャンツを歌う時は生徒の前に立つことを意識してください。 ゲームなどを楽しんで参加してください。

科目名	発音クリニックⅡ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの翻訳、通訳）
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語を学ぶにおいて発音、アクセント、イントネーションの重要性に気づいてもらい、通じる英語を目指します。特にカタカナ英語に注意しながら、リスニングの強化、単語力アップにつながる勉強のコツを学びます。 簡単な文章を聞き取り暗記しながら、つながる音、消える音など意識して、クラスパートナーとのトレーニングをします。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit1,2,3（つながる音） 2. Unit4,5,6（つながる音） 3. Unit7,8,9（消える音） 4. Unit10,11,12（消える音） 5. Unit13,14,15（消える音） 6. Unit16,17,18,19（チャ、シャ、ジャの音） 7. Unit20,21,22,23（tの音） 8. Unit24,25,26,27（d,h,の脱落音） 9. Unit28,29,30（d,I,の変化音） 10. Unit31,32,33（tr,str,drの音） 11. Unit34,35,36,37（going to, want to, get to） 12. Unit 38,39,40（短縮形） 13. Unit 41,42（肯定と否定） 14. 今までの復習と会話のリスニング 15. 今までの復習と会話実践 1
使用テキスト ・教材等	英語リスニング大特訓 授業で使用するプリント
成績評価方法 及び 基準	正確な発音、音読で 40 点、会話の聞き取り 40 点、単語の聞き取り 20 点で合計を 100 点として 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の会話、歌の聞き取りなどをしてリスニング力をつける。習った発音は復習を兼ねて声にだしてみる。
履修に 当たっての 留意点	難しい発音や、つながって聞きづらい音を何度も音に出して、常にきれいな英語を話すこと、聞き取る意識を持つこと。クラスの仲間の英語を聞くこと。

科目名	発音クリニックⅡ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ロータリー、ライオンズクラブでの翻訳、通訳）
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語を学ぶにおいて発音、アクセント、イントネーションの重要性に気づいてもらい、通じる英語を目指します。 つながる音、消えてしまう音なども注意しながら正しい発音を練習します。 特にカタカナ英語に注意しながら、リスニングの強化、単語力アップにつながる勉強のコツを学びます。 簡単な文章を暗記しながら、発音、アクセントなど意識して、クラスパートナーとトレーニングをします。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit43,44,45,46（母音） 2. Unit47,48,49,50,51（子音） 3. Unit52,53,54（外来語） 4. Unit55,56,57,58（日常の一言） 5. Unit59,60,61（天気、冠婚葬祭） 6. Unit62,63,64（年中行事、恋愛） 7. Unit65,66（病院） 8. Unit67,68,69（ビジネス会話） 9. Unit70,71,72,73（ビジネス会話） 10. Unit74,75,76,77（ビジネス会話） 11. Unit78,79,80（海外旅行） 12. Unit81,82,83（海外旅行） 13. Unit84,85,86（海外旅行） 14. Unit87,88（海外旅行） 15. 今までの復習
使用テキスト ・教材等	英語リスニング大特訓 授業に必要なプリントなども使用する
成績評価方法 及び 基準	正確な発音、音読で 40 点、会話の聞き取り 40 点、単語の聞き取り 20 点で合計を 100 点として 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の会話、歌の聞き取りなどをしてリスニング力をつける。習った発音は復習を兼ねて声にだしてみる。
履修に 当たっての 留意点	難しい発音や、つながって聞きづらい音を何度も音に出して、常にきれいな英語を話すことを意識すること。クラスの仲間、映画、ニュースなどの英語を聞くこと。

科目名	発音クリニックⅡ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	トラチャック・ロレイン（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their pronunciation skills. To achieve this students will listen to and then repeat words from dictation each class. They will also write sentences dictated by the teacher and do quizzes and tests. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Student Profile 2. Pronunciation Lesson 1 3. Pronunciation Lesson 2 4. Pronunciation Lesson 3 5. Pronunciation Lesson 4 6. Pronunciation Lesson 5 7. Pronunciation Lesson 6 8. Pronunciation Lesson 7 9. Pronunciation Lesson 8 10. Pronunciation Lesson 9 11. Pronunciation Lesson 10 12. Pronunciation Lesson 11 13. Pronunciation Lesson 12 14. Pronunciation Lesson 13 15. Pronunciation Test
使用テキスト ・教材等	Pronunciation Lessons
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> • 50 points for classwork • 50 points for final examination • 100 points total for the course (over 60 to pass)
授業時間外 に必要な 学修内容	Reviewing words that we've gone over in class and listening practice through social media.
履修に 当たっての 留意点	English pronunciation is difficult, but with effort, you can improve greatly in a short time.

科目名	発音クリニックⅡ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	トラチャック・ロレイン（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their pronunciation skills. To achieve this students will listen to and then repeat words from dictation each class. They will also write sentences dictated by the teacher and do quizzes and tests. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus 2. Pronunciation Lesson 14 3. Pronunciation Lesson 15 4. Pronunciation Lesson 16 5. Pronunciation Lesson 17 6. Pronunciation Lesson 18 7. Pronunciation Lesson 19 8. Pronunciation Lesson 20 9. Pronunciation Lesson 21 10. Pronunciation Lesson 22 11. Pronunciation Lesson 23 12. Pronunciation Lesson 24 13. Pronunciation Lesson 25 14. Pronunciation Test 15. Pronunciation Test
使用テキスト ・教材等	Pronunciation Lessons
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> • 50 points for classwork • 50 points for final examination • 100 points total for the course (over 60 to pass)
授業時間外 に必要な 学修内容	Reviewing words that we've gone over in class and listening practice through social media.
履修に 当たっての 留意点	English pronunciation is difficult, but with effort, you can improve greatly in a short time.

科目名	English Resume/Interview II ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English writing and interview skills. To achieve this students will study various writing assignments. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 Parts 1 and 2 3. Writing assignment 1 My Self-introduction 4. Unit 1 Parts 3 and 4 5. Unit 2 Parts 1 and 2 6. Writing assignment 2 My hometown 7. Unit 2 Parts 3 and 4 8. Review Units 1 and 2 9. Unit 3 Parts 1 and 2 10. Writing assignment 3 My strengths and weaknesses 11. Unit 3 Parts 3 and 4 12. Unit 4 Parts 1 and 2 13. Writing assignment 4 My hero someone I admire 14. Unit 4 Parts 3 and 4 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Effective Academic Writing: 2nd Edition Level 2 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class and online. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	English Resume/Interview II ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English writing and interview skills. To achieve this students will study various writing assignments. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus 2. Unit 5 Parts 1 and 2 3. Writing assignment 5 My resume 4. Unit 5 Parts 3 and 4 5. Unit 6 Parts 1 and 2 6. Writing assignment 6 My cover letter 7. Unit 6 Parts 3 and 4 8. Review Units 5 and 6 9. Writing assignment 7 My hero someone I admire 10. Writing assignment 8 Recent interesting news 11. Writing assignment 9 My Self PR 12. Writing assignment 10 A frustrating experience 13. Writing assignment 11 Differences between students and society 14. Writing assignment 12 A letter to me 10-years from now 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Effective Academic Writing: 2nd Edition Level 2 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class and online. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	English Resume/Interview II② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	書くことに慣れていない学生にこのテキストを使って学んでいきます。 Writing Process が 4 段階に進んでいき、テーマに合わせて考えをまとめて、より効果的な書き方を習得します。 Writing に役立つ文法を学びます。例えば、物語形式では動詞の時制に注意したりします。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. テキストの使い方 自己紹介 2. Unit1 Paragraph to Short Essay 3. Unit1 Paragraph to Short Essay 4. Unit1 Paragraph to Short Essay 5. Unit1 Paragraph to Short Essay 6. Unit2 Descriptive Essays 7. Unit2 Descriptive Essays 8. Unit2 Descriptive Essays 9. Unit2 Descriptive Essays 10. Unit3 Narrative Essays 11. Unit3 Narrative Essays 12. Unit3 Narrative Essays 13. Unit3 Narrative Essays 14. 今までの復習 15. 今までの復習
使用テキスト ・教材等	Effective Academic Writing
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 80 点、平常点を 20 点で合計を 100 点をとって、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	経済、世界情勢などさまざまな知識を習得して、一般教養の知識アップをしてください。 簡単な文章でも正しく書けるように常日頃から単語、フレーズ、センテンスを暗記しておいてください。
履修に 当たっての 留意点	組み立てて書く練習にしっかりと取り組んで積極的に授業に参加してください。

科目名	English Resume/Interview II ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	書くことに慣れていない学生にこのテキストを使って学んでいきます。 Writing Process が 4 段階に進んでいき、テーマに合わせて考えをまとめて、より効果的な書き方を習得します。 Writing に役立つ文法を学びます。例えば、物語形式では動詞の時制に注意したりします。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit4 Comparison-contrast Essays 2. Unit4 Comparison-contrast Essays 3. Unit4 Comparison-contrast Essays 4. Unit4 Comparison-contrast Essays 5. Unit5 Opinion Essays 6. Unit5 Opinion Essays 7. Unit5 Opinion Essays 8. Unit5 Opinion Essays 9. Unit6 Cause-and Effective Essays 10. Unit6 Cause-and-Effective Essays 11. Unit6 Cause-and-Effective Essays 12. Unit6 Cause-and-Effective Essays 13. Appendix 14. 今までの復習 15. 今までの復習
使用テキスト ・教材等	Effective Academic Writing
成績評価方法 及び 基準	筆記試験 80 点、平常点を 20 点で合計を 100 点をとって、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	経済、世界情勢などさまざまな知識を習得して、一般教養の知識アップをしてください。 簡単な文章でも正しく書けるように常日頃から単語、フレーズ、センテンスを暗記しておいてください。
履修に 当たっての 留意点	組み立てて書く練習にしっかりと取り組んで積極的に授業に参加してください。

科目名	第2外国語Ⅱ（前期 30時間（90分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	高木 佐知子（実務経験：2010年より中国語通訳者。全国通訳案内士資格 2013年取得）
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>中国語を1年間学んだ学生を対象に、中国語の標準的な発音・ピンイン・基本的な文法の習得を目標とする。</p> <p>1年次に引き続き、テキストに沿って進め、基礎文法と基礎会話の力をつける。授業中は学生に個別に音読させ、発音・四声を矯正していく。テキスト課文を暗記し、中日、日中の双方向訳がスムーズにできることを目指す。検定試験合格という明確な到達目標に向かい、意欲的に学習を進める。</p> <p>語学学習を通して、中華圏についての知識、興味を深める。（講義）</p> <p>[到達目標]</p> <p>中国語検定準4級・4級の合格を目標とする。 高校履修者は中国語検定3級合格をめざす。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1年生の総復習、発音の見直し 2. 第7課 本文と文法ポイント：時刻の表現 動量補語 3. 第7課 本文復習 ドリル問題 4. 第8課 本文と文法ポイント：動詞の連体修飾 5. 第8課 本文復習 ドリル問題 6. 第9課 本文と文法ポイント：可能の助動詞 動作の進行表現 7. 第9課 本文復習 ドリル問題 8. 中国語検定対策問題 準4級、4級の問題演習 9. 中国語検定対策問題 準4級、4級の問題演習 10. 第10課 本文と文法ポイント：方向補語 時量補語 11. 第10課 本文復習 ドリル問題 12. 第11課 本文と文法ポイント：比較 経験の表現 13. 第11課 本文復習 ドリル問題 14. 中国語検定対策問題 準4級、4級の問題演習 15. 中国語検定対策問題 準4級、4級の問題演習
使用テキスト ・教材等	<p>チャレンジ！一年生の中国語： 朝日出版社</p> <p>（参考文献 中検準4級、4級 試験問題 日本中国語検定協会編 : 白帝社）</p>
成績評価方法 及び 基準	<p>定期試験、発音テスト、授業への取組みを総合して評価（計100点満点）。</p> <p>60点以上を合格とする。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>テキスト課文、簡体字をノートに書いて練習する。</p> <p>授業で学習した課文を、暗唱できるまで繰り返し音読する。</p>
履修に 当たっての 留意点	<p>授業中は、黙読ではなく、しっかり声を出して練習する。</p> <p>書く練習をするので、各自ノートを一冊準備する。</p>

科目名	第2外国語Ⅱ（後期 30時間（90分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	高木 佐知子（実務経験：2010年より中国語通訳者。全国通訳案内士資格 2013年取得）
学科・学年	英語科 2年 英語コース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>中国語を1年間学んだ学生を対象に、中国語の標準的な発音・ピンイン・基本的な文法の習得を目標とする。</p> <p>前期に引き続き、基本的な文法事項・語彙・発音・簡単な会話の習得を目指す。授業中は学生に個別に音読させ、発音・四声を矯正していく。テキスト課文を暗記し、中日、日中の双方向訳がスムーズにできることを目指し、中国語を定着させる。検定試験対策学習により、実力と自信を身につける。</p> <p>語学学習を通して、中華圏についての知識、興味を深める。（講義）</p> <p>[到達目標]</p> <p>中国語検定準4級・4級の合格を目標とする。 高校履修者は中国語検定3級合格をめざす。</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2年前期総復習、発音の見直し 2. 第12課 本文と文法ポイント：結果補語 受身文 3. 第12課 本文復習 ドリル問題 4. 第13課 本文と文法ポイント：可能補語 使役構文 5. 第13課 本文復習 ドリル問題 6. 第14課 本文と文法ポイント：存現文 ”是～的” 構文 7. 第14課 本文復習 ドリル問題 8. テキスト付録 中国語検定4級模擬試験 9. テキスト付録 中国語検定4級模擬試験 10. 単語、文法事項の総復習、発音確認 11. 単語、文法事項の総復習、発音確認 12. 単語、文法事項の総復習、発音確認 13. 中国語検定対策問題 問題演習 14. 中国語検定対策問題 問題演習 15. 中国語検定対策問題 問題演習
使用テキスト ・教材等	<p>チャレンジ！一年生の中国語： 朝日出版社</p> <p>（参考文献 中検準4級、4級、3級 試験問題 日本中国語検定協会編 ；白帝社）</p>
成績評価方法 及び 基準	<p>定期試験、発音テスト、授業への取組みを総合して評価（計100点満点）。 60点以上を合格とする。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>テキスト課文、簡体字をノートに書いて練習する。 授業で学習した課文を、暗唱できるまで繰り返し音読する。</p>
履修に 当たっての 留意点	<p>授業中は、黙読ではなく、しっかり声を出して練習する。 書く練習をするので、各自ノートを一冊準備する。</p>

科目名	Discussion&Sales SkillsⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	英語科 2 年 留学コース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	様々な TOPIC に対し、賛成、反対意見を論理的に話せるよう自分の意見をまとめ、発表する練習をしていく。日本人が不得意とされる自分の意見を積極的に話す練習を重ねることにより文化の違いを理解し、留学先や国際的な仕事の場面で英語を使ったコミュニケーションの場で困らないようにしていく。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの確認及び前期目標の設定 2. Welcome to coffee shop discussions 3. Welcome to coffee shop discussions 4. Western-style Hotel VS Japanese Inn Part1 ① 5. Western-style Hotel VS Japanese Inn Part1 ② 6. Western-style Hotel VS Japanese Inn Part2 ① 7. Western-style Hotel VS Japanese Inn Part2 ② 8. e-Learning Part1 ① 9. e-Learning Part1 ② 10. e-Learning Part2 ① 11. e-Learning Part2 ② 12. Social Networking Part1 ① 13. Social Networking Part1 ② 14. 復習問題 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Coffee Shop Discussions
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	Discussion&Sales SkillsⅡ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	英語科 2 年 留学コース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	様々な TOPIC に対し、賛成、反対意見を論理的に話せるよう自分の意見をまとめ、発表する練習をしていく。日本人が不得意とされる自分の意見を積極的に話す練習を重ねることにより文化の違いを理解し、留学先や国際的な仕事の場面で英語を使ったコミュニケーションの場で困らないようにしていく。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの再確認及び後期目標の設定 2. Social Networking Part2 ① 3. Social Networking Part2 ② 4. Big City VS Small Town Part1① 5. Big City VS Small Town Part1① 6. Big City VS Small Town Part2① 7. Big City VS Small Town Part2① 8. Online Shopping – Part1① 9. Online Shopping – Part1② 10. Students Working Part Time Part1① 11. Students Working Part Time Part1② 12. Students Working Part Time Part 2 ① 13. Students Working Part Time Part 2 ② 14. 総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Coffee Shop Discussions
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	Tourism II (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	近年、日本の国際化が進む中で観光分野において外国語、特に英語による業務が増えており、観光業界で英語が使える人材の需要が高まっています。そのニーズに応えるために必要なスキルを、ステップアップ観光英語のテキストで身につけます。また、将来観光の仕事に就くためだけでなく、自分自身のプライベートやスキルアップを目指し、「国際人」として活躍できる人格を学ぶ時間も設けます。前期・後期ごとに、ターゲットを設け、小テスト及び本テストにて、評価していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 / 授業の流れ / 本授業での学習意義・留意点の確認 (Discussion) 2. Travel Information 自己紹介と旅行に関する案内 (前半 TASK1~3) 3. Travel Information 旅行に関する案内 (前半 review) (後半 TASK4) 4. At the Air Port (前半 TASK1~3) 空港で使われる英語の理解力を高める 5. At the Air Port (前半 review) (後半 TASK4) デモンストレーション 6. Asking and Giving Directions (前半 TASK1~3) 7. Asking and Giving Directions (前半 review) (後半 TASK4) 実践練習 8. Hotel (前半 TASK1~3) 及びこれまでの確認テスト実施予定 9. Hotel (前半 review) 及び (後半 TASK4) デモンストレーション 10. Dining (前半 TASK1~3) レストランにおける英語表現を学ぶ 11. Dining (前半 review) 及び (後半 TASK4) 12. Asking and Giving Directions (前半 TASK1~3) 道案内・方向を聞く 13. Asking and Giving Directions (前半 review) 及び (後半 TASK4) 14. これまでの確認テスト実施予定 Buses and Trains (前半 TASK1) 15. Buses and Trains (TASK1 review) + 試験出題内容の確認
使用テキスト ・教材等	ENGLISH FOR TOURISM ステップアップ観光英語
成績評価方法 及び 基準	テキスト内の演習問題。小テスト(筆記・リスニング)の出来具合による評価。 100 点満点中 60 点以上を合格とする。(小テストは 30 点~50 点満点に設定予定)
授業時間外 に必要な 学修内容	繰り返しの発話練習。
履修に 当たっての 留意点	授業中は、常に英語を使うよう心掛ける。よく使うフレーズはさらで言えるように日頃から練習する習慣をつける必要がある。失敗を恐れない。

科目名	Tourism II (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ 選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 2年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	近年、日本の国際化が進む中で観光分野において外国語、特に英語による業務が増えており、観光業界で英語が使える人材の需要が高まっています。そのニーズに応えるために必要なスキルを、ステップアップ観光英語のテキストで身につけます。また、将来観光の仕事に就くためだけでなく、自分自身のプライベートやスキルアップを目指し、「国際人」として活躍できる人格を学ぶ時間も設けます。前期・後期ごとに、ターゲットを設け、小テスト及び本テストにて、評価していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mailing and Money Exchange (前半 TASK1～3) 為替交換の方法 2. Mailing and Money Exchange (後半 TASK4) + 前半の Review 3. Sightseeing(1) (前半 TASK1～3) 観光方法と手引き 4. Sightseeing(1) (後半 TASK4) 観光の方法と手引き + 前半の Review 5. 4 週分の内容の確認+表現・語彙力チェック① 6. Sightseeing(2) (前半 TASK1～3) 観光における注意点 7. Sightseeing(2) (前半 TASK4) + 前半の Review 実践練習を含む 8. Problems and Complaints (前半 TASK1～3) 問題と苦情について 9. Problems and Complaints (後半 TASK4) 実践演習 前半の Review 10. 4 週分の内容の確認+表現・語彙力チェック② 11. Tour Conductor Duties (前半 TASK1～3) ツアコンダクターについて 12. Tour Conductor Duties (後半 TASK4) + 前半の Review 問題提起 13. Sightseeing in Japan (TASK1～4) + 意見交換・実践演習 14. これまでの復習 + 確認 (UNIT1～) 15. 後期試験へ向けた内容確認と演習
使用テキスト ・教材等	ENGLISH FOR TOURISM ステップアップ観光英語
成績評価方法 及び 基準	テキスト内の演習問題。小テスト(筆記・リスニング)の出来具合による評価。 100 点満点中 60 点以上を合格とする。(小テストは 30 点～50 点満点に設定予定)
授業時間外 に必要な 学修内容	繰り返しの発話練習。
履修に 当たっての 留意点	授業中は、常に英語を使うよう心掛ける。よく使うフレーズはさらで言えるように日頃から練習する習慣をつける必要がある。失敗を恐れない。

科目名	Hotel Management (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	伊藤 崇史 (実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて 24 年間、管理業務に携わる)
学科・学年	英語科 2年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ホスピタリティ産業の中核に位置するホテル運営において、重要な要素であるマネジメントの意識向上に重点を置きます。観光業、ホテルが社会的に担っている役割を理解し、また、ホテルのサービス業務のそれぞれの意義について知識や興味を深めることで、「収入」・「費用」・「利益」等社会人として必要な経営への考察力を高めていきます。授業は、講義形式とグループワークにより進めていき、個人またはグループによるプレゼンテーションの機会を持ちます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 第三次産業における宿泊産業の位置づけ 3. 環境変化とホテル業の役割 4. ホテル業の意義と地域開発 5. ホテルが抱える課題 6. ホテル業の今後の動向・将来性 7. ホテルが抱える課題と今後の動向 8. ホテルの経営・事業資源 9. ホテルの経営形態と事業計画 10. ホテルの組織と人事 11. ホテルの職務分類と職掌 12. 人事・労務管理上の課題 13. 財務会計と管理会計 14. ホテルの収入と費用 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	ホテルマネジメント (一般財団法人 日本ホテル教育センター)
成績評価方法 及び 基準	期末試験 100 点満点中、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	新聞やニュースなどの情報ソースから、「観光」「ホテル」といったワードに気を配り、小さなことにも興味を持ち、自分なりの分析をするよう努めてください。
履修に 当たっての 留意点	係数管理など、これまで関わらない内容もあるかもしれませんが、苦手意識を持つことが無いよう、わからないことはその日に解決しましょう。

科目名	Hotel Management (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	伊藤 崇史 (実務経験：株式会社ホテルグランコート名古屋にて 24 年間、管理業務に携わる)
学科・学年	英語科 2年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	ホスピタリティ産業の中核に位置するホテル運営において、重要な要素であるマネジメントの意識向上に重点を置きます。観光業、ホテルが社会的に担っている役割を理解し、また、ホテルのサービス業務のそれぞれの意義について知識や興味を深めることで、「収入」・「費用」・「利益」等社会人として必要な経営への考察力を高めていきます。授業は、講義形式とグループワークにより進めていき、個人またはグループによるプレゼンテーションの機会を持ちます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商品の品質管理 2. 顧客管理と顧客の組織化 3. 商品企画と広告宣伝 4. 販売促進 5. 売掛金の管理 6. テナント管理 7. 仕入管理・施設管理 8. 防災・事故管理・防犯管理 9. 食中毒・安全衛生・コンプライン処理 10. 後期まとめ 11. 地域観光産業について考察① 12. 地域観光産業について考察② 13. 理想のホテル像について考察① 14. 理想のホテル像について考察② 15. 観光産業の今後の課題
使用テキスト ・教材等	ホテルマネジメント (一般財団法人 日本ホテル教育センター)
成績評価方法 及び 基準	期末試験 100 点満点中、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	新聞やニュースなどの情報ソースから、「観光」「ホテル」といったワードに気を配り、小さなことにも興味を持ち、自分なりの分析をするよう努めてください。
履修に 当たっての 留意点	係数管理など、これまで関わらない内容もあるかもしれませんが、苦手意識を持つことが無いよう、わからないことはその日に解決しましょう。

科目名	一般教養 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	酒井 英津子 (実務経験: なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>社会人になる為に必要な一般常識を身につけることを目指し、以下の4つのテーマで授業を進めていきます。(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙力と文章力のスキルアップ 2. 政治・経済の基礎知識 3. 企業採用試験に出される言語分野と非言語分野 4. 日本の企業、世界の企業 <p>修得した知識を駆使しながら、出されたテーマに沿ったディスカッションも行い、自分の考えを上手く伝えるように指導いたします。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と自己紹介 2. 一般常識のテスト (学生の基礎学力を測る) 3. 仕事算・鶴亀算 4. 速さ・時間・距離 5. 場合の数・確率 6. 小テスト① 7. 割合 8. 集合 9. 図形 10. 推論 1 11. 推論 2 12. 小テスト② 13. 企業の分類 14. 日本の企業と中部地方の企業 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト①20 点、小テスト②20 点、期末試験 60 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	毎回チェックテストを行います。間違った問題は必ず復習してください。
履修に 当たっての 留意点	日頃から、新聞や本を読むことを心掛けてください。

科目名	一般教養 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	酒井 英津子 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	前期に引き続き、4つのテーマで授業を進めていきます。後期は就職活動を意識しながら、SPIの模擬テストも行います。エントリーシートに必要な文章力や語彙力をアップさせるために、言葉の使い方を小論文を書くことによって身に付けます。 また国内外のニュースや話題を取り上げ、時事問題を解きながら日本の社会、世界の経済を学んでいきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 四字熟語・慣用句 2. ことわざ・同意語・反意語 3. 日本の暦と二十四節気 4. 小テスト① 5. 国文法 1 6. 国文法 2 7. 文章整理と短文穴埋め 8. 小テスト② 9. 国会・内閣・政党 10. 憲法・法律・裁判 11. 世界の政治 12. 小テスト③ 13. 企業の分類 14. 日本企業と外資系企業 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。
成績評価方法 及び 基準	小テスト①15点、小テスト②15点、小テスト③15点、期末試験 55点、計 100点満点で採点し、60点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	各小テストで 10 点以下の学生には、課題を出します。
履修に 当たっての 留意点	テレビやネット上で流れているニュースを、日頃からチェックしてください。

科目名	コンピュータリテラシー I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職活動や仕事をしていく上で PC スキルは必須である。 学生が困らないよう最低限の PC スキルを教える。 Word や Excel、PowerPoint の活用方法、動画作成を通して学生の PC スキルを向上させます。 また英語を使用した動画作成を行う。 後半の授業では、学生の作成した動画を全員で視聴し、他の学生の工夫をクラス内で共有します。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Word、動画作成 2. Word、動画作成 3. Word、動画作成 4. Word、動画作成 5. Word、動画作成 6. Word、動画作成 7. Word、動画作成 8. Word、動画作成 9. Excel、動画作成 10. Excel、動画作成 11. Excel、動画作成 12. Excel、動画作成 13. Excel、動画作成 14. 動画視聴・課題テスト提出 15. 動画視聴・課題テスト提出
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	課題テスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	PC スキルを学ぶので、特に PC に対して苦手意識のある学生は復習を怠らない。
履修に 当たっての 留意点	疑問点に対して解決できるよう調べたり、聞くなどの積極的な参加。

科目名	コンピュータリテラシー I (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)	
学科・学年	英語科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>就職活動や仕事をしていく上で PC スキルは必須である。 学生が困らないよう最低限の PC スキルを教える。</p> <p>Word や Excel、PowerPoint の活用方法、動画作成を通して学生の PC スキルを向上させます。 また英語を使用した動画作成を行う。</p> <p>後半の授業では、学生の作成した動画を全員で視聴し、他の学生の工夫をクラス内で共有します。</p>	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Excel、動画作成 2. Excel、動画作成 3. Excel、動画作成 4. Excel、動画作成 5. Excel、動画作成 6. Excel、動画作成 7. PowerPoint、動画作成 8. PowerPoint、動画作成 9. PowerPoint、動画作成 10. PowerPoint、動画作成 11. PowerPoint、動画作成 12. PowerPoint、動画作成 13. PowerPoint、動画作成 14. 動画視聴・課題テスト提出 15. 動画視聴・課題テスト提出 	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	課題テスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	PC スキルを学ぶので、特に PC に対して苦手意識のある学生は復習を怠らない。	
履修に 当たっての 留意点	疑問点に対して解決できるよう調べたり、聞くなどの積極的な参加。	

科目名	Career Studies I（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>就職活動、社会人に必要な礼儀、マナーを中心に学ばせるとともに、就職活動前の 1 年間がいかに重要かを学ばせていく。</p> <p>1 年次の 1 月から本格的に就職活動が始まっていくため、この授業内で自己分析や他己分析を行い一人一人どのような適性があるか、やりたい仕事は何かを発見していかせる。前期では特に礼儀やマナーを身に付けさせ、自然と行えるよう実践しながら、業種や業界についても学んでいく。そして業界や業種についての知識を付けた後で、企業研究の仕方等を教え、就職活動に向けての意識や準備を行わせていく。またグループディスカッション練習等を行わせ、話す力も伸ばしていく。</p> <p>評価は平常点＋レポートで行う。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職活動とは 2. 履歴書を書くために 1 年間で培う経験 3. メールの書き方 4. 電話対応の仕方 5. 自己分析・他己分析 6. 業界研究① 7. 業界研究② 8. 業界研究③ 9. 敬語 10. 質疑応答練習 11. グループディスカッション練習① 12. グループディスカッション練習② 13. グループディスカッション練習③ 14. グループディスカッション練習④ 15. レポート
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	平常点 40 点（面接実技試験含む）、レポート 60 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	復習
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	Career Studies I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職活動、社会人に必要な礼儀、マナーを中心に学ばせるとともに、就職活動前の 1 年間がいかに重要かを学ばせていく。 1 年次の 1 月から本格的に就職活動が始まっていくため、この授業内で自己分析や他己分析を行い一人一人どのような適性があるか、やりたい仕事は何かを発見していかせる。 後期では前期に引き続き、質疑応答やグループディスカッション練習を中心に行わせ、自分の意見を言えるようにさせる。 評価は平常点＋実技テストで行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループディスカッション練習⑤ 2. グループディスカッション練習⑥ 3. グループディスカッション練習⑦ 4. 履歴書の書き方 5. 長所・短所の作成 6. 自己 PR の作成① 7. 自己 PR の作成② 8. 学生時代頑張った事①の作成① 9. 学生時代頑張った事②の作成② 10. 面接練習① 11. 面接練習② 12. 面接練習③ 13. 面接練習④ 14. 面接練習⑤ 15. 実技テスト
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	平常点 40 点 (面接実技試験含む)、レポート 60 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	復習
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	Communication Practice I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活での英語表現を習得し、とくにスピーキング力の向上をめざす。 授業ではシャドーイングをはじめペアワーク、ディスカッションを多く取り入れ、 アウトプットの機会を増やし、自らを確実に表現できる英語力を獲得する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	16. In the Middle of Nowhere① 17. In the Middle of Nowhere② 18. Blackmail① 19. Blackmail② 20. Review① 21. Home Sweet Home① 22. Home Sweet Home② 23. Negotiations① 24. Negotiations② 25. Review② 26. Visiting Cloutier① 27. Visiting Cloutier② 28. At Alfie's Place① 29. At Alfie's Place② 30. Review③
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語(CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	目標とする英検および TOEIC の出題問題を意識し、可能な限り生の英語に触れる 時間をもつ
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなすこと

科目名	Communication Practice I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日常生活での英語表現を習得し、とくにスピーキング力の向上をめざす。 授業ではシャドーイングをはじめペアワーク、ディスカッションを多く取り入れ、 アウトプットの機会を増やし、自らを確実に表現できる英語力を獲得する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. David in a Trip① 2. David in a Trip② 3. Confrontation① 4. Confrontation② 5. Review① 6. Digging a Grave① 7. Digging a Grave② 8. Another Confrontation① 9. Another Confrontation② 10. Review② 11. Great, Now We're Trapped① 12. Great, Now We're Trapped② 13. It's Up to You, David① 14. It's Up to You, David② 15. Review③
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語(CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点中 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	目標とする英検および TOEIC の出題問題を意識し、可能な限り生の英語に触れる 時間をもつ
履修に 当たっての 留意点	授業ごとの予習・復習を確実にこなうこと

科目名	Communication Practice I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play 4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play 6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play 8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play 10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play 12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus 2. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 speaking activity and role play 4. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 speaking activity and role play 6. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 speaking activity and role play 8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play 10. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 speaking activity and role play 12. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play 4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play 6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play 8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play 10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play 12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus 2. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 7 David in a trap Scene 7-1 speaking activity and role play 4. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 8 Confrontation Scene 8-1 speaking activity and role play 6. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 9 Digging a grave Scene 9-1 speaking activity and role play 8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play 10. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 11 Great, now we're trapped Scene 11-1 speaking activity and role play 12. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 12 It's up to you, David Scene 12-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and possibly a written examination in class.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ④ (前期 30 時間(90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication Practice I の前期の講義では、書かれている内容を正確に理解する力をつけること、読み取った内容をまとめ、自分の言葉で発信できるようになることを目標とします。ミステリーを題材とした物語を読み、それに関連した問題を解きながら物語への理解を深めます。またその中から役立つ表現を見つけ、学ぶことで使える語彙やセンテンスを増やします。毎回異なる文法事項をピックアップし、重点的に解説します。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Unit1 動名詞や to 不定詞：好みを表す表現 3. Unit1 提案を表す文 4. Unit2 be going to や will、現在進行形：未来の表現 5. Unit2 所有代名詞 6. Unit3 現在形を含む文：スケジュール 7. Unit3 現在形を含む文：習慣的行動 8. まとめ 9. Unit4 may/could：許可と可能性 10. Unit4 shall：丁寧な申し出と提案 11. Unit5 肯定文の have to と must 12. Unit5 不定代名詞 13. Unit6 現在完了形と過去形の対比 14. Unit6 can と could の対比 15. まとめ
使用テキスト 教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication Practice I ④ (後期 30 時間(90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication Practice Iの後期は、前期に引き続き、ミステリーを題材とした物語を読み、問題を解くことで理解を深めます。毎回異なる文法事項をピックアップし、重点的に解説します。また、前期の講義を通して身につけた英語の基礎力を活用し、書いてある内容を理解できること、さらに、学んだ文法などを用いて自身の考えを表現できるようになることを目標とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Unit7 現在進行形の状態動詞、可算名詞と不可算名詞 3. Unit7 How many…?やHow much…?を含む文 4. Unit8 過去進行形を含む文 5. Unit8 過去進行形と過去形が共に使われる文 6. Unit9 受動態を含む文① 7. Unit9 受動態を含む文② 8. まとめ 9. Unit10 副詞 10. Unit10 比較を含む文 11. Unit11 付加疑問文 12. Unit11 wh 疑問文 13. Unit12 関係節を含む文 14. Unit12 when を含む文 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication Practice I ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play 4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play 6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play 8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play 10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play 12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and / or a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 7 David in a Trap - Scene 7 -1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 7 David in a Trap - Scene 7 -1 speaking activity and role play 4. Unit 8 Confrontation - Scene 8 -1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 8 Confrontation - Scene 8 -1 speaking activity and role play 6. Unit 9 Digging a Grave - Scene 9 -1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 9 Digging a Grave - Scene 9 -1 speaking activity and role play 8. Unit 10 Another Confrontation - Scene 10 -1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 10 Another Confrontation - Scene 10 -1 speaking activity and role play 10. Unit 11 Great, Now We're Trapped - Scene 11 -1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 11 Great, Now We're Trapped - Scene 11 -1 speaking activity and role play 12. Unit 12 It's Up to You, David - Scene 12 -1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 12 It's Up to You, David - Scene 12 -1 speaking activity and role play 14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and / or a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 1 In the middle of nowhere Scene 1-1 speaking activity and role play 4. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 2 Blackmail Scene 2-1 speaking activity and role play 6. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 3 Home sweet home Scene 3-1 speaking activity and role play 8. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 4 Negotiations Scene 4-1 speaking activity and role play 10. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 5 Visiting Cloutier Scene 5-1 speaking activity and role play 12. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 6 At Alfie's place Scene 6-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 1, 2, 3, 4, 5 and 6 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their communication skills. To achieve this, students will study English communication in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 7 David in a Trap Scene 7-1 words and phrases, script of the scene 3. Unit 7 David in a Trap Scene 7-1 speaking activity and role play 4. Unit 8 Confrontation 8-1 words and phrases, script of the scene 5. Unit 8 Confrontation 8-1 speaking activity and role play 6. Unit 9 Digging a Grave Scene 9-1 words and phrases, script of the scene 7. Unit 9 Digging a Grave Scene 9-1 speaking activity and role play 8. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 words and phrases, script of the scene 9. Unit 10 Another Confrontation Scene 10-1 speaking activity and role play 10. Unit 11 Great, Now We're Trapped Scene 11-1 words and phrases, script of the scene 11. Unit 11 Great, Now We're Trapped 11-1 speaking activity and role play 12. Unit 12 It's Up to You, David 12-1 words and phrases, script of the scene 13. Unit 12 It's Up to You, David 12-1 speaking activity and role play 14. Review of Units 7, 8, 9, 10, 11 and 12 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Olive Green: Learning English through a Mystery Drama (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Communication Practice I ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	身近な状況、場面における英語表現を学びます。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語で話すことだけではなく、英語 4 技能 (読む・聞く・話す・書く) の向上を意識し、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するためのテストを定期的に行います。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Verbs of preference (In the Middle of Nowhere) 2. How about, Why don't, should: suggestions (In the Middle of Nowhere) 3. Be going to: future (Blackmail) 4. Will: future (Blackmail) 5. Present continuous: future (Blackmail) 6. Possessive pronouns (Blackmail) 7. Present simple: schedules and habitual activities (Home Sweet Home) 8. May/ Could: permission and possibility (Negotiations) 9. Shall I/ Shall we: polite offer and suggestions (Negotiations) 10. Have/ Has to and must in positive sentences (Visiting Cloutier) 11. Don't have to vs. must not/ mustn't (Visiting Cloutier) 12. Someone/ Something, etc. (Visiting Cloutier) 13. Present perfect vs. past simple (At Alfie's Place) 14. Can vs. could (At Alfie's Place) 15. Review
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語 (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	Communication Practice I ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	身近な状況、場面における英語表現を学びます。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語で話すことだけではなく、英語4技能(読む・聞く・話す・書く)の向上を意識し、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するためのテストを定期的に行います。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. State verbs with present continuous forms (David in a Trap) 2. Countable and uncountable nouns (David in a Trap) 3. How many or How much (David in a Trap) 4. Past continuous (Confrontation) 5. Using past continuous and past simple together (Confrontation) 6. Passive voice (Digging a Grave) 7. Adverbs (Another Confrontation) 8. Comparatives (Another Confrontation) 9. Superlatives (Another Confrontation) 10. Questions tags (Great, Now We're Trapped) 11. Wh-question words (Great, Now We're Trapped) 12. Relative clauses (It's Up to You, David) 13. When + present simple, present continuous (It's Up to You, David) 14. Review 15. Discussion practice
使用テキスト ・教材等	オリーブ・グリーン：ミステリーで学ぶ実用英語 (CEFR-A2)
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及びTOEICスコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	Hospitality Service English I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	基本的な「動詞の変化形」が発話においてどのようなニュアンスの相違をもたらすのかを習得し、表現の幅を広げる vocabularies を付け加えることによって、事実のみならず感情の細部に至るまでよりの確な英語表現を可能にするスキルを身につける。 (写真、ビデオを活用し、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを組み合わせ多角的なアプローチを試みる。)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Warm-Up (自己紹介、授業概要と評価方法の説明) 2. Unit 1 Making connections : Grammar, Vocabulary 3. Unit 1 Making connections : Work skills 4. Unit 1 Making connections : Functions 5. Unit 2 International design : Grammar, Vocabulary 6. Unit 2 International design : Work skills 7. Unit 2 International design : Functions 8. Unit 3 Future lifestyles : Grammar, Vocabulary 9. Unit 3 Future lifestyles : Work skills 10. Unit 3 Future lifestyles : Functions 11. Unit 4 Heritage : Grammar, Vocabulary 12. Unit 4 Heritage : Work skills 13. Unit 4 Heritage : Functions 14. Unit 5 Fashion and Function : Grammar, Vocabulary 15. Unit 5 Fashion and Function : Work skills
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS THE 3 RD EDITION INTERMEDIATE Student' s Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Hospitality Service English I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	基本的な「動詞の変化形」が発話においてどのようなニュアンスの相違をもたらすのかを習得し、表現の幅を広げる vocabularies を付け加えることによって、事実のみならず感情の細部に至るまでよりの確な英語表現を可能にするスキルを身につける。 (写真、ビデオを活用し、ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを組み合わせ多角的なアプローチを試みる。)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 5 Fashion and Function : Functions 2. Unit 6 Using innovation : Grammar, Vocabulary 3. Unit 6 Using innovation : Work skills 4. Unit 6 Using innovation : Functions 5. Unit 7 Work styles and careers : Grammar, Vocabulary 6. Unit 7 Work styles and careers : Work skills 7. Unit 7 Work styles and careers : Functions 8. Unit 8 Processes : Grammar, Vocabulary 9. Unit 8 Processes : Work skills 10. Unit 8 Processes : Functions 11. Unit 9 The business of sport : Grammar, Vocabulary 12. Unit 9 The business of sport : Work skills 13. Unit 9 The business of sport : Functions 14. Unit10 Great partnership : Grammar, Vocabulary 15. Unit10 Great partnership : Work skills, Functions
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS THE 3 RD EDITION INTERMEDIATE Student' s Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、発表と授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Hospitality Service English I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 Making connections part 1 (pocket book guide) 3. Unit 1 Making connections part 2 (quiz and review) 4. Unit 2 International design part 1 (pocket book guide) 5. Unit 2 International design part 2 (quiz and review) 6. Presentation skills assignment 1 7. Unit 3 Future lifestyles part 1 (pocket book guide) 8. Unit 3 Future lifestyles part 2 (quiz and review) 9. Presentation skills assignment 2 10. Unit 4 Heritage part 1 (pocket book guide) 11. Unit 4 Heritage part 2 (quiz and review) 12. Presentation skills assignment 3 13. Unit 5 Fashion and function part 1 (pocket book guide) 14. Unit 5 Fashion and function part 2 (quiz and review) 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Hospitality Service English I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)	
学科・学年	英語科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back and syllabus review. 2. Unit 6 Using innovation part 1 (pocket book guide) 3. Unit 6 Using innovation part 2 (quiz and review) 4. Unit 7 Work styles and careers part 1 (pocket book guide) 5. Unit 7 Work styles and careers part 2 (quiz and review) 6. Presentation skills assignment 4 7. Unit 8 Processes part 1 (pocket book guide) 8. Unit 8 Processes part 2 (quiz and review) 9. Presentation skills assignment 5 10. Unit 9 The business of sport part 1 (pocket book guide) 11. Unit 9 The business of sport part 2 (quiz and review) 12. Presentation skills assignment 6 13. Unit 10 Great partnerships part 1 (pocket book guide) 14. Unit 10 Great partnerships part 2 (quiz and review) 15. Second semester review and preparation for examination 	
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book	
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	Hospitality Service English I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験 : 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの翻訳、通訳)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	このテキストは一つのユニットに4つのセクションに分かれています。 GRAMMAR, VOCABULARY, WORKSKILL, FUNCTION 特に文法、語彙に注意してセンテンスを音に出してトレーニングします。 内容を理解してテキストの質問に答える練習をします。 コミュニケーション能力を高めるために語彙、文法、読解の力をつけ、発音に注意してリズムある英語を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介 テキストの説明、趣旨 2. Unit1 Making connections Grammar 3. Unit1 Making connections Vocabulary 4. Unit1 Making connections Work skills, Functions 5. Unit2 International design Grammar 6. Unit2 International design Vocabulary 7. Unit2 International design Work skills, Functions 8. Unit3 Future lifestyle Grammar 9. Unit3 Future lifestyle Vocabulary 10. Unit3 Future lifestyle Work skills, Functions 11. Unit4 Heritage Grammar 12. Unit4 Heritage Vocabulary 13. Unit4 Heritage Work skills, Functions 14. Unit5 Fashion and function Grammar 15. Unit5 Fashion and function Vocabulary
使用テキスト ・教材等	International Express 3 rd Edition
成績評価方法 及び 基準	対話、聞き取り、筆記試験で 80 点、平常点 20 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の映画を見たり、英語の歌を聞いたり、NHK English program などを聞いて常に英語に触れていてください。 テキストに出てくる単語を事前にチェックしておいてください。
履修に 当たっての 留意点	クラスの中で積極的に対話ができるように努力し、スクリプトを見て音と意味の繋がりを明確にしてください。

科目名	Hospitality Service English I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブでの翻訳、通訳)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	このテキストは一つのユニットに4つのセクションに分かれています。 GRAMMAR, VOCABULARY, WORKSKILL, FUNCTION 特に文法、語彙に注意してセンテンスを音に出してトレーニングします。 内容を理解してテキストの質問に答える練習をします。 コミュニケーション能力を高めるために語彙、文法、読解の力をつけ、発音に注意してリズムある英語を目指します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit5 Fashion and function Work skills, Function 2. Unit6 Using innovation Grammar 3. Unit6 Using innovation Vocabulary 4. Unit6 Using innovation Work skills, Functions 5. Unit7 Work styles and careers Grammar 6. Unit7 Work styles and careers Vocabulary 7. Unit7 Work styles and careers Work skills, Functions 8. Unit8 Processes Grammar 9. Unit8 Processes Vocabulary 10. Unit8 Processes Work skills, Functions 11. Unit9 The business of sport Grammar 12. Unit9 The business of sport Vocabulary 13. Unit9 The business of sport Work skills, Functions 14. Unit10 Great partnerships Gramma, Vocabulary 15. Unit10 Great partnerships Work skills, Functions
使用テキスト ・教材等	International Express 3 rd Edition
成績評価方法 及び 基準	対話、聞き取り、筆記試験で 80 点、平常点 20 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の映画を見たり、英語の歌を聞いたり、NHK English program などを聞いて常に英語に触れていてください。 テキストに出てくる単語を事前にチェックしておいてください。
履修に 当たっての 留意点	クラスの中で積極的に対話ができるように努力し、スクリプトを見て音と意味の繋がりを明確にしてください。

科目名	Hospitality Service English I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と仕事上での両方で使う英語をバランスよく学びます。 ・リスニング力、スピーキング力の双方を同時に向上させます。 <p>社会人の実生活に合った題材、国際的な場面における実際のコンテンツを用い、より信憑性のある実用的な内容を学習します。(講義・演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (授業の進め方、テキストについて) 2. Unit 1 Making connections (現在形) 3. Networking 4. Unit 2 International design (過去形) 5. Team meeting 6. Unit 3 Future lifestyle (will/may/might/be likely/possible) 7. Email 8. Unit 4 Heritage (比較級) 9. Presentation 10. Unit 5 Fashion and function(have to /must/need to/can) 11. Giving advice and suggestions 12. Unit 6 Using innovation (過去完了形) 13. Describing Problems 14. Unit 7 Work Styles and careers 15. 前期末試験
使用テキスト ・教材等	International Express 3rd Edition Intermediate Student book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言する。

科目名	Hospitality Service English I ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	英語科 1年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と仕事上での両方で使う英語をバランスよく学びます。 ・リスニング力、スピーキング力の双方を同時に向上させます。 <p>社会人の実生活に合った題材、国際的な場面における実際のコンテンツを用い、より信憑性のある実用的な内容を学習します。（講義・演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Email（job applications） 2. Unit 8 Processes（現在完了形） 3. Time management 4. Discussing and reaching agreement 5. Presentation（トークを組み立てる） 6. Telephoning（電話での会話） 7. Unit 9 The Business of sports（関係詞） 8. Describing personal qualities at work 9. Job interviews 10. Changing Plans 11. Unit 10 Great partnerships (should/ shouldn't have) 12. Changing Career 13. Teleconferencing and videoconferencing 14. まとめ 15. 後期末試験
使用テキスト ・教材等	International Express 3rd Edition Intermediate Student book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言する。

科目名	Hospitality Service English I ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験 : オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語で話すことだけではなく、英語 4 技能 (読む・聞く・話す・書く) の向上を意識し、シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。会話表現に重点を置き、英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Making connections① 2. Making connections② 3. International design① 4. International design② 5. Review① 6. Discussion practice 7. Future lifestyles① 8. Future lifestyles② 9. Heritage① 10. Heritage② 11. Review② 12. Fashion and function① 13. Fashion and function② 14. Review③ 15. Discussion practice
使用テキスト ・教材等	International Express: 3 rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Hospitality Service English I ⑤（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美（実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる）
学科・学年	英語科 1年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語で話すことだけではなく、英語4技能（読む・聞く・話す・書く）の向上を意識し、シャドーイング練習やクライスマイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。会話表現に重点を置き、英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。（講義）
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Using innovation① 2. Using innovation② 3. Work styles and careers① 4. Work styles and careers② 5. Review① 6. Discussion practice 7. Processes① 8. Processes② 9. The business of sport① 10. The business of sport② 11. Review② 12. Great partnerships① 13. Great partnerships② 14. Review③ 15. Discussion practice
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及びTOEICスコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	Hospitality Service English I ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	事実や習慣的な行動について話したり、進行中の活動や進捗状況、動向などについて話す問題を説明し、解決方法を考える。 理解を確認したり、明瞭に説明し、理解を促したりする。 採用面接でよく聞かれる質問に答える。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Making Connections-Social Networks and the Internet 2. Making Connections-Writing a Professional Profile 3. Making Connections-Networking 4. International Design-Starting a New Business 5. International Design-Team Meetings 6. International Design-Checking Progress 7. Future Lifestyles-The Speed of Change 8. Future Lifestyles-Emails 9. Future Lifestyles-Making Arrangements 10. Heritage-City Descriptions 11. Heritage-Presentations 12. Heritage-Giving Opinions 13. Fashion and Function-Colours and Colour Idioms 14. Fashion and Function-Telephoning 15. Fashion and Function-Giving Advice and Suggestions
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS INTERMEDIATE
成績評価方法 及び 基準	グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価
授業時間外 に必要な 学修内容	教材付属 DVD で家庭復習を欠かさないこと
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと

科目名	Hospitality Service English I ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	事実や習慣的な行動について話したり、進行中の活動や進捗状況、動向などについて話す問題を説明し、解決方法を考える。 理解を確認したり、明瞭に説明し、理解を促したりする。 採用面接でよく聞かれる質問に答える。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Using Innovation-Water Footprint 2. Using Innovation-Presentation 3. Using Innovation-Describing Problems 4. Work Styles and Careers- Money and Finance Vocabulary 5. Work Styles and Careers-Emails 6. Work Styles and Careers-Discussing and Reaching Agreement 7. Processes-Product Journey 8. Processes-Time Management 9. Processes-Checking Understanding and Clarifying 10. The Business of Sport-Describing Personal Qualities at Work 11. The Business of Sport-Job Interviews 12. The Business of Sport-Changing Plans 13. Great Partnerships-Changing Careers 14. Great Partnerships-Teleconferencing and Videoconferencing 15. Great Partnerships-Catching Up
使用テキスト ・教材等	INTERNATIONAL EXPRESS INTERMEDIATE
成績評価方法 及び 基準	グループディスカッションでの発言内容、期末テスト、クラスへの参加度により評価
授業時間外 に必要な 学修内容	教材付属 DVD で家庭復習を欠かさないこと
履修に 当たっての 留意点	英語でコミュニケーションをとる環境に置かれた場合を想定して、授業中は英語を積極的に話すこと

科目名	Hospitality Service English I ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)	
学科・学年	英語科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 Making connections part 1 (pocket book guide) 3. Unit 1 Making connections part 2 (quiz and review) 4. Unit 2 International design part 1 (pocket book guide) 5. Unit 2 International design part 2 (quiz and review) 6. Presentation skills assignment 1 7. Unit 3 Future lifestyles part 1 (pocket book guide) 8. Unit 3 Future lifestyles part 2 (quiz and review) 9. Presentation skills assignment 2 10. Unit 4 Heritage part 1 (pocket book guide) 11. Unit 4 Heritage part 2 (quiz and review) 12. Presentation skills assignment 3 13. Unit 5 Fashion and function part 1 (pocket book guide) 14. Unit 5 Fashion and function part 2 (quiz and review) 15. First semester review and preparation for examination 	
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book	
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	Hospitality Service English I ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their hospitality English. To achieve this students will study hospitality English in various situations. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back and syllabus review. 2. Unit 6 Using innovation part 1 (pocket book guide) 3. Unit 6 Using innovation part 2 (quiz and review) 4. Unit 7 Work styles and careers part 1 (pocket book guide) 5. Unit 7 Work styles and careers part 2 (quiz and review) 6. Presentation skills assignment 4 7. Unit 8 Processes part 1 (pocket book guide) 8. Unit 8 Processes part 2 (quiz and review) 9. Presentation skills assignment 5 10. Unit 9 The business of sport part 1 (pocket book guide) 11. Unit 9 The business of sport part 2 (quiz and review) 12. Presentation skills assignment 6 13. Unit 10 Great partnerships part 1 (pocket book guide) 14. Unit 10 Great partnerships part 2 (quiz and review) 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	International Express: 3rd Edition Intermediate Student Book with Pocket Book
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Vocabulary Building I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	この授業では、ビジネスシチュエーションを中心に、日常でも重要となる語句および TOEIC テストで使用される頻度の高い単語の習得を目的とする。 とにかく単調で飽きがちな作業になりやすいボキャブラリー獲得において、ペアを組んで音声を発信しあったり、毎回課す単語テストの確認をしあうインターアクションを通じてたのしく身につく語彙の習得をめざす。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年間講義概要解説 2. Section A Unit 1・2・3・4 (その都度単語テスト) 3. Section A Unit 5・6・7・8 (その都度単語テスト) 4. Section A Unit 9・10・11・12 (その都度単語テスト) 5. Section A Unit 13・14・15・16 (その都度単語テスト) 6. Section A Unit 17・18・19・20 (その都度単語テスト) 7. Section A Unit 21・22・23・24 (その都度単語テスト) 8. Section A Unit 25・26・27・28 (その都度単語テスト) 9. Section A Unit 29・30 (その都度単語テスト) 10. Section A Review 11. Section B Unit 1・2・3・4 (その都度単語テスト) 12. Section B Unit 5・6・7・8 (その都度単語テスト) 13. Section B Unit 9・10・11・12 (その都度単語テスト) 14. Section B Unit 13・14・15・16 (その都度単語テスト) 15. Section B Unit 17・18・19・20 (その都度単語テスト)
使用テキスト ・教材等	Expanding Your Vocabulary Skills
成績評価方法 及び 基準	平常点 40 点、スピーキング、単語テスト 60 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	予習 単語テストの勉強
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	Vocabulary Building I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	この授業では、ビジネスシチュエーションを中心に、日常でも重要となる語句および TOEIC テストで使用される頻度の高い単語の習得を目的とする。 とにかく単調で飽きがちな作業になりやすいボキャブラリー獲得において、ペアを組んで音声を発信しあったり、毎回課す単語テストの確認をしあうインターアクションを通じてたのしく身につく語彙の習得をめざす。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Section B Unit 21・22・23・24 (その都度単語テスト) 2. Section B Unit 25・26・27・28 (その都度単語テスト) 3. Section B Unit 29・30・31・32 (その都度単語テスト) 4. Section B Unit 33・34・35・36 (その都度単語テスト) 5. Section B Unit 37・38・39・40 (その都度単語テスト) 6. Section B Review 7. Section C Unit 1・2・3・4 (その都度単語テスト) 8. Section C Unit 5・6・7・8 (その都度単語テスト) 9. Section C Unit 9・10・11・12 (その都度単語テスト) 10. Section C Unit 13・14・15・16 (その都度単語テスト) 11. Section C Unit 17・18・19・20 (その都度単語テスト) 12. Section C Unit 21・22・23・24 (その都度単語テスト) 13. Section C Unit 25・26・27・28 (その都度単語テスト) 14. Section C Unit 29・30 (その都度単語テスト) 15. Section C Review
使用テキスト ・教材等	Expanding Your Vocabulary Skills
成績評価方法 及び 基準	平常点 40 点、スピーキング、単語テスト 60 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	予習 単語テストの勉強
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	Vocabulary Building I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their vocabulary skills. To achieve this students will study vocabulary and have vocabulary tests each class. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Section A Units 1, 2, 3 and 4 vocabulary quiz 3. Section A Units 5, 6, 7 and 8 vocabulary quiz 4. Section A Units 9, 10, 11 and 12 vocabulary quiz 5. Section A Units 13, 14, 15 and 16 vocabulary quiz 6. Section A Units 17, 18, 19, 20 and 21 vocabulary quiz 7. Section A Units 22, 23, 24, 25 and 26 vocabulary quiz 8. Section A Units 27, 28, 29 and 30 vocabulary quiz 9. Section A Units 1-30 review and vocabulary quiz 10. Section B Units 1, 2, 3, 4 and 5 vocabulary quiz 11. Section B Units 6, 7, 8, 9 and 10 vocabulary quiz 12. Section B Units 11, 12, 13, 14 and 15 vocabulary quiz 13. Section B Units 16, 17, 18, 19 and 20 vocabulary quiz 14. Section B Units 21, 22, 23, 24 and 25 vocabulary quiz 15. First semester review and preparation for examination.
使用テキスト ・教材等	Expanding your vocabulary skills
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Vocabulary Building I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their vocabulary skills. To achieve this students will study vocabulary and have vocabulary tests each class. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus. 2. Section B Units 26, 27, 28, 29 and 30 vocabulary quiz 3. Section B Units 31, 32, 33, 34 and 35 vocabulary quiz 4. Section B Units 36, 37, 38, 39 and 40 vocabulary quiz 5. Section B Review and vocabulary quiz 6. Section C Units 1, 2, 3 and 4 vocabulary quiz 7. Section C Units 5, 6, 7 and 8 vocabulary quiz 8. Section C Units 9, 10, 11 and 12 vocabulary quiz 9. Section C Units 13, 14, 15 and 16 vocabulary quiz 10. Section C Units 17, 18, 19, 20 and 21 vocabulary quiz 11. Section C Units 22, 23, 24, 25 and 26 vocabulary quiz 12. Section C Units 27, 28, 29 and 30 vocabulary quiz 13. Section C Review and vocabulary quiz 14. Section A, B, C Review and vocabulary quiz 15. Second semester review and preparation for examination.
使用テキスト ・教材等	Expanding your vocabulary skills
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	Grammar Clinic I ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英文解釈や英作文はもちろんのこと、英会話にも必要不可欠な道具である英文法の基礎を確認する。多くの学生が苦手意識を持ち、学ぶことを避ける傾向にある「語彙」や「文法」を理解し、自信をもって運用できるレベルまで押し上げることを目標とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 並び方のルール 英語の構造と語順① 2. 並び方のルール 英語の構造と語順② 3. 語句や節のつながり 英語の構造と語順③ 4. 語句や節のつながり 英語の構造と語順④ 5. be 動詞と一般動詞 SVC / SVO / SV 6. 一般動詞の使い方 SVOO 7. 一般動詞の使い方 SVOC 8. 「～される」を表す表現 受動態と能動態① 9. 「～される」を表す表現 受動態と能動態② 10. 英語の時間感覚① 現在形、現在進行形、過去形、未来表現 11. 英語の時間感覚② 現在完了形 過去完了形 12. 否定① さまざまな否定表現 13. 否定② 否定表現における倒置 14. 前置詞 前置詞のイメージ 15. 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Grammar Clinic I ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英文解釈や英作文はもちろんのこと、英会話にも必要不可欠な道具である英文法の基礎を確認する。多くの学生が苦手意識を持ち、学ぶことを避ける傾向にある「語彙」や「文法」を理解し、自信をもって運用できるレベルまで押し上げることを目標とする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動詞の意味を補助する語 助動詞① 2. 動詞の意味を補助する語 助動詞② 3. 名詞と冠詞 4. 名詞の働きをする語句① 動名詞 5. 名詞の働きをする語句② 不定詞の名詞的用法 6. 使役動詞と知覚動詞 7. 形容詞の働きをする語句と節① 不定詞の形容詞的用法 8. 形容詞の働きをする語句と節② 現在分詞と過去分詞 9. 形容詞の働きをする語句と節③ 関係代名詞 10. 形容詞の働きをする語句と節④ 関係副詞 11. 副詞の働きをする語句 不定詞の副詞的用法 12. 比較① 原級と比較級 13. 否定② 最上級と慣用表現 14. 仮定法 15. 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Grammar Clinic I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	基本的な文法力を理解し、各種英語検定試験のスコアアップを目指す。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文法力チェックテスト 2. 英語の構造と語順 (基本ルール) 3. 英語の構造と語順 (語句や節のつながり) 4. 基本文型 (SVC, SVO,SV) 5. 基本文型 (SVOO, SVOC) 6. 能動態、受動態 7. 時制 (現在形、進行形、過去形、未来表現) 8. 時制 (完了形) 9. 否定表現 10. 助動詞の基本ルール 11. 助動詞と時制 12. 名詞と冠詞 13. 動名詞 14. 不定詞の名詞的用法 15. 復習
使用テキスト ・教材等	Make A Fresh Start with English
成績評価方法 及び 基準	期末テスト、クラスへの参加度により評価。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	積極的に授業参加し、履修内容を完全に理解するための復習を欠かさないこと。

科目名	Grammar Clinic I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	基本的な文法力を理解し、各種英語検定試験のスコアアップを目指す。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期復習 2. 使役動詞と知覚動詞 3. 不定詞の形容詞的用法 4. 現在分詞と過去分詞 5. 関係代名詞 6. 関係副詞 7. 不定詞の副詞的用法 8. 比較表現-原級と比較級 9. 比較表現-最上級 10. 比較表現-慣用表現 11. 仮定法過去 12. 仮定法過去完了 13. 仮定法現在 14. 復習 15. 復習
使用テキスト ・教材等	Make A Fresh Start with English
成績評価方法 及び 基準	期末テスト、クラスへの参加度により評価。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	積極的に授業参加し、履修内容を完全に理解するための復習を欠かさないこと。

科目名	Reading I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	海老原 由香梨 (実務経験：英語教師として高校で約 6 年間勤務)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	本授業は、テキストを使いながら語彙、論理的思考を身につけることにより、読む力を養成していくことを目的とする。授業では小テストを実施し、語彙や文法の復習をして知識の定着を図る。また、各単元のテーマに沿った内容を使い、読む・聞く・話す・書くの 4 技能の向上も目指していく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 自己紹介・授業の進め方について 2. Readiness Unit : Words, Parts of Speech, Sentences and Paragraphs 3. Unit 1 Chapter 1 : Before Reading 4. Unit 1 Chapter 1 : During Reading 5. Unit 1 Chapter 1 : After Reading 6. Unit 1 Chapter 2 : Before Reading 7. Unit 1 Chapter 2 : During Reading 8. Unit 1 Chapter 2 : After Reading 9. Unit 1 Chapter 3 : Before Reading 10. Unit 1 Chapter 3 : During Reading 11. Unit 1 Chapter 3 : After Reading 12. Unit 2 Chapter 4 : Before Reading 13. Unit 2 Chapter 4 : During Reading 14. Unit 2 Chapter 4 : After Reading 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 2 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	定期試験を 80 点満点、平常点を 20 点満点の計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	できるだけ多くの英文に触れ、読む訓練をする。授業内容を復習する。
履修に 当たっての 留意点	わからない点は授業中に積極的に質問すること。

科目名	Reading I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	海老原 由香梨 (実務経験：英語教師として高校で約 6 年間勤務)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	本授業は、テキストを使いながら語彙、論理的思考を身につけることにより、読む力を養成していくことを目的とする。授業では小テストを実施し、語彙や文法の復習をして知識の定着を図る。また、各単元のテーマに沿った内容を使い、読む・聞く・話す・書くの 4 技能の向上も目指していく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 2 Chapter 5 : Before Reading 2. Unit 2 Chapter 5 : During Reading 3. Unit 2 Chapter 5 : After Reading 4. Unit 2 Chapter 6 : Before Reading 5. Unit 2 Chapter 6 : During Reading 6. Unit 2 Chapter 6 : After Reading 7. Unit 3 Chapter 7 : Before Reading 8. Unit 3 Chapter 7 : During Reading 9. Unit 3 Chapter 7 : After Reading 10. Unit 3 Chapter 8 : Before Reading 11. Unit 3 Chapter 8 : During Reading 12. Unit 3 Chapter 8 : After Reading 13. Unit 3 Chapter 9 : Before Reading 14. Unit 3 Chapter 9 : During Reading 15. Unit 3 Chapter 9 : After Reading
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 2 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	定期試験を 80 点満点、平常点を 20 点満点の計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	できるだけ多くの英文に触れ、読む訓練をする。授業内容を復習する。
履修に 当たっての 留意点	わからない点は授業中に積極的に質問すること。

科目名	Reading I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙、文法の力をつけることにより、読解力の向上を目指します。 ・英文読解力、英作文能力、コミュニケーション力を養います。 ・音読をすることにより、リスニング力の向上も目指します。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション テキストの説明、授業の進め方 2. Chapter 1 Before Reading 宣伝についての単語 3. Chapter 1 Reading Advertising 4. Chapter 1 Shortened forms of words 5. Chapter 2 Before Reading コミュニケーションについての単語 6. Chapter 2 Reading communication 7. Chapter 2 Use dictionary 8. Chapter 3 Before reading スポーツについての単語 9. Chapter 3 Reading Sports 10. Chapter 3 Word Family 11. Chapter 4 Before Reading 運動についての単語 12. Chapter 4 Reading Exercise 13. Chapter 4 Descriptive adjectives 14. Chapter 5 Before Reading 過去の人生について 15. Chapter 5 Reading Past
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 2 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い、不合格者は再試とする。

科目名	Reading I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙、文法の力をつけることにより、読解力の向上を目指します。 ・ 英文読解力、英作文能力、コミュニケーション力を養います。 ・ 音読をすることにより、リスニング力の向上も目指します。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 5 Contrast single words 2. Chapter 6 Before Reading 食の歴史について 3. Chapter 6 Reading Food Innovation 4. Chapter 6 Comparative adjectives 5. Chapter 7 Before Reading 都市について 6. Chapter 7 Reading Cities of the Future 7. Chapter 7 Collocations with take 8. Chapter 8 Before reading 仕事について 9. Chapter 8 Reading How will we Work? 10. Chapter 8 Identify definitions 11. Chapter 9 Before Reading Innovation 12. Chapter 9 Reading What will our world look like? 13. Chapter 9 Comparison single words 14. Extend your skill 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	Trio Reading Level 2 Student Book with Online Practice
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い、不合格者は再試とする。

科目名	TOEIC/英検 I ① (前期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力 (リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー) をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ① (後期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力 (リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー) をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ② (前期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力 (リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー) をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ② (後期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力(リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー)をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ③ (前期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力(リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー)をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 Introduction: TOEFL iBT/ IELTS についての基礎知識、最重要単語 3.4 SECTION1: Form Completion (Listening) 5.6 Topics: Food and Cooking (Speaking) 7.8 Multiple-choice Questions (Reading) 9.10 TASK 1 Line Graph (Writing) 11.12 TASK 1 Bar Chart (Writing) 13.14 SECTION 2: Labelling a Diagram (Listening) 15.16 Matching Headings (Reading) 17.18 Topics: News Media (Speaking) 19.20 TASK 1 Pie Chart (Writing) 21.22 Topics: Money and Finance (Speaking) 23.24 SECTION4: Sentence Completion (Listening) 25.26 True/False/Not Given 問題 (Reading) 27.28 TASK 1 Process Diagram (Writing) 29 前期試験解答解説 30 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	本試験 80 点、授業中の小テストなど 20 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ③ (後期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	資格試験取得を目標とする。4 技能+語彙力(リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング+ボキャブラリー)をバランスよく伸ばすことを目的とし、実用英語技能検定上位級・TOEIC 高得点・IELTS バンドスコア 6.5・TOEFL iBT 対策などの学習を通して英語の運用能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1.2 SECTION3: Multiple-choice Questions (Listening) 3.4 Summary Completion (Reading) 5.6 TASK2 Basic Structure of an Essay (Writing) 7.8 Topics: Family and Relationships (Speaking) 9.10 SECTION 2: Table Completion (Listening) 11.12 Short-answer Questions (Reading) 13.14 Matching Information (Reading) 15.16 TASK 2 Essay Type2 (Writing) 17.18 Topic: Fashion (Speaking) 19.20 SECTION 1: Short-answer Questions (Listening) 21.22 Sentence Completion (Reading) 23.24 TASK 2 Essay Type 3 (Writing) 25.26 リアル模試 (Listening, Reading) 27.28 リアル模試 (Writing, Speaking) 29 後期試験解答解説 30 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	IELTS 32 のドリル+模試 他
成績評価方法 及び 基準	ミニテスト①10 点、ミニテスト②10 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	幅広いテーマに対応できるような語彙力を普段から身につけるようにする。 同じくさまざまなテーマについて対応できるように日頃から、新聞を読む習慣を身につける。
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。 スピーキング、ライティングについては定型をマスターした上で、オリジナリティーを出すことを意識する。

科目名	TOEIC/英検 I ④ (前期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職活動のために資格試験は必須である。2 級の取得を目指す。授業は基本的に教科書を使用し、問題演習を行っていく。またそこで出てきた英単語は覚える。また単語テストも行い単語の定着を促す。2 級は単語力、リーディング力、リスニング力、ライティング力が平等に求められる。また英検 2 級の一次試験に合格した者については積極的に 2 次試験対策として面接練習を行っていく。 平常点＋定期試験で評価を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 1、2 日目 2. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 3、4 日目 単語テスト 2 級① 3. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 5、6 日目 単語テスト 2 級② 4. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 7、8 日目 単語テスト 2 級③ 5. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 9、10 日目 単語テスト 2 級④ 6. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 11、12 日目 単語テスト 2 級⑤ 7. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 13、14 日目 単語テスト 2 級⑥ 8. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 15、16 日目 単語テスト 2 級⑦ 9. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 17、18 日目 単語テスト 2 級⑧ 10. 20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 19、20 日目 単語テスト 2 級⑨ 11. 2 級問題演習 ① 単語テスト 2 級⑩ 12. 2 級問題演習 ② 単語テスト 2 級⑪ 13. 2 級問題演習 ③ 単語テスト 2 級⑫ 14. 2 級問題演習 ④ 単語テスト 2 級⑬ 15. 定期試験
使用テキスト ・教材等	Daily20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 新形式対応版 Welcome to the TOEIC L & R TEST
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、定期試験 80 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	時事ニュースに目を向け、関心を持ち、自分の意見を英語で話せるようにトレーニングする
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	TOEIC/英検 I ④ (後期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	就職活動のために資格試験は必須である。TOEIC600 点取得を目指す。授業は基本的に教科書を使用し、問題演習を行っていく。またそこで出てきた英単語は覚える。また単語テストも行い単語の定着を促す。またスピーキングも行い、点数取得のための英語ではなく、実際に使える英語を学ばせる。 平常点+定期試験で評価を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit1 2. Unit2 3. Unit3 4. Unit4 5. Unit5 6. Unit6 7. Unit7 8. Unit8 9. Unit9 10. Unit10 11. Unit11 12. Unit12 13. TOEIC 演習 14. TOEIC 演習 15. TOEIC 演習
使用テキスト ・教材等	Daily20 日間完成英検 2 級集中ゼミ 新形式対応版 Welcome to the TOEIC L & R TEST
成績評価方法 及び 基準	平常点 20 点、定期試験 80 点、計 100 点での評価 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	時事ニュースに目を向け、関心を持ち、自分の意見を英語で話せるようにトレーニングする
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	TOEIC/英検 I ⑤ (前期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級 (1 次試験) の合格を目標に、授業内容を「基礎編」および「応用編」の二段階に分け、それぞれ「単語」、「熟語」、「文法」、「語法」、「長文読解」、「リスニング」の 6 部門別に過去問題の演習を通じて徹底的に鍛え上げる。その後 2 次試験について実戦練習する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. Warm-Up (自己紹介、授業概要と評価方法の説明) 2, 3. 基礎編：単語・熟語 4, 5. 基礎編：文法・語法 6, 7. 基礎編：長文読解① 8, 9. 基礎編：長文読解② 10, 11. 基礎編：長文読解③ 12, 13. 基礎編：長文読解④ 14, 15. 基礎編：長文読解⑤ 16, 17. 基礎編：英作文 18, 19. 基礎編：リスニング① 20, 21. 基礎編：リスニング② 22, 23. 応用編：単語・熟語① 24, 25. 応用編：単語・熟語② 26, 27. 2 次試験対策① 28, 29, 30. 2 次試験対策②
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級 集中ゼミ [新試験対応版]
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑤ (後期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級 (1 次試験) の合格を目標に、授業内容を「基礎編」および「応用編」の二段階に分け、それぞれ「単語」、「熟語」、「文法」、「語法」、「長文読解」、「リスニング」の 6 部門別に過去問題の演習を通じて徹底的に鍛え上げる。その後 2 次試験について実戦練習する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1, 2. 応用編：文法・語法① 3, 4. 応用編：文法・語法② 5, 6. 応用編：短文の語句空所補充① 7, 8. 応用編：短文の語句空所補充② 9, 10. 応用編：長文の語句空所補充① 11, 12. 応用編：長文の語句空所補充② 13, 14. 応用編：長文の内容一致選択① 15, 16. 応用編：長文の内容一致選択② 17, 18. 応用編：英作文① 19, 20. 応用編：英作文② 21, 22. 応用編：英作文③ 23, 24. 応用編：リスニング① 25, 26. 応用編：リスニング② 27, 28. 2 次試験対策③ 29, 30. 2 次試験対策④
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級 集中ゼミ [新試験対応版]
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑥ 月 (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。 短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。 英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。 リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英検についての説明 実力単語テスト 2. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語 3. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語 4. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語 5. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語 6. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 文法 7. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 語法 8. 筆記 1 の単語、熟語の復習 9. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略 10. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略 11. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略 12. 筆記 2 の単語、熟語の復習 13. 英作文問題を攻略 14. 2 級模擬試験 15. 2 級模擬試験
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑥ 月 (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎編の復習 テスト 2. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語 3. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 単語 4. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語 5. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 熟語 6. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 文法 7. 筆記 1 短文の語句空所補充問題を攻略 語法 8. 筆記 1 の単語、熟語の復習 9. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略 10. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略 11. 筆記 2 長文の語句空所補充問題を攻略 12. 筆記 2 の単語、熟語の復習 13. 英作文問題を攻略 14. 2 級模擬試験 15. 2 級模擬試験
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑥ 木 (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。</p> <p>短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。</p> <p>英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。</p> <p>リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスニング 会話の内容、単語 2. リスニング 会話の内容、単語 3. リスニング第 1 部 ① 4. リスニング第 1 部のスクリプトチェック 5. リスニング第 2 部 ① 6. リスニング第 2 部のスクリプトチェック 7. 英作文問題 8. 英作文問題 9. 英作文問題 10. 英作文問題 11. 英作文問題 12. リスニングテスト 13. 英作文テスト 14. 2 級模擬試験 15. 2 級模擬試験
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。</p> <p>毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。</p>
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑥ 木（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検 2 級の一次試験突破を目指すクラスです。 短文の語句空所補充、長文読解の演習でたくさんの単語を習得します。 英作文演習では分かりやすい英語、正しい文法を使い、書く練習をします。 リスニングは会話の内容の把握、短いパッセージの内容に答えられるように、何度も英語を聞きます。聞き取りにくい英語はスクリプトを見て音に慣れるようにしていきます。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスニング 会話の内容、単語 2. リスニング 会話の内容、単語 3. 応用編 リスニング第 1 部 ① 4. 応用編 リスニング第 1 部のスクリプトチェック 5. 応用編 リスニング第 2 部 ① 6. 応用編 リスニング第 2 部のスクリプトチェック 7. 2 級リスニング模擬試験 8. 2 級リスニング模擬試験 9. 英作文問題 10. 英作文問題 11. 英作文問題 12. 英作文問題を攻略 13. 英作文テスト 14. 2 級模擬試験（リーディングとリスニング） 15. 2 級模擬試験（リーディングとリスニング）
使用テキスト ・教材等	英検 2 級 集中ゼミ
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英検に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	英検のテストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強におけるアドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	TOEIC/英検 I ⑦ (前期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。 ・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。 ・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1,2. 1.2 日目 短文の語句空所補充問題 (単語・熟語) 3,4. 3 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 5,6. 4 日目 会話文の語句空所補充問題 7,8. 5 日目 長文の語句空所補充問題 9,10. 6 日目 長文の内容一致選択問題 11,12. 7 日目 英作文 13,14. 8.9.10 日目 リスニング 15,16. 11.12 日目 短文の語句空所補充問題 (単語・熟語) 17,18. 13 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 19,20. 14 日目 会話文の語句空所補充問題 21,22. 15 日目 長文の語句空所補充問題 23,24. 16 日目 長文の内容一致選択問題 25,26. 17 日目 英作文 27,28. 18 日目 リスニング 29,30. 19.20 日目 実力完成模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検準 2 級 集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い不合格者は再試とする。

科目名	TOEIC/英検 I ⑦ (後期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・英検 2 級合格に必要な語彙力、読解力、Listening 力を身につけるため本番の問題に準じた練習問題を解く練習をします。 ・バランスの取れた英語力習得のために不可欠な文法・語法の理解ができるようにします。 ・長文問題を通じて文法・語法の再確認をします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1,2. 1.2 日目 短文の語句空所補充問題 (単語・熟語) 3,4. 3 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 5,6. 4 日目 短文の語句空所補充問題 (語法) 7,8. 5 日目 長文の語句空所補充問題 9,10. 6 日目 長文の内容一致問題 11,12. 7 日目 長文の内容一致選択問題 13,14. 8 日目 英作文 15,16. 9.10 日目 リスニング 17,18. 11.12 日目 短文の語句空所補充問題 (単語・熟語) 19,20. 13.14 日目 短文の語句空所補充問題 (文法) 21,22. 15 日目 長文の語句空所補充問題 23,24. 16 日目 長文の内容一致選択問題 25,26. 17 日目 英作文 27,28. 18.19 日目 リスニング 29,30. 20 日目 実力完成模擬テスト
使用テキスト ・教材等	DAILY20 日間 英検 2 級集中ゼミ 新試験対応版
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記): 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等: 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。毎回単語テストを行い不合格者は再試とする。

科目名	Composition I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome to the Party! (友人へのメール) 2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール) 3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方) 4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方) 5. This Is My Dream. (自分の夢について) 6. My Hobby Is ... (自分の趣味について) 7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について) 8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明) 9. What I Experienced (印象的な思い出の説明) 10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明) 11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方) 12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える) 13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明) 14. 英文ライティングプラクティステスト 15. 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	坂口 大介（実務経験：なし）
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラフ・表問題の攻略① 2. グラフ・表問題の攻略② 3. グラフ・表問題表現ドリル 4. グラフ・表問題演習 5. 本論の形式① 6. 本論の形式② 7. 結論のまとめかた① 8. 結論のまとめかた② 9. パラフレージング① 10. パラフレージング② 11. 地図・読解問題の攻略 12. 地図・読解問題演習 13. 「賛成・反対」タイプの攻略 14. 表現ドリル 15. 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ボキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome to the Party! (友人へのメール) 2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール) 3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方) 4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方) 5. This Is My Dream. (自分の夢について) 6. My Hobby Is ... (自分の趣味について) 7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について) 8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明) 9. What I Experienced (印象的な思い出の説明) 10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明) 11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方) 12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える) 13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明) 14. 英文ライティングプラクティステスト 15. 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験：英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラフ・表問題の攻略① 2. グラフ・表問題の攻略② 3. グラフ・表問題表現ドリル 4. グラフ・表問題演習 5. 本論の形式① 6. 本論の形式② 7. 結論のまとめかた① 8. 結論のまとめかた② 9. パラフレージング① 10. パラフレージング② 11. 地図・読解問題の攻略 12. 地図・読解問題演習 13. 「賛成・反対」タイプの攻略 14. 表現ドリル 15. 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ボキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざすために、さまざまな教材を用いて学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome to the Party! (友人へのメール) 2. I'm Planning to Study Abroad. (先生や企業へのメール) 3. I'm Afraid That It Was Damaged (苦情のメールの書き方) 4. Let Me Introduce Myself. (自分の紹介文の書き方) 5. This Is My Dream. (自分の夢について) 6. My Hobby Is ... (自分の趣味について) 7. Isn't It Exciting to Go Out? (自分の出来事について) 8. My Memorial Pictures (写真や絵の説明) 9. What I Experienced (印象的な思い出の説明) 10. How Long Did You Sleep? (グラフや図の説明) 11. I Like Tennis the Best (アンケートのまとめ方) 12. In my Opinion...(調査の結果から意見を伝える) 13. Do You Agree with My Idea? (賛成/反対の表明) 14. 英文ライティングプラクティステスト 15. 前期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ポキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	Jonathon Salichs (実務経験：英会話教師 12 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語ライティングのスキルアップを目標とする。英語系資格試験でのスコアアップ、ビジネス英語で必要とされる英文作成能力の向上をめざす。 学生がビギナーレベルからアドバンスレベルへスムーズに移行できるような苦手意識を持たせない授業を行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラフ・表問題の攻略① 2. グラフ・表問題の攻略② 3. グラフ・表問題表現ドリル 4. グラフ・表問題演習 5. 本論の形式① 6. 本論の形式② 7. 結論のまとめかた① 8. 結論のまとめかた② 9. パラフレージング① 10. パラフレージング② 11. 地図・読解問題の攻略 12. 地図・読解問題演習 13. 「賛成・反対」タイプの攻略 14. 表現ドリル 15. 後期レビュー
使用テキスト ・教材等	Topics and Tactics for the TOEFL Test 他
成績評価方法 及び 基準	小テストなどの平常点 20 点、本試験 80 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	ボキャブラリビルディング
履修に 当たっての 留意点	問題演習で間違えた問題についてはノートに書き写し、理解し覚える。

科目名	Composition I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級合格に必要な文法、2 次試験対策、語彙力を補っていく。 特にスピーキングや文法に力を入れ、学生が理解しているのかを確認するため、 テストを行う。 学生同士ペアになっての対話や、クラスの前での発表を通して、英語を話す自信を付け させる。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 2. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 3. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 4. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 5. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 6. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 7. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 8. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 9. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 10. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 11. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 12. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 13. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 14. 英検 2 級 二次面接対策、単語帳 15. 筆記・スピーキングテスト
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	筆記と発音のテスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	新しく学んだ文法・単語をしっかりと授業時間内に暗記すること。 積極的な発言。

科目名	Composition I ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	石田 詩織 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に引き続きスピーキングや文法に力を入れ、学生が理解しているのかを確認するため、テストを行う。</p> <p>学生同士ペアになったの対話や、クラスの前での発表を通して、英語を話す自信を付けさせる。</p> <p>また TOEIC のリスニングは速度が速いため、耳を慣れさせるため、こちらで用意した教材を通して、リスニング力向上を目指す</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC リスニング・スピーキング 2. TOEIC リスニング・スピーキング 3. TOEIC リスニング・スピーキング 4. TOEIC リスニング・スピーキング 5. TOEIC リスニング・スピーキング 6. TOEIC リスニング・スピーキング 7. TOEIC リスニング・スピーキング 8. TOEIC リスニング・スピーキング 9. TOEIC リスニング・スピーキング 10. TOEIC リスニング・スピーキング 11. TOEIC リスニング・スピーキング 12. TOEIC リスニング・スピーキング 13. TOEIC リスニング・スピーキング 14. TOEIC リスニング・スピーキング 15. リスニング・スピーキングテスト
使用テキスト ・教材等	なし
成績評価方法 及び 基準	リスニングとスピーキングのテスト (60 点) 平常点 (40 点) の合計 100 点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業内はもちろん、授業外での新出単語もその場でメモし、覚える。
履修に 当たっての 留意点	新しく学んだ表現・単語をしっかりと授業時間内に暗記すること。 積極的な発言。

科目名	Composition I ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC L&R Test での高得点取得を目標に、Listening および Reading の両面から、2 回の授業をワンセットとし全 Part の実戦問題を解き、それぞれ解答のポイントとなる文法事項を確認する。また、Part ごとの目標とすべき解答時間を設定し、短時間で正解を見つけ出すポイントを身につけ、得点能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Warm-Up (自己紹介、授業概要と評価方法の説明) 2. Unit 1 ① 3. Unit 1 ② 4. Unit 2 ① 5. Unit 2 ② 6. Unit 3 ① 7. Unit 3 ② 8. Drills ① 9. Unit 4 ① 10. Unit 4 ② 11. Unit 5 ① 12. Unit 5 ② 13. Unit 6 ① 14. Unit 6 ② 15. Drills ②
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Composition I ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	小室 憲義 (実務経験 : なし)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC L&R Test での高得点取得を目標に、Listening および Reading の両面から、2 回の授業をワンセットとし全 Part の実戦問題を解き、それぞれ解答のポイントとなる文法事項を確認する。また、Part ごとの目標とすべき解答時間を設定し、短時間で正解を見つけ出すポイントを身につけ、得点能力を高める。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 7 ① 2. Unit 7 ② 3. Unit 8 ① 4. Unit 8 ② 5. Drills ③ 6. Unit 9 ① 7. Unit 9 ② 8. Unit 10 ① 9. Unit 10 ② 10. Drills ④ 11. Unit 11 ① 12. Unit 11 ② 13. Unit 12 ① 14. Unit 12 ② 15. Drills ⑤
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test -New Edition-
成績評価方法 及び 基準	期末試験の評価 70 点、宿題、小テスト、授業態度 30 点の合計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	予習・復習を徹底すること。
履修に 当たっての 留意点	授業に積極的に参加し、自らもつ疑問・意見等を積極的に述べること。

科目名	Composition I ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級の学習と同時に TOEIC の基本を学びます。 TOEIC に出る必須単語、フレーズ、センテンスを習得します。 リスニングに慣れるように簡単な会話から聞いていきます。 リーディングは基本的な文法、特に品詞、動詞などから勉強していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC についての説明 2. Unit1 part1-part4 リスニング 3. Unit1 part5-part7 リーディング 4. Unit2 part1-part4 リスニング 5. Unit2 part5-part7 リーディング 6. Unit3 part1-part4 リスニング 7. Unit3 part5-part7 リーディング 8. Unit1ーUnit3 までの単語、熟語の復習 9. Unit4 part1-part4 リスニング 10. Unit4 part5-part7 リーディング 11. Unit5 part1-part7 リスニング 12. Unit5 part5-part7 リーディング 13. Unit4ーUnit5 までの単語、熟語の復習 14. TOEIC 模擬試験 リスニング 15. TOEIC 模擬試験 リーディング
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	必ず TOEIC 公式を受けて今の自分の実力を把握しておいてください。

科目名	Composition I ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検 2 級の学習と同時に TOEIC の基本を学びます。 TOEIC に出る必須単語、フレーズ、センテンスを習得します。 リスニングに慣れるように簡単な会話から聞いていきます。 リーディングは基本的な文法、特に品詞、動詞などから勉強していきます。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC 模擬試験 2. Unit6 part1-part4 リスニング 3. Unit6 part5-part7 リーディング 4. Unit7 part1-part4 リスニング 5. Unit7 part5-part7 リーディング 6. Unit8 part1-part4 リスニング 7. Unit8 part5-part7 リーディング 8. Unit6ーUnit8 までの単語、熟語の復習 9. Unit9 part1-part4 リスニング 10. Unit9 part5-part7 リーディング 11. Unit10 part1-part7 リスニング 12. Unit10 part5-part7 リーディング 13. Unit9ーUnit10 までの単語、熟語の復習 14. TOEIC 模擬試験 リスニング 15. TOEIC 模擬試験 リーディング
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R Test
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と学年 (前期、後期) 筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得を各自行う。 毎回行われる小テストの確認をして授業に参加すること。
履修に 当たっての 留意点	必ず TOEIC 公式を受けて今の自分の実力を把握しておいてください。

科目名	Composition I ⑦ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な文法事項をコンテキストの中で理解しながら、実用的な英作文のスキルを身につけます。 ・ リスニングと音読をすることにより、楽しく効率的にライティングスキルの向上を図ります。 ・ テーマにあった英作文をかけるようにします。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. Unit 1 Self Introduction (自己紹介をする) 3. be 動詞・一般動詞 4. Unit 2 My Family. My Friends (家族や友人を紹介する) 5. 名詞の単数・複数・冠詞・形容詞 6. Unit 3 My room (部屋を描写する) 7. There 構文・前置詞 8. Unit 4 Everyday Activity (スケジュールを説明する) 9. 現在形・現在進行形 10. Unit 5 Recipes (レシピを書く) 11. 他動詞・自動詞 12. Unit 6 Introducing My Town (私の町を紹介する) 13. 副詞・比較級・最上級 14. Unit 7 Asking Questions (質問をする) 15. WH 疑問文
使用テキスト ・教材等	New English Composition Workbook
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) : 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後にはダイアログを完全に覚えるまで声に出して練習する。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。積極的に声に出して練習する。

科目名	Composition I ⑦ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な文法事項をコンテキストの中で理解しながら、実用的な英作文のスキルを身につけます。 ・ リスニングと音読をすることにより、楽しく効率的にライティングスキルの向上を図ります。 ・ テーマにあった英作文をかけるようにします。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 8 Diary (日記を書く) 2. Unit 9 Making a Reservation (予約のメールを書く) 3. Unit10 Writing a Postcard (旅先からハガキを書く) 4. Unit11 Job Hunting (自分のスキルを説明する) 5. Unit12 Writing a Letter (フォーマルな手紙を書く) 6. Unit13 Giving Advice (アドバイスをする) 7. 助動詞 (can/should/must/had better/might/may/could) 8. Unit14 Invitation (招待状を書く) 9. Unit15 Notice (注意書きを作る) 10. Unit16 My History (自分史を書く) 11. Unit17 Introducing Japanese Culture (日本の文化を紹介する) 12. Unit18 If I were (仮定の話を書く) 13. Unit19 Expressing Your Opinion (考えを伝える) 14. Unit20 Directions (道案内をする) 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	New English Composition Workbook
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記): 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等: 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後にはダイアログを完全に覚えるまで声に出して練習する。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。積極的に声に出して練習する。

科目名	児童英語教育 I ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約 4 年、その後、AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していく質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与え、卒業時に認定する。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語教育について（児童英語教育の現状と今後） 2. 言語習得についての基礎知識 1（学習方法の提案） 3. 言語習得についての基礎知識 2 4. 言語習得についての基礎知識 3 5. 児童英語の指導法 1（レッスンプランの必要性和、立て方の基本） 6. 児童英語の指導法 2（アクティビティの研究） 7. 児童英語の指導法 3（子供の心理・特性の研究：子供と大人の違い） 8. 児童英語の指導法 4（発話量の確保、悲しい子供を作らないルール設定の仕方） 9. 児童英語の指導法 5（デモンストレーションレッスン課題発表） 10. 児童英語の指導法 6（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ） 11. 児童英語の指導法 7（教材作り） 12. 児童英語の指導法 8（グループデモンストレーション） 13. 児童英語の指導法 9（最終発表 *実技試験） 14. 児童英語の指導法 10（フィードバック、総評など） 15. 前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary/学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。 同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何が できるかを常に意識すること。

科目名	児童英語教育 I ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	田邊 美由紀（実務経験：（株）ジェイアール東海ツアーズ営業部に於て約 4 年、その後、AEON Amity, ECC 外語学院などで教務に携わる。現在（株）えいごラボ代表）
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していきける質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修（インターンシップ）を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与えることとする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童英語の指導法 11（子供の叱り方、誉め方研究） 2. 児童英語の指導法 12（子供の興味の対象の研究） 3. 児童英語の指導法 13（少人数クラスと大人数クラス） 4. 児童英語の指導法 14（モノリンガルクラスとバイリンガルクラス） 5. 児童英語の指導法 15（具体的なアクティビティと注意点） 6. 児童英語の指導法 16（フォニックスの指導法） 7. 児童英語の指導法 17（テキスト以外のカリキュラムの組み方） 8. 児童英語の指導法 18（デモンストレーションレッスン課題発表） 9. 児童英語の指導法 19（レッスンプラン作り/立案・推敲・仕上げ） 10. 児童英語の指導法 20（グループデモンストレーション） 11. 実技試験（最終発表、レッスンプラン提出） 12. 実技試験のフィードバック、総評とインターンシップについて 13. 教材の選定方法（学習目標・対象年齢・使いやすさ・教育方針・利点欠点など） 14. 保護者対応・就職試験対策について 15. 後期のまとめ
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書（mpi 松香フォニックス出版）</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY（ピアソン・ジャパン出版）</p> <p>New Let's Sing Together（アプリコット出版）、Phonics Workbook（えいごラボ制作）</p> <p>New Horizon Elementary Picture Dictionary/学校図書</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験（模擬レッスン）による評価 50 点、実技試験におけるプリント提出 30 点、平常点 20 点により評価、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。 同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何が できるかを常に意識すること。

科目名	児童英語教育 I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	長野 よしみ (実務経験 : (株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	児童英語インストラクター、英語教育関係などへの就職を目指す学生たちがビジネスの現場にて、日常生活でよく使われる表現を正確に言える能力を身につけることを目的とする。 授業の方法としては、英検や TOEIC のテスト対策に備えるため、語彙力の強化も図る。また、英検の二次対策として絵を見てできるだけ多くの英語表現が言えるように練習する。楽しく覚えられるようにペアでジェスチャーなどをして確認作業をする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1 日の始まりとして朝、最初にする事 2. 朝食を作る 3. 外出の表現としてバスに乗る 4. 外出の表現としてタクシーに乗る 5. 帰宅してから夕食を作る 6. インターネットを使う 7. 家事の表現として洗濯をする 8. 家事の表現としてペットの世話 9. 買い物の支払いをする 10. 銀行に行く 11. メールの送受信 12. 携帯電話を使う 13. 映画に行く 14. コーヒーショップでコーヒーを飲む 15. 前期事前テストの実施
使用テキスト ・教材等	イラストでわかる日常生活の英語表現
成績評価方法 及び 基準	実技試験によるプレゼンテーション評価 : 発表の出来 80 点 平常点 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常行動を英語にして訓練すること。(必ず毎日 10 個の表現を口に出して練習すること。)
履修に 当たっての 留意点	ペアワークを多く取り入れるので積極的にクラスに参加し、質疑応答時には質問すること。

科目名	児童英語教育 I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	長野 よしみ (実務経験 : (株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語関係などへの就職を目指す学生たちが、朗読の基本技術を習得することによって、「聞き手を意識すること」への重要性に気付いてもらうことを目的とする。聞き手に声がきちんと届いているか、聞き手に内容が正確に伝わっているか、聞き手に「面白い！」と思わせることが出来ているかを常に点検する。聞き手により伝わるように工夫することは、会話、スピーチ、プレゼンテーションでも必要な基礎となり、その結果、「声のトーン」や「間」や「強調」などをコントロール出来る表現が身につく、将来子供に英語の読み聞かせができるように指導する。与えられた課題について、クラスにて発表会を実施し、評価シートに基づき評価する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 朗読トレーニングのための 10 のキーワードを理解する 2. ニュース : 気候変動と戦うドローン 3. ニュース : 世界の人口 4. ニュース : ロイヤル・ウェディング 5. スピーチ : 核兵器のない世界を (バラク・オバマ) 6. スピーチ : 核兵器のない世界を (バラク・オバマ) 7. 詩 : 汽車に乗って (ロバート・ルイス・ステューブン) 8. 詩 : 水仙 (ウィリアム・ワーズワース) 9. 物語 : 豆の上のお姫さま (ハンス・クリスチャン・アンデルセン) 10. クリスマス特別レッスン : クリスマスキャロルとクリスマスソング 11. 物語 : 一杯のミルク (作者不明) 12. 物語 : 路 (むじな) (小泉八雲) 13. 後期事前テストの実施 14. 物語 : 手袋を買いに (新美南吉) 15. 物語 : かぼちやのなかの金色の時間 (角田光代)
使用テキスト ・教材等	英語は朗読でうまくなる！
成績評価方法 及び 基準	実技試験によるプレゼンテーション評価 : 発表の出来 80 点 平常点 : 20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から意識して人に伝わる英語を話すことを積極的に訓練すること。 (必ず毎日 1 つの話を声に出して自宅で読むことを実施すること。)
履修に 当たっての 留意点	積極的にクラスに参加し、質疑応答時には質問すること。

科目名	児童英語教育 I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>教育業への就職や将来子育てをすることになった場合に役立つような児童英語教育に関する基礎知識を身につける。</p> <p>手あそび歌、絵本読み聞かせの技術を身につける。</p> <p>季節ごとのイベントについての知識、実施技術を身につける。</p> <p>既成の絵本を参考に、イラスト・本文を自分で作成する。(演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 2. 児童英語教授法の概要、Q&A 2. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自己紹介の英語 3. 母の日クラフト作成 4. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、食べ物の英語 5. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、学校生活の英語 6. 父の日クラフト作成 7. 手遊び歌、ペットに関する英語 8. 手遊び歌、音楽に関する英語 9. 手遊び歌、テレビ・エンターテインメントに関する英語 10. 手遊び歌、クラブ活動の英語 11. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、スポーツに関する英語 12. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す 13. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す 14. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、自分の経験について話す 15. 実技テスト
使用テキスト ・教材等	<p>英語は朗読でうまくなる</p> <p>イラストでわかる日常生活の英語表現 -改訂版-</p>
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、実技テストを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	将来英語を教える職業についたり、自分や親せきの子どもと遊ぶときに役立つ指導力を身につけるつもりで、積極的にクラス参加すること。

科目名	児童英語教育 I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>教育業への就職や将来子育てをすることになった場合に役立つような児童英語教育に関する基礎知識を身につける。</p> <p>手あそび歌、絵本読み聞かせの技術を身につける。</p> <p>季節ごとのイベントについての知識、実施技術を身につける。</p> <p>既成の絵本を参考に、イラスト・本文を自分で作成する。(演習)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期復習 2. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、仮定法を用いたスピーチ作成 3. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、スピーチ発表 4. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、旅行に関する英語 5. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、仕事の中で使う英語 6. ハロウィンクラフト作成 7. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、日本文化を英語で説明する① 8. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、日本文化を英語で説明する② 9. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、世界各国の紹介① 10. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、世界各国の紹介② 11. クリスマスクラフト作成 12. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、物語作り① 13. 絵本読み聞かせ、手遊び歌、物語作り②、発表 14. バレンタインクラフト作成 15. 実技テスト
使用テキスト ・教材等	<p>英語は朗読でうまくなる</p> <p>イラストでわかる日常生活の英語表現 -改訂版-</p>
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、実技テストを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	
履修に 当たっての 留意点	将来英語を教える職業についたり、自分や親せきの子どもと遊ぶときに役立つ指導力を身につけるつもりで、積極的にクラス参加すること。

科目名	児童英語教育 I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	近藤 桜花 (実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>子どもたちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要になります。また、楽しみながらでないと子どもたちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることも必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になる事を想定して、発音の向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして、楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Hello Song (練習・発表) / 子音の発音 p,b / Two Truth and a Lie 2. Seven Steps / 子音の発音 c,k,g / Easter Egg 作り 3. Are You Sleeping? / 子音の発音 t,d / 絵しりとり 4. ABC Song・Hokey Pokey / 子音の発音 f,v / 20 Questions 5. BINGO / 子音の発音 sh,j / BONGO 6. Eency Weency Spider / 子音の発音 l,r / Bomb Game 7. Head, Shoulders, Knees and Toes / 子音の発音 s,z,x / Anything Goes Basket 8. Here We Go Round the Mulberry Bush / 子音の発音 th / Up Down 9. London Bridge / 子音の発音 h,m,n / Who, What, Where, When 10. Pat-a-Cake, Pat-a-Cake / 子音の発音 tr / 動物の鳴き声 11. Hickory, Dickory, Dock / 子音の発音 dr / Explain Game 12. The Muffin Man / 子音の発音 w,y / しりとり Bomb Game 13. The Farmer in the Dell / 母音の発音 a,e / What time is it Mr. Wolf? 14. Twinkle, Twinkle, Little Star / 母音の発音 i,o,u / Get the Cards 15. 発表
使用テキスト ・教材等	<p>はじめての英語の歌</p> <p>歌でおぼえるらくらくイングリッシュ</p>
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 60 点、平常点 20 点、発表や提出物 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌うときは生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームのパートは楽しんで参加してください。</p>

科目名	児童英語教育 I ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	近藤 桜花 (実務経験：ペッピーキッズクラブで 11 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>子どもたちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要になります。また、楽しみながらでないと子どもたちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることも必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になる事を想定して、発音の向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして、楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Old Macdonald Had a Farm/Shopping List (クラフト) 2. If You're Happy and You Know It/Darts 3. Under the Spreading Chestnut Tree/What's Missing? 4. Sunday, Monday, Tuesday/Hanged Man 5. Mary Had a Little Lamb/Vocab Game 6. Humpty Dumpty/Who am I? 7. Deck the Halls/Snake Game 8. Jingle Bells/Don't say 21 9. Joy to the World/Bamboo Shoot Game 10. Silent night/Quiz 11. We Wish You a Merry Christmas/Shouting Game 12. Christmas Lesson 13. 発表 14. グループで発表 (先生バージョン) 15. グループで発表 (先生バージョン)
使用テキスト ・教材等	<p>はじめての英語の歌</p> <p>歌でおぼえるらくらくイングリッシュ</p>
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 60 点、平常点 20 点、発表や提出物 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌うときは生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームのパートは楽しんで参加してください。</p>

科目名	児童英語教育 I ⑤ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	児童英語の分野について知り、言語の知識を学習しながら基礎文法を確認する。 小学校での英語必修教科化に伴い、英語を教えるために必要な力や方法について学び、模擬体験をしながら習得する。 児童英語活動を通して異文化を知り、国際コミュニケーション力を育む。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもに英語を教えるための 3 つの力とは / 品詞と文型 2. 名詞・冠詞・代名詞 / 語彙力養成 3. 動詞・時制 / パラフレーズ力養成 4. 形容詞 / 副詞 / 身のまわりの単語と表現 5. 前置詞 / 接続詞 / ローマ字について 6. 品詞と文型まとめ 7. 季節の文化学習(春) / 語彙力・パラフレーズ力演習 8. 子どもが受験する英語の試験への挑戦 / フォニックスについて 9. 英検スピーキング試験指導について / フォニックス演習 10. 季節の文化学習(夏) / 前期試験前リスニング演習 11. リスニング(フォニックスルール)テスト / 前期試験前演習 12. 前期試験フィードバック 13. 前期に学習した基礎文法の演習 14. 英検ライティング試験指導について 15. 前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	大岩のいちばんはじめの英文法 超基礎文法編 / mpi フォニックス認定試験知識編(参考) 児童英語教師のためのワークブック(参考) / 子どもに聞かれて困らない英文法のキソ(参考)
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、模擬演習に備えること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	児童英語教育 I ⑤ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	浅井 美保 (実務経験: 学習塾や(株)エイデン(現エディオン)にて英語指導と育成に携わったのち、2007 年より現在まで(株)アルク Kiddy CAT 英語教室認定講師)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	児童英語の分野について知り、言語の知識を学習しながら基礎文法を確認する。 小学校での英語必修教科化に伴い、英語を教えるために必要な力や方法について学び、模擬体験をしながら習得する。 児童英語活動を通して異文化を知り、国際コミュニケーション力を育む。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不定詞/状況設定力養成 2. 季節の文化体験学習(秋) /状況設定力演習 3. 動名詞/身のまわりの単語と表現 4. 分詞・関係詞/英検ライティング指導演習 5. 助動詞・仮定法/フォニックス演習 6. 子どもが受験する英語の試験への挑戦/フォニックス演習 7. 語彙力・パラフレーズ力演習/後期試験前リスニング演習 8. リスニング(フォニックスルール)テスト/後期試験前演習 9. 後期試験フィードバック 10. 季節の文化体験学習(冬) /状況設定力演習 11. 子どもに英語を教えるための 3 つの力復習/英検スピーキング試験指導演習 12. 後期に学習した基礎文法演習 13. 子どもが受験する英語の試験への挑戦 14. スピーチ/模擬授業演習 15. 一年間の総合演習
使用テキスト ・教材等	大岩のいちばんはじめの英文法 超基礎文法編/mpi フォニックス認定試験知識編(参考) 児童英語教師のためのワークブック(参考)/子どもに聞かれて困らない英文法のキソ(参考)
成績評価方法 及び 基準	小テストと期末試験において合計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から授業の復習及び、模擬演習に備えること
履修に 当たっての 留意点	欠席した場合は履修内容を確認して自習すること

科目名	児童英語教育 I ⑥ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>子供たちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要です。また、楽しみながらでない子供たちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることが必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になることを想定して、発音やイントネーションの向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 1 Greetings / Hello Song / <u>Feelings</u> / Two Truths and a Lie 2. Unit 1 Greetings / Seven Steps / <u>Numbers</u> / Easter Eggs 3. Unit 2 Basics / Under the Spreading Chestnut Tree / <u>Colors</u> / Touch It 4. Unit 2 Basics / Row, Row, Row Your Boat / <u>Weather</u> / Bomb Game 5. Unit 3 Q&A サークルタイム / BINGO / <u>Wild Animals</u> / BINGO 6. Unit 3 Q&A サークルタイム / The ABC Song / <u>The Alphabet</u> / Spelling Game 7. Unit 3 Q&A サークルタイム / London Bridge / <u>Fruits</u> / Anything Goes Basket 8. Unit 4 Main Topics / Head, Shoulders, Knees and Toes / <u>Body Parts</u> 9. Unit 4 Main Topics / <u>Days of the Week</u> / Months of the Year / Seasons 10. Review 11. Presentation / Role-Playing 12. Unit 5 Extra Activities / Twinkle, Twinkle, Little Star / <u>Outdoors</u> / Bomb Game 13. Unit 5 Extra Activities / If you're Happy... / <u>Shapes</u> / Charades 14. Unit 6 Fillers / Marry Has a Little Lamb / <u>Clothes</u> / Get the Card 15. Unit 6 Fillers / Old Macdonald / <u>Farm Animals</u> / Put the Ball in the Cup
使用テキスト ・教材等	Small Talk More Jazz Chants / 頭のいい子が育つ英語の歌 45 選 / Flashcards
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	<p>歌やチャンツを歌う時は生徒の前に立つことを意識してください。</p> <p>ゲームなどを楽しんで参加してください。</p> <p>Try to come up with original games and activities.</p>

科目名	児童英語教育 I ⑥ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	富田 ダニエラ (実務経験: 英会話スクールで 12 年間講師を務める)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>子供たちはマネの天才です。講師の発音をそのまま真似してしまうため、講師の発音はとても重要です。また、楽しみながらでない子供たちはすぐに飽きてしまうため、歌・チャンツやゲームを取り入れることが必要です。</p> <p>この授業では将来英語を教える立場になることを想定して、発音やイントネーションの向上、歌やゲームのレパートリーを増やすことが目的です。</p> <p>また、海外のイベントなども取り上げるなどして楽しみながら英語を学ぶことも体験していただきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 6 Likes and Dislikes 好き嫌い / Do Re Mi / Darts 2. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Hokey Pokey / Explain Game 3. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Ten Little Indians / Shopping Game 4. Unit 7 Ability or Inability 出来る出来ない / Humpty Dumpty / What's Missing? 5. Unit 8 Apologizing 謝罪 / Halloween Vocabularies / Hangman 6. Unit 8 Apologizing 謝罪 / The Wheels on the Bus / Vocabulary Game 7. Unit 9 Talking about Food 食べ物 / The Finger Family / Who am I? 8. Unit 10 Talking about Food 食べ物 / Little Peter Rabbit / Snake Game 9. Unit 11 Talking about Money お金 / A whole New World / Don't Say 21 10. Unit 10 Talking about Money お金 / A Whole New World / Bamboo Shoot Game 11. Christmas Vocabulary / Song / Quiz 12. Review 13. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World / Shouting Game 14. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World 15. Unit 11 Talking about Weather 天気 / A Whole New World
使用テキスト ・教材等	Small Talk More Jazz Chants / 頭のいい子が育つ英語の歌 45 選
成績評価方法 及び 基準	口頭試験 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち、60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で習った歌やチャンツの練習をしてください。
履修に 当たっての 留意点	歌やチャンツを歌う時は生徒の前に立つことを意識してください。 ゲームなどを楽しんで参加してください。

科目名	発音クリニック I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科 1 年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日本語ネイティブ特有の英語発音から脱して、英語のおおまかな発音イメージに近づくための訓練を行います。母音と子音を切り離して発音し、単語を子音で終わらせる練習を重ねます。発音練習を通して、英語アクセントの本当の正体が何かを理解し、英語らしい「メリハリ」をつけて文が発音できるようになることを目的とします。また、正しい発音を身につけることによって、リスニング力の向上を目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子音の発音練習 [s] [z] 2. 子音の発音練習 [ʃ] [ʒ] 3. 子音の発音練習 [p] [b] [m] 4. 子音の発音練習 [t] [d] [n] 5. 子音の発音練習 [k] [g] [ŋ] 6. 子音の発音練習 [f] [v] 7. Review 8. 子音の発音練習 [θ] [ð] 9. 子音の発音練習 [tʃ] [dʒ] 10. 子音の発音練習 [h] 11. 子音の発音練習 [l] 12. 子音の発音練習 [w] 13. 子音の発音練習 [j] 14. 母音の発音練習 [a] 15. Review
使用テキスト ・教材等	プリント配布
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	発音クリニック I ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	村田 愛美（実務経験：オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる）
学科・学年	英語科 1 年 英語コース
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	日本語ネイティブ特有の英語発音から脱して、英語のおおまかな発音イメージに近づくための訓練を行います。母音と子音を切り離して発音し、単語を子音で終わらせる練習を重ねます。発音練習を通して、英語アクセントの本当の正体が何かを理解し、英語らしい「メリハリ」をつけて文が発音できるようになることを目的とします。また、正しい発音を身につけることによって、リスニング力の向上を目指します。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母音の発音練習 [æ] 2. 母音の発音練習 [ʌ] 3. 母音の発音練習 [ɔ:] 4. 母音の発音練習 [i] [i:] [e] 5. Review 6. 母音の発音練習 [u:] [u] 7. 母音の発音練習 [ai] [ei] [ɔi] 8. 母音の発音練習 [au] [ou] 9. 母音の発音練習 [ɔ:] 10. Review 11. 母音の発音練習 [ɔ] 12. 母音の発音練習 [ɑɔ] 13. 母音の発音練習 [ɔɔ] 14. 母音の発音練習 [ə] 15. Review
使用テキスト ・教材等	プリント配布
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	発音クリニック I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	八神 光子 (実務経験: 国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳)
学科・学年	英語科 1 年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語を学ぶにおいて発音、アクセント、イントネーションの重要性に気づいてもらい、通じる英語を目指します。特にカタカナ英語に注意しながら、リスニングの強化、単語力アップにつながる勉強のコツを学びます。 簡単な文章を聞き取り暗記しながら、つながる音、消える音など意識して、クラスパートナーとのトレーニングをします。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 1,2,3 (つながる音) 2. Unit 4,5,6 (つながる音) 3. Unit 7,8,9 (消える音) 4. Unit 10,11,12 (消える音) 5. Unit 13,14,15 (消える音) 6. Unit 16,17,18,19 (チャ、シャ、ジャの音) 7. Unit 20,21,22,23 (t の音) 8. Unit 24,25,26,27 (d,h,の脱落音、) 9. Unit 28,29,30 (d,I,の変化音) 10. Unit 31,32,33 (tr,str,dr の音) 11. Unit 34,35,36,37 (going to, want to, get to) 12. Unit 38,39,40 (短縮形) 13. Unit 41,42 (肯定と否定) 14. 今までの復習と会話のリスニング 15. 今までの復習と会話実践 1
使用テキスト ・教材等	英語リスニング大特訓 授業で使用するプリント
成績評価方法 及び 基準	正確な発音、音読で 40 点、会話の聞き取り 40 点、単語の聞き取り 20 点で合計を 100 点として、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の会話、歌の聞き取りなどをしてリスニング力をつける。習った発音は復習を兼ねて声にだしてみる。
履修に 当たっての 留意点	難しい発音や、つながって聞きづらい音を何度も音に出して、常にきれいな英語を話すこと、聞き取る意識を持つこと。クラスの仲間の英語を聞くこと。

科目名	発音クリニック I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	八神 光子 (実務経験 : 国際センター、ロータリー、ライオンズクラブでの翻訳、通訳)
学科・学年	英語科 1 年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語を学ぶにおいて発音、アクセント、イントネーションの重要性に気づいてもらい、通じる英語を目指します。 つながる音、消えてしまう音なども注意しながら正しい発音を練習します。 特にカタカナ英語に注意しながら、リスニングの強化、単語力アップにつながる勉強のコツを学びます。 簡単な文章を暗記しながら、発音、アクセントなど意識して、クラスパートナーとトレーニングをします。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 43,44,45,46 (母音) 2. Unit 47,48,49,50,51 (子音) 3. Unit 52,53,54 (外来語) 4. Unit 55,56,57,58 (日常の一言) 5. Unit 59,60,61 (天気、冠婚葬祭) 6. Unit 62,63,64 (年中行事、恋愛) 7. Unit 65,66 (病院) 8. Unit 67,68,69 (ビジネス会話) 9. Unit 70,71,72,73 (ビジネス会話) 10. Unit 74,75,76,77 (ビジネス会話) 11. Unit 78,79,80 (海外旅行) 12. Unit 81,82,83 (海外旅行) 13. Unit 84,85,86 (海外旅行) 14. Unit 87,88 (海外旅行) 15. 今までの復習
使用テキスト ・教材等	英語リスニング大特訓 授業に必要なプリントなども使用する
成績評価方法 及び 基準	正確な発音、音読で 40 点、会話の聞き取り 40 点、単語の聞き取り 20 点で合計を 100 点として、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語の会話、歌の聞き取りなどをしてリスニング力をつける。習った発音は復習を兼ねて声にだしてみる。
履修に 当たっての 留意点	難しい発音や、つながって聞きづらい音を何度も音に出して、常にきれいな英語を話すことを意識すること。クラスの仲間、映画、ニュースなどの英語を聞くこと。

科目名	English Resume/Interview I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	村松 和子 (実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる)
学科・学年	英語科 1 年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>英文を正しく書く方法はもちろん、正しい翻訳力・表現力、そして効果的な作成力も養います。また、自分の書いたものを、正しい発音で音読する練習も行い、自力で校正できる力を身に着けます。</p> <p>頃合いを見て、小テストを設け、5 文以下程度なら苦なく英作できるよう訓練します。前期・後期試験では、目標 (未定 例：関係代名詞・現在完了を用いた英文を盛り込むこと etc) を定め、正しく文法を遣えているかを評価対象とします。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. The Sentence and the Paragraph (Writing) 文章構成・疑似練習 2. The Sentence and the Paragraph (Writing) review 3. Descriptive Paragraphs(Anthropology) 学問的見地から物事をとらえ英作する 4. Descriptive Paragraphs(Anthropology) 形容詞の活用 5. Descriptive Paragraphs(Anthropology) 与えられた課題に基づいて英作 6. Example Paragraphs(History) 主語・述語(動詞)の設定・使い方① 7. Example Paragraphs(History) 主語・述語(動詞)の設定・使い方② 8. Example Paragraphs(History) これまでの練習を踏まえ正しい英作の練習 9. Unit1～3 のおさらい+発表・校正 10. Process Paragraphs 単語・熟語・連語等の並びに注意する 11. Process Paragraphs 必要・不必要な表現の添削 12. Process Paragraphs 課題に即した独自の文章構成+英作練習 13. Unit4 のおさらい+発表・校正 14. Unit1～4 課題に即した独自の文章構成+英作練習 15. Unit1～4 英文の発表+校正 / 前期テストの出題内容の確認
使用テキスト ・教材等	Effective Academic Writing Second Edition Level 1
成績評価方法 及び 基準	<p>テキスト内の演習問題。小テスト(筆記・リスニング)による評価。</p> <p>常に 100 点中 60 点以上を合格とする。(小テストは 50 点満点に設定する予定)</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	語彙力を身につけるために、自分なりの英語練習帳または本を用意するとよい。
履修に 当たっての 留意点	英和辞典、校正用赤ペンを持参するとよい。

科目名	English Resume/Interview I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ 選択
担当教官	村松 和子 (実務経験：無限学園 Malaysia 校にて 15 年間、帰国子女英語指導に携わる)
学科・学年	英語科 1 年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>英文を正しく書く方法はもちろん、正しい翻訳力・表現力、そして効果的な作成力も養います。また、自分の書いたものを、正しい発音で音読する練習も行い、自力で校正できる力を身に着けます。</p> <p>頃合いを見て、小テストを設け、5 文以下程度なら苦なく英作できるよう訓練します。前期・後期試験では、目標 (未定 例：関係代名詞・現在完了を用いた英文を盛り込むこと etc) を定め、正しく文法を遣えているかを評価対象とします。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期授業のおさらい Unit1～3 文章構成・疑似練習 2. Process Paragraphs 整序練習・文章校正の復習 3. Narrative paragraphs 心理学の見地から、物語を作る 4. Narrative paragraphs 与えられた課題に基づいて英作演習(自己表現) 5. 時制(過去および完了形)の設定・使い方 6. Unit5 のおさらい+発表・校正 7. Opinion Paragraphs 自分の意見を表現する 8. Opinion Paragraphs 意見のまとめ方・表現方法の学習 9. Opinion Paragraphs 与えられた課題胃に基づいて英作演習 10. 接続詞の活用方法の学習 11. 応用① The Writing Process 今までの学習を踏まえた記述方法の確立 12. 応用② Punctuation and Capitalization 効果的な句読点の使い方 13. 応用③ Glossary 用語・ことわざなどの使用 14. 応用④ Correlation to Grammar Sense 文法力を生かす 15. 後期テストに向けた内容確認と演習
使用テキスト ・教材等	Effective Academic Writing Second Edition Level 1
成績評価方法 及び 基準	<p>テキスト内の演習問題。小テスト(筆記・リスニング)による評価。</p> <p>常に 100 点中 60 点以上を合格とする。(小テストは 50 点満点に設定する予定)</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	語彙力を身につけるために、自分なりの英語練習帳または本を用意するとよい。
履修に 当たっての 留意点	英和辞典、校正用赤ペンを持参するとよい。

科目名	第2外国語 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ 選択
担当教官	高木 佐知子 (実務経験 : 2010 年より中国語通訳者。全国通訳案内士資格 2013 年取得)
学科・学年	英語科 1 年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>中国語を初めて学ぶ学生を対象に、中国語の標準的な発音・ピンイン・基本的な文法の習得を目標とする。中国語は、発音と四声の習得が初級段階のカギとなるため、最初に時間をかけて発音と四声を学習する。その後も授業の中で、学生に個別に音読させ発音を矯正していく。</p> <p>テキスト課文を暗記し、中国語から日本語、日本語から中国語への訳がスムーズにできることを目指し、中国語を定着させる。(講義)</p> <p>[到達目標]</p> <p>①発音、四声に触れる。ピンインを理解する。②あいさつができる。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<p>16. 中国語についての説明</p> <p>17. 発音編 (一) 声調 (二) 単母音 (三) 子音 1</p> <p>18. 発音編 (四) 子音 2 (五) 複母音 (六) 鼻母音</p> <p>19. 発音編 (七) 声調の変化・軽声 あいさつ用語 授業用語</p> <p>20. 第1課 本文と文法ポイント : 人称代名詞 動詞“是” 名前の聞き方・言い方</p> <p>21. 第1課 本文復習 ドリル問題</p> <p>22. 第2課 本文と文法ポイント : 指示代詞 動詞述語文</p> <p>23. 第2課 本文復習 ドリル問題</p> <p>24. 第3課 本文と文法ポイント : 形容詞述語文 所有の“有”</p> <p>25. 第3課 本文復習 ドリル問題</p> <p>26. 第4課 本文と文法ポイント : 存在の“有”と“在” 反復疑問文</p> <p>27. 第4課 本文復習 ドリル問題</p> <p>28. 単語、文法事項の復習、発音練習</p> <p>29. 単語、文法事項の復習、発音練習</p> <p>30. 単語、文法事項の復習、発音練習</p>
使用テキスト ・教材等	チャレンジ！一年生の中国語： 朝日出版社
成績評価方法 及び 基準	定期試験、発音テスト、授業への取組みを総合して評価 (計 100 点満点)。 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	テキスト課文、簡体字をノートに書いて練習する。 授業で学習した課文を、暗唱できるまで繰り返し音読する。
履修に 当たっての 留意点	授業中は、黙読ではなく、しっかり声を出して練習する。 書く練習をするので、各自ノートを一冊準備する。

科目名	第2外国語 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ 選択
担当教官	高木 佐知子 (実務経験 : 2010 年より中国語通訳者。全国通訳案内士資格 2013 年取得)
学科・学年	英語科 1 年 英語コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>中国語を初めて学ぶ学生を対象に、中国語の標準的な発音・ピンイン・基本的な文法の習得を目標とする。</p> <p>前期に引き続き、テキストに沿って進め、基本的な文法事項・語彙・発音・簡単な会話の習得を目指す。授業中は学生に個別に音読させ、発音・四声を矯正していく。</p> <p>テキスト課文を暗記し、中国語から日本語、日本語から中国語への訳がスムーズにできることを目指し、中国語を定着させる。簡単なコミュニケーションでよく使われる表現を習得する。(講義)</p> <p>[到達目標]</p> <p>中国語検定準4級の合格を目標とする。高校履修者は中国語検定4級合格をめざす。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1 年前期総復習、発音の見直し 2. 1 年前期総復習、発音の見直し 3. 第5課 本文と文法ポイント：数詞 量詞 二重目的語をとる動詞 4. 第5課 本文復習 ドリル問題 5. 第6課 本文と文法ポイント：時間の表現 連動文 6. 第6課 本文復習 ドリル問題 7. 第7課 本文と文法ポイント：時刻の表現 動量補語 8. 第7課 本文復習 ドリル問題 9. 第8課 本文と文法ポイント：動詞の連体修飾 10. 第8課 本文復習 ドリル問題 11. 単語、文法事項の復習、発音練習 12. 単語、文法事項の復習、発音練習 13. 中国語検定対策問題 準4級の問題演習 14. 中国語検定対策問題 準4級の問題演習 15. 中国語検定対策問題 準4級の問題演習
使用テキスト ・教材等	<p>チャレンジ！一年生の中国語： 朝日出版社</p> <p>(参考文献 中検準4級試験問題 日本中国語検定協会編 : 白帝社)</p>
成績評価方法 及び 基準	<p>定期試験、発音テスト、授業への取組みを総合して評価 (計 100 点満点)。</p> <p>60 点以上を合格とする。</p>
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>テキスト課文、簡体字をノートに書いて練習する。</p> <p>授業で学習した課文を、暗唱できるまで繰り返し音読する。</p>
履修に 当たっての 留意点	<p>授業中は、黙読ではなく、しっかり声を出して練習する。</p> <p>書く練習をするので、各自ノートを一冊準備する。</p>

科目名	Discussion&Sales Skills I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	松下 和子 (実務経験: ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年)
学科・学年	英語科 1 年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日本人が不得意とされる積極的に自分の事について話す練習を重ねることにより、文化の違いを理解し、留学先や国際的な仕事の場面で英語を使ったコミュニケーションの場で困らないようにしていく。自分や身の回りの人のことについて正しく相手に伝えられるようにしていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	16. シラバスの確認及び目標の設定 17. Speaking About Yourself ① 18. Speaking About Yourself ② 19. What do you do? ① 20. What do you do? ② 21. What does he look like? ① 22. What does he look like? ② 23. 復習 Units 1 - 3 24. Where are you from? ① 25. Where are you from? ② 26. Likes and Dislikes ① 27. Likes and Dislikes ② 28. What's She like? ① 29. 総復習 30. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Coffee Shop Discussions
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	Discussion&Sales Skills I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	松下 和子 (実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年)
学科・学年	英語科 1 年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日本人が不得意とされる積極的に自分の事について話す練習を重ねることにより、文化の違いを理解し、留学先や国際的な仕事の場面で英語を使ったコミュニケーションの場で困らないようにしていく。自分や身の回りの人のことについて正しく相手に伝えられるようにしていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの再確認及び後期目標の設定 2. What's she like? 3. Review Units 4-6 4. Tell Me About Your Family ① 5. Tell Me About Your Family ② 6. Communication ① 7. Communication ② 8. How Are You Feeling? ① 9. How Are You Feeling? ② 10. Review Units7-9 11. Memories ① 12. Memories ② 13. Talking About Health 14. 総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Coffee Shop Discussions
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、小テスト 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習をすること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	Tourism I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	海外旅行は誰もが楽しい思い出作りやリフレッシュのために行く。また出張目的で行く人もいる。海外に行くときには常に外国語と触れる機会があり、どのようなシチュエーションで行く人も必ず飛行機やホテル、レストランを利用するだろう。その際、スムーズな会話ができるように授業内でトレーニングしていく。特にそういったシチュエーションの中での会話文の中で出てくるフレーズは、決まり文句が多いので暗記し、自然と出てくるようにスピーキング練習を行う。上記の事を海外で困らないために学び、より楽しい海外旅行や、充実した出張を実現させる。 平常点+スピーキングテストで評価する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Travel -旅行に関する基本事項- 2. Make a Domestic Trip Plan -国内の旅行プランを立てる- 3. Jobs and People -観光業で働く人、施設- 4. Getting on the Plane -搭乗手続き等飛行機に乗るまでの英会話- 5. At the Immigration and Customs -出入国の際の英会話- 6. At the Airport -空港内の施設- 7. Hotel -ホテル英語- 8. Restaurant -レストラン英語- 9. Make Own Restaurant Menu -自分のレストランをオープンするなら- 10. Sightseeing -世界の観光地- 11. Make a Oversea Trip Plan -海外の旅行プランを立てる- 12. Shopping -デパート等での英会話- 13. Transportation -交通機関- 14. Problems and Complaints -クレーム対応- 15. Speaking Test
使用テキスト ・教材等	ベーシック観光英語
成績評価方法 及び 基準	The exam will include an oral and a written component in class totaling 100 points.
授業時間外 に必要な 学修内容	予習 復習 暗唱
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	Tourism I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ 選択
担当教官	ウイリアムズ・ケビン (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	海外旅行は誰もが楽しい思い出作りやリフレッシュのために行く。また出張目的で行く人もいる。海外に行くときには常に外国語と触れる機会があり、どのようなシチュエーションで行く人も必ず飛行機やホテル、レストランを利用するだろう。その際、スムーズな会話ができるように授業内でトレーニングしていく。特にそういったシチュエーションの中での会話文の中で出てくるフレーズは、決まり文句が多いので暗記し、自然と出てくるようにスピーキング練習を行う。上記の事を海外で困らないために学び、より楽しい海外旅行や、充実した出張を実現させる。 平常点+スピーキングテストで評価する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Transportation from the Airport to the Hotel -空港とホテルまでの交通機関- 2. At a Hotel: Explaining a Key Card -ホテルのフロント- 3. At a Hotel: Departure by taxi -ホテルからの出発- 4. Greeting a Guest at the Ryokan -旅館の説明- 5. How to use a Ryokan Bath -旅館のお風呂の使い方- 6. Dinner Service at the Ryokan -旅館での夕食- 7. Japanese Restaurant -日本食レストランのスタイル- 8. Gifts and Souvenirs -お土産- 9. Bullet Train Tickets -チケットの買い方- 10. Taking a Taxi -タクシーに乗る- 11. Research about Japanese Restaurant and introduce -日本食レストラン- 12. Research about Japanese Ryokan and introduce -旅館- 13. Make a tour plan① -旅行プランの作成①- 14. Make a tour plan② -旅行プランの作成②- 15. Speaking Test
使用テキスト ・教材等	ベーシック観光英語
成績評価方法 及び 基準	The exam will include an oral and a written component in class totaling 100 points.
授業時間外 に必要な 学修内容	予習 復習 暗唱
履修に 当たっての 留意点	授業への積極的な参加

科目名	International Hospitality (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their understanding of international hospitality skills. To achieve this students will study and present various things about international hospitality. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Chapter 1 On the plane 3. Hospitality assignment 1 Airplane company research 4. Chapter 2 Airport arrival procedures 5. Hospitality assignment 2 The best airport in the world 6. Chapter 3 Meeting the host family 7. Hospitality assignment 3 How to introduce myself 8. Chapter 4 Sharing Japanese culture 9. Hospitality assignment 4 Japanese culture part 1 10. Hospitality assignment 5 Japanese culture part 2 11. Chapter 5 Taking the bus 12. Hospitality assignment 6 Transportation in Japan 13. Chapter 6 Orientation 14. Hospitality assignment 7 Niagara College spring open house 15. First semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Go! Global -preparing for ESL Courses Abroad
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	International Hospitality (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル (実務経験：なし)
学科・学年	英語科 1 年 留学コース
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their understanding of international hospitality skills. To achieve this students will study and present various things about international hospitality. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back, review of syllabus 2. Chapter 7 Making phone calls 3. Hospitality assignment 8 telephone communication 4. Chapter 8 Seeking medical care 5. Hospitality assignment 9 what to do in an emergency 6. Chapter 9 Giving presentations 7. Hospitality assignment 10 My presentation part 1 8. Hospitality assignment 11 My presentation part 2 9. Hospitality assignment 12 My presentation part 3 10. Chapter 10 Shopping 11. Hospitality assignment 13 Places I go shopping 12. Chapter 11 Airport departure procedures 13. Hospitality assignment 14 Airports around the world 14. Chapter 12 Keeping in touch by email 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Go! Global -preparing for ESL Courses Abroad
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment and a written examination.
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.